

取扱説明書

DVDレコーダー

品番 DMR-ES30V



大事なお知らせ 4ページ～13ページ
ご使用になる前に必ずお読みください。

詳しいもくじは、2～3ページをご覧ください。

65 ページ
思い出のテープをディスクに残したい!
VHS→DVDへダビングする

47 ページ
他のプレーヤーなどでも再生したい!
DVD-R DVD-RW +R
ディスクを整理する／ファイナライズ

41,61 ページ
BS放送などの番組を録画したい!
BS放送などを録画する
I-システムを使って録画する

22 ページ
接続したら…チャンネルを設定する!
市外局番でチャンネルを合わせる

保証書別添付 上手に使って上手に節電

16 ページ
まずはこれから! テレビとの接続
テレビと接続する
地上デジタル・BS・CSデジタルチューナーと接続する
DVDの映像をより高画質で楽しむ
DVDをより迫力のある音声で楽しむ
CATVホームターミナル、テレビと接続する

4 ページ
最初にお読みください!
本機で使えるディスク

接続/設定
見る/聞く
録る
編集
便利機能
見る
録る
便利機能
ダビング
必要なとき

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いいたします。インターネットでの登録が可能です。詳しくは、同梱の「ご愛用者カード」をご覧ください。



このたびはパナソニックDVDレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(84～85ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

■お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

DVD関連情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dvd/>
 詳しい使い方説明は、「ディーガ使い方ナビゲーション」をご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/mpi/dvd/>

もくじ

はじめに

大事なお知らせ

本機で使えるディスク	4
デジタル放送のお知らせ	6
ディスクに関するお知らせ	8
当社製DVDレコーダーの旧機種を お持ちのお客様へ	9
DVD-R、DVD-RW、+Rについて	10
カセットについて	11
「露付き」について	11
使用上のお願い	12
付属品	13

接続/設定

各部のはたらき	14
---------------	----

ご自分で設置される方は…
**お使いになる前に、以下の項目を
必ず行ってください**

<準備1> 接続する	16
●テレビと接続する	16
●地上デジタル・BS・CSデジタルチューナーと 接続する	17
●DVDの映像をより高画質で楽しむ	18
●DVDをより迫力のある音声で楽しむ	19
●CATVホームターミナル、テレビと接続する	20
●テレビに本機の画面を出す	21
<準備2> 設定する	22
●市外局番でチャンネルを合わせる (市外局番チャンネル設定)	22
●自分でチャンネルを合わせる (マニュアルチャンネル設定)	23
●テレビのタイプを設定する(接続するTV)	25
●本機のリモコンでテレビも操作する	25
●2台以上の当社製DVDレコーダーなどを 使うとき(リモコンモード)	25
●時刻を合わせ直す	26

DVD

見る/聞く

ディスクを再生する	27
●再生中のいろいろな操作	28
●再生中の簡単な編集	29
●MP3と写真が混在したディスクの再生	29
●MP3を再生する	29
●写真(JPEG/TIFF)を再生する	30
●操作の状態を確認する(状態表示)	31
●音声を切り換える	31
再生設定	32
●設定の基本操作	32

録る

ディスクに録画する	33
●見ている番組を録画する	33
●ディスクの残量に合わせて録画する(ぴったり録画) ...	34
●録画しながら再生する	35
ディスクに予約録画する	36
●Gコード®を使って予約録画する	36
●Gコード®を使わずに予約録画する (フリーセット予約)	38
●予約内容を確認する・取り消す・修正する	39
●予約を解除する	40
BS放送などをディスクに録画する	41
●BSチューナー内蔵テレビなどから録画する	41

編集

録画した番組(タイトル)を編集する	42
●番組(タイトル)編集の基本操作	42
●チャプター再生/編集の基本操作	42
●番組(タイトル)を編集する	43
●チャプターを編集する	43
プレイリストを操作する	44
●プレイリストを作成する	44
●プレイリストの再生/編集の基本操作	45
●プレイリストのチャプター再生/編集の基本操作 ...	45
●プレイリストを編集する	45
●プレイリストのチャプターを編集する	46

便利機能

ディスクを整理する	46
●ディスクに名前を付ける(ディスク名入力)	46
●誤消去防止の設定/解除(ディスクプロテクト)	46
●番組(タイトル)をすべて消去する(全番組消去)	47
●ディスクを初期化する(ディスクのフォーマット) ...	47
●他の機器で再生したいとき [ファーストプレイ選択/他のDVD機器再生 (ファイナライズ)]	47
文字入力	48
●よく使う語句を登録する	48
初期設定を変える	49
●初期設定変更の基本操作	49

VHS

見る

VHSを再生する	52
●再生中のいろいろな操作	52
●きれいに再生できないとき	53
●時刻、テープカウンター、テープ残量を 確かめる	54
●音声を切り換える	54

録る

VHSに録画する	55
VHSに予約録画する	57
●Gコード®を使って予約録画する	57
●Gコード®を使わずに予約録画する (フリーセット予約)	58
●予約内容を確認する・取り消す・修正する	60
●予約録画の終了時刻を延長する(予約延長)	60
●予約を解除する	60
BS放送などをVHSに録画する	61
●BSチューナー内蔵テレビなどから録画する	61

便利機能

番組を探す	62
●1番組単位で頭出しする	62
テープリフレッシュする	62
●カセットの録画内容をすべて消す	62
設定を変える	63
●いろいろな項目の設定を変える(モード設定)	63

その他(DVD/VHS共通)

ダビング

ダビングについて	64
VHS→DVDへダビングする	65
●ワンタッチダビング	65
●マニュアルダビング	66
●その他のダビング	67
DVD→VHSへダビングする	68
●ワンタッチダビング	68
●マニュアルダビング	69
●DVDビデオ(ファイナライズ後のDVD-R、 DVD-RW、+R、+RWを含む)を ダビングする	70
●その他のダビング	71
他のビデオやビデオカメラから ダビングする	72

必要なとき

こんな表示がでたら	73
Q&A(よくあるご質問)	74
故障かな!?	76
用語解説	79
別売品のご紹介	80
仕様	81
市外局番チャンネル設定一覧 (VHF/UHF)	82
安全上のご注意(必ずお守りください)	84
保証とアフターサービス (よくお読みください)	86
さくいん	裏表紙







本書内の表現について

- 参照していただくページを(→○○)で示しています。
- ディスク部分を「DVD」、ビデオ部分を「VHS」として、主に説明しています。

本機で使えるディスク

録画と再生ができるディスク(12 cm/8 cm)

録画するときは、以下のディスクを使用してください。(+RWに録画することはできません)

ディスクの種類	DVD-RAM	DVD-R(DVD-Video方式)	DVD-RW(DVD-Video方式)	
	●4.7 GB/9.4 GB (12 cm) ●2.8 GB(8 cm)	●4.7 GB(12 cm) ●1.4 GB(8 cm)	●4.7 GB(12 cm) ●1.4 GB(8 cm)	
ディスクのロゴマーク				
本書内の表示	RAM	ファイナライズ前 -R	ファイナライズ前 -RW(V)	
		ファイナライズ後 DVD-V	ファイナライズ後 DVD-V	
主な用途	繰り返し録画用	録画用(1回のみ)(ディスクの残量がなくなるまで追記可能)	繰り返し録画用	
最大録画時間	約8時間(4.7 GBディスク) (両面ディスクで約16時間*1)	約8時間(4.7 GBディスク)	約8時間(4.7 GBディスク)	
他のDVD機器で再生	DVD-RAM 対応機器でのみ可能 [ファイナライズ(→79)は不要です]	ファイナライズ後に可能 (→47)	ファイナライズ後に可能 (→47)	
本機でできること	追っかけ再生	○	×	
	1回だけ録画可能なデジタル放送を録画*2	○ [CPRM対応ディスク(→6)のみ]	×	
	二重放送の主/副音声を記録	○	× [「二重放送音声記録(→50)で音声を選択]	× [「二重放送音声記録(→50)で音声を選択]
	16:9映像の記録 	○	× (4:3映像) 	× (4:3映像) 
	番組(タイトル)名入力	○	○	○
	番組(タイトル)消去	○	○(残量は増えません)	○(最後に録画した番組を消去したときのみ、残量が増えます)
	プレイリスト作成	○	×	×

ディスクは、本機との相性が確認されている当社製のものをおすすめします(別売品のご紹介→80)


- DVD-R、DVD-RW、+Rは、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。
- DVD-RやDVD-RWがCPRMに対応であっても、「1回だけ録画可能」な番組を録画することはできません。
- 本機は高速記録対応のディスクも使用できます。
- ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)

再生のみできるディスク(12 cm/8 cm)

ディスクの種類	DVDビデオ	DVDオーディオ	DVD-RW(VR方式)	+RW
ディスクのロゴマーク				—
本書内の表示	DVD-V	DVD-A	-RW(VR)	DVD-V
特長	映画や音楽など、高画質の市販ソフト ●本機では下のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。 [2]または「ALL」を含むもの 例)  ●番号は国により違います。	高音質の音楽用市販ソフト ●本機では2チャンネルで再生されます。 ●マルチチャンネルのDVDオーディオには、制作者の意図によりダウンミックス(→79)が禁止されているものがあります。	他のDVDレコーダーのVR方式で録画されたDVD-RW*3 ●CPRM対応ディスクに録画された「1回だけ録画可能」な番組の再生もできます。 ●フォーマット(→47)すると、本機で録画できます。	他のDVDレコーダーで録画された+RW*3
	本機以外で録画されたディスクの中には、ファイナライズ(→79)を行わないと再生できないものがあります。録画した機器でファイナライズを行ってください。			

*3 記録状態によって再生できない場合があります。

- ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
- CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

+R ●4.7 GB(12 cm)	
—	
ファイナライズ前	+R
ファイナライズ後	DVD-V
録画用(1回のみ)(ディスクの残量がなくなるまで追記可能)	
約8時間	
ファイナライズ後に可能 (→47)	
×	
×	
× [「二重放送音声記録」 (→50)で音声を選択]	
×(4:3映像) 	
○	
○(残量は増えません)	
×	

※1 両面への連続録画、再生はできません。
 ※2 デジタルハイビジョン画質での録画はできません。

VR(ビデオレコーディング)方式とは

テレビ放送などを録画、編集するために作られた記録方式です。

- CPRM対応ディスクに、デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組を録画できます。
本機ではCPRM対応のDVD-RAMに録画できます。
- DVDプレーヤーなどで再生するにはVR方式に対応した機器でのみ可能です。

録画するには、DVD-RAMを使用してください。



DVD-Video(DVDビデオ)方式とは

市販されているDVDビデオと同じ記録方式です。

- デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組は録画できません。
 - DVDプレーヤーなどで再生することができます。
ただし、本機で録画した番組を他のDVDプレーヤーなどで再生するにはファイナライズが必要です。
- 録画するには、DVD-R、DVD-RWを使用してください。

使えないディスク

- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM(12 cm)
- 3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
- VR方式で記録されたDVD-R
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズ(→79)されていないDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R
- PAL方式で記録されたディスク(DVDオーディオの音声は再生できません)
- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- ブルーレイディスク
- DVD-ROM
- +R(8 cm)
- CD-G
- SVCD
- PD など
- DVD-R DL
- CD-ROM
- Photo-CD
- SACD
- +R DL
- CDV
- CVD
- MV-Disc

CD		ビデオCD
		
CD		VCD
音楽や音声記録された市販ソフト(CD-DAで記録したCD-RやCD-RWを含む※3)	MP3圧縮形式(→80)で音楽が記録されたCD-RやCD-RW※3 写真(JPEGやTIFF)画像が記録されたCD-RやCD-RW※3	音楽や映像が記録された市販ソフト(ビデオCDで記録したCD-RやCD-RWを含む※3)

ジャケットの各マークについて

- 音声数
- 字幕数
- アングル数



(それぞれが複数収録されている例です)

- ・ジャケットにこのような表示がない場合は、切り換えできません。
- ・ディスクのメニュー画面でのみ切り換えができるディスクもあります。

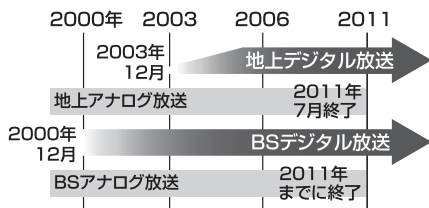
デジタル放送のお知らせ

2003年12月から地上デジタル放送が始まっています

■アナログ放送からデジタル放送への移行について

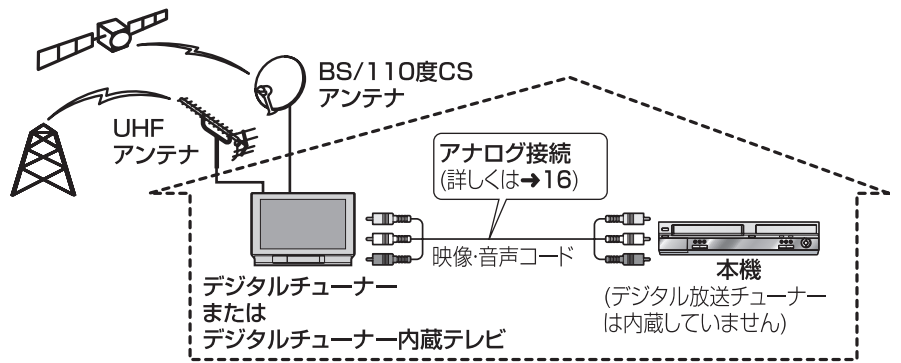
デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。



■アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器でデジタル放送を録画するには

別売のデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。



- 上記内容はJEITA(社団法人電子情報技術産業協会)の規定に基づくものです。
- 上記文中の「アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器」とは、本機や通常のビデオデッキがこれに該当します。

不正なダビングを防止し、著作権を保護するため、デジタル放送には「1回だけ録画可能」^{※1}のコピー制御信号が加えられています。

※1「デジタル1COPY」や「一世代のみコピー可」などとも呼ばれています。(2004年4月から)

- 「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMという著作権保護技術に対応した録画機器とディスクで録画できます。コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 地上デジタル放送推進協会 <http://www.d-pa.org/>
社団法人 BSデジタル放送推進協会 <http://www.bpa.or.jp/>

■録画の制限について

デジタル放送をディスクに録画するときは、使用するディスクにお気を付けください。

「1回だけ録画可能」の番組は

- CPRM^{※2}対応のDVD-RAMに録画できます。
- 2.8 GB(8 cm)のDVD-RAM、DVD-R、DVD-RW、+Rには録画できません。^{※3}

※2 1回だけ録画が許可された番組を録画することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。

※3 本機では、DVD-RやDVD-RWがCPRM対応であっても録画できません。

(○: 録画できる、×: 録画できない)

放送の種類	録画先	DVD-RAM (CPRM対応)	DVD-RAM (CPRM非対応)	DVD-R、DVD-RW、+R	ビデオカセット
制限なしに録画可能		○	○	○	○
1回だけ録画可能		○	×	×	○
録画禁止		×	×	×	×

DVD側での予約録画時は、挿入されているディスクにお気を付けください。

お知らせ

- 録画制限のある番組とない番組を1つの番組(タイトル)として続けて録画した場合は、録画制限のある番組(タイトル)になります。時刻設定のずれなどにより、録画した番組(タイトル)の一部に録画制限のある番組が入った場合も同様です。タイトル分割(→43)などの編集を行っても、録画制限の情報は残ります。
- 本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組を他の機器で再生する場合は、CPRM方式に対応していない機器では再生できません。(当社製のDVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーは、すべてのCPRM方式に対応しています)

■本機で「1回だけ録画可能」な番組をダビングするとき

デジタル放送をディスクにダビングするときは、使用するディスクにお気を付けください。




(○:ダビングできる)



ダビング先		
ビデオカセット		
 ※4		

(○:ダビングできる、×:ダビングできない)



ダビング先		
DVD-RAM (CPRM対応)	DVD-RAM (CPRM非対応)	DVD-R、DVD-RW、+R
		 ※5

※4 再度、DVD-RAMへダビングすることはできません。(ビデオカセットにコピー制御信号が合わせて記録されます)

※5 本機では、DVD-RやDVD-RWがCPRM対応であってもダビングできません。

お知らせ

- 「1回だけ録画可能」の番組をビデオカセットにダビングする場合、マクロビジョン(著作権保護技術)信号により正常にダビングできないことがあります。

ディスクに関するお知らせ

大切な映像を録画するには

ディスクの記録面に、傷や汚れが付いていると、正常に録画・再生・編集ができないことがあります。



**大切な映像を、傷や汚れから守るために、
DVD-RAMカートリッジ付きディスクをおすすめします**
DVD-RAMカートリッジ付きディスク(別売)については(→80)

デジタル放送を録画したいときは



CPRM対応のDVD-RAMをご使用ください
CPRM(→6,79)

他のDVD対応機器でも再生したいときは



DVD-R、DVD-RW、+Rはファイナライズが必要です

ファイナライズについては(→47)

他のプレーヤーが、それぞれのディスクに対応している必要があります。

本機でファイナライズされたディスクは、記録状態により他のプレーヤーでは再生できない場合があります。

DVD関連の情報は当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)

カートリッジなしディスクについては

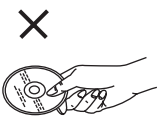


傷や汚れにお気を付けください(録画・再生・編集できないことがあります)

ご使用前には、ディスクの記録面に傷や汚れが付いていないか十分に確認してください。
汚れたときは(→下記)

使用上のお願い

■持ちかた



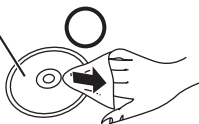
再生面には
手を触れない

■汚れたときや、露が付いたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

推奨品: クリーニングクロス(→80)

再生面
(光っている面)
内側から外へ



取り扱い上のお願い

ディスクの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクにシールやラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
- ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- ディスクを落としたり、重ねたり、物を載せたり、衝撃を与えたりしない。
- 以下のディスクを使わない。
 - ・シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク(レンタルディスクなど)
 - ・そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
 - ・ハート型など、特殊な形のディスク



- 次のような場所に置かない。
 - ・直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
 - ・湿気やほこりの多いところ
 - ・温度差の激しいところ(結露が発生します)
 - ・静電気や電磁波の発生するところ
- 使用後はケースまたはカートリッジに収める。

当社製DVDレコーダーの旧機種をお持ちのお客様へ

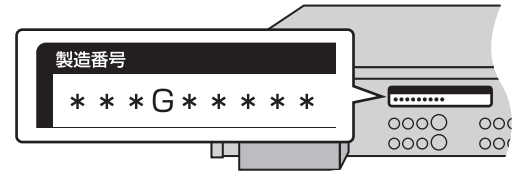
本機で録画した高速記録(4倍速記録、8倍速記録)対応DVD-Rを再生するために必要な制御ソフトウェアのアップデートディスクを無償配布しています

■対象機種

DMR-E30、DMR-HS2は製造番号の確認が必要です。すでにアップデート済みの場合は、再度行う必要はありません。

機種名	対象
DMR-E20 DMR-HS1	すべて
DMR-E30	製造番号の4桁目が“B”、“C”、“D”、“E”、“F”、“G”の製品
DMR-HS2	製造番号の4桁目が“G”、“H”の製品

製造番号は保証書または本体後面をご覧ください。製造番号の*部は関係ない部分です。



詳しくは当社ホームページをご覧ください

(http://panasonic.jp/support/dvd/faq/dvd_x4/index.html)

アップデートディスクのお申し込み方法

上記の当社ホームページにてお申し込みいただくか、同梱の「ご愛用者カード」所定の欄に上記の中のお持ちの機種名と製造番号をご記入いただき、郵送ください。対象製品のアップデート専用ディスクを無償送付させていただきます。

ディスクに同梱の説明書に従ってアップデートをお願いいたします。

詳しくは、「ご愛用者カード」記載の説明をご覧ください。

DMR-HS2 をお持ちのお客様へ

制御ソフトウェアのダウンロードによるアップデートが可能です。

詳しくは、上記の当社ホームページをご覧ください。

DVD-R、DVD-RW、+Rについて

DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに録画するといくつかの制約がかかります。そのため、あらかじめ設定が必要になる場合があります。

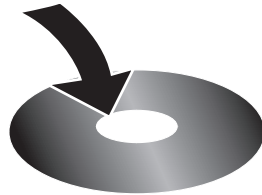
DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに記録すると…

- 横縦比16:9映像は4:3で記録します。
- 二重放送音声は主音声か副音声どちらか一方のみを記録します。
- そのままでは他のDVDプレーヤーで再生できません。



横縦比16:9映像
二重放送

録画すると



DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R

選んだ音声のみ

こんにちは



横縦比4:3映像

そのため記録する前に目的に応じた設定が必要です

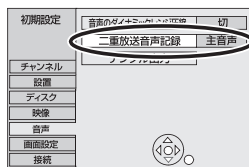
海外ドラマなどの二重放送を録画したいとき

- 録画前に、記録する音声を選んでください。(選択方法は →33)
- BSチューナー内蔵機器など外部機器からの二重放送を録画する場合は、接続した機器側で音声の設定が必要です。(詳しくは →41,72)

海外ドラマやスポーツ中継などの主音声と副音声を含む放送を「二重放送」といいます。DVD-Rなどに二重放送を録画する場合、あらかじめ記録する音声を選んでおかななくてはなりません。*
* 音声を選ばないと再生時、主音声、副音声の両方が混ざって聞こえます。



記録したい音声を選んで



録画



選んだ音声のみ記録

こんにちは



他のDVDプレーヤーで再生したいとき

録画後、ファイナライズしてください。(操作方法は →47)

DVD-Rなどに録画したままでは他のDVDプレーヤーで再生できません。本機で「ファイナライズ」という操作を行う必要があります。ファイナライズを行うと、市販のDVDビデオディスクと同じように再生できます。ただし、続けて録画することはできなくなります。*2

*2 DVD-RWはフォーマットすると再度録画が行えます。



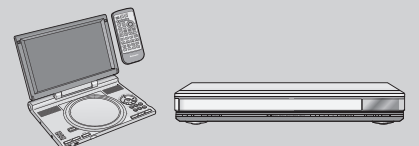
録画して



ファイナライズすると



他の機器でも再生可能

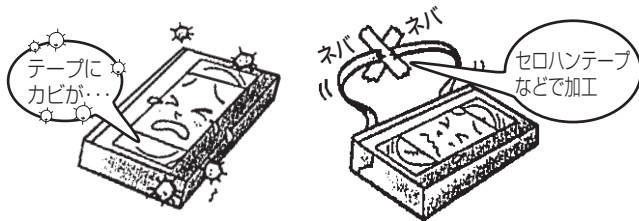


カセットについて

■品質のよいカセットを使う

お使いになる前に、必ずカセット(テープ)の品質を確かめる

- 品質の悪いカセット(テープ)を使うと、きれいに録画・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。
- 品質の悪いカセット(テープ)の例
 - ・水などの液体やほこり、カビなどが付いている
 - ・テープが波打ったりクシャクシャになっている
 - ・テープをセロハンテープでつなぐなど、加工してある
 - ・テープがたるんでいる
- このようなカセット(テープ)を使うと、ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色(ブルーバック)になったりします。
- このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)(→80)でビデオヘッドをクリーニングしてください。それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。
ビデオヘッドクリーナーの説明書もお読みください。
- 湿式のビデオヘッドクリーナー(市販品)は使わないでください。(故障の原因になります)



カセットの取り扱いについて

落としたり、激しい振動を与えたりしない

お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない

- このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付く、故障の原因になります。

新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

- 新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほくしてからお使いになることをおすすめします。

使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

- このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

次のようなところに置いたり保管したりしない

- ・ほこりの多いところ
- ・高温になるところ(推奨温度: 15℃~25℃)
- ・温度差が激しいところ
- ・湿度の高いところ(推奨湿度: 40%~60%)
- ・湯気や油煙の出るところ
- ・冷暖房機器に近いところ
- ・自動車のダッシュボードの中

強い磁気を持ったもの(スピーカーなど)を近づけない

- 強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な録画内容が消えてしまったりすることがあります。

「露付き」について

「露付き」とは

- 冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「露付き」といいます。



- 本機やカセットに「露付き」が起これると、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付く、故障の原因になります。

●「露付き」が起これやすいとき

- ・梅雨の時期
- ・本機やカセットを暖かいところから寒いところへ急に移動させたとき、またはその逆
- ・寒い部屋を急に暖房で暖めるなど、急激な冷暖房をしたとき
- ・本機やカセットに冷房の風が直接あたっていたとき
- ・湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき

- 「露付き」が起これそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2時間程度)、電源を入れたまま放置してください。

使用上のお願い

本機は、周囲(温度、湿度、ほこりなど)の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

使用するとき

カセット挿入口にカセット以外のものを入れない
ディスクトレイにディスク以外のものを置かない
揮発性の殺虫剤などがかからないようにする

- キャビネットが変形したり、塗装がはげる恐れがあります。

前面パネルについて

- 本体の前面パネルは、ハーフミラーを採用しています。このため、設置場所の明るさや光の反射の具合によっては本体表示窓の文字(テープカウンターなど)が見にくいことがあります。

録画・再生中

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近づけない

- 映像・音声に悪影響を与えたり、録画内容が消えたりする恐れがあります。
- 特に、プラズマテレビをお使いの場合は、できるだけ本機を遠ざけてください。

音量について

DVDの再生中に音量を上げたときは、別の入力への切り換え時などの音量に気を付ける

- 本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。DVDの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げてください。別の入力に切り換えたときなどに、突然大きな音が出ることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

大切な録画のとき

二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく

万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

(下記のような操作を行うと不具合が生じる可能性があります)

- 本機で録画・録音・編集したディスクを他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで動作させる
- 上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる
- 他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで記録したディスクを本機で動作させる

移動・輸送するとき

落としたり、ぶついたりしない

ディスクとカセットを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す

- 引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

お手入れについて

■キャビネットが汚れているとき

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。

■汚れがひどいとき

- 中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

■録画/再生用レンズが汚れたとき

- 長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー(別売)(→80)でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をお読みください。
- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用はマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペーパービューでの使用に制限されます。この製品を分解したり、改造することも禁じられています。
- Gコードは、ジェムスター社の登録商標です。Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

- この製品は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 「DTS」および「DTS 2.0+Digital Out」はDTS社の登録商標です。
- 本機はMP3形式で記録されたディスクを再生できます。MPEG Audio Layer3音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および THOMSON multimedia からライセンスを受けています。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。

- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録画補償金が含まれております。お問い合わせ先：
(社)私的録画補償金管理協会
☎ 03-3560-3107(代)

付属品

付属品をご確認ください。



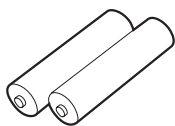
- 品番は、2005年1月現在のものです。変更されることがあります。
- 付属品をなくされたときは、サービスルート扱いでご用意しているものがありますので、ご注文ください。(以下に品番を記載しているもののみ)



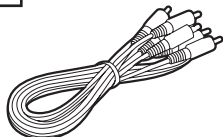
リモコン★
(→右記,14)
EUR7909KD0



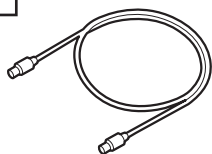
リモコン用乾電池(2本)
(→右記)
単4形乾電池(R03)



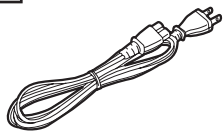
映像・音声コード★
(→16)
K2KA6CA00001



75Ω同軸ケーブル★
(→16)
K2KZ2BA00001



電源コード★
(→16)
K2CA2DA00009



電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。

★印は松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

パナセンスカスタマーセンター

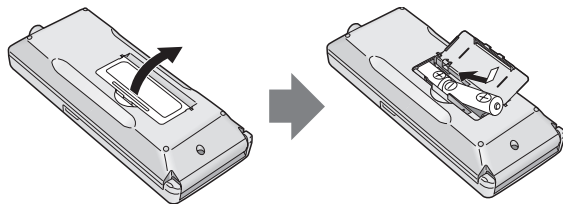
PanaSense

<http://www.sense.panasonic.co.jp/>
TEL 06-6907-9144

電池を入れる

ふたを開け、単4形乾電池(付属)を入れる

- ⊕⊖を確認してください。

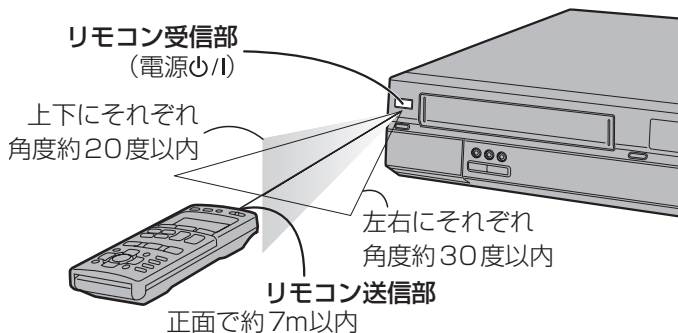


- 入れたあとは、ふたを元どおり閉じてください。

お知らせ

- リモコン表示窓が薄暗くなってきたら、電池を交換してください。(使用環境、使用回数などにもよりますが、電池の寿命は約1年です)
- 電池交換後、本機やテレビが操作できなくなっているときは、テレビメーカー番号(→25)、リモコンモード(→25)を合わせ直してください。
- 充電式電池(ニッケルカドミウム)(Ni-Cd など)は使わないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。
- 1カ月以上使わないときは、電池を取り出しておいてください。

操作のしかた



(ただし、操作できる範囲は周囲の明るさで変わります)

お知らせ

- 本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が狭くなることがあります。
- 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

■長期間使用しないとき

節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

待機中の消費電力

クイックスタート「入」

時刻表示点灯時 約9.0 W
時刻表示消灯時 約8.0 W*

クイックスタート「切」

時刻表示点灯時 約4.0 W
時刻表示消灯時 約1.2 W*

※初期設定の「FLディマー」を「オート」に設定した場合(→51)

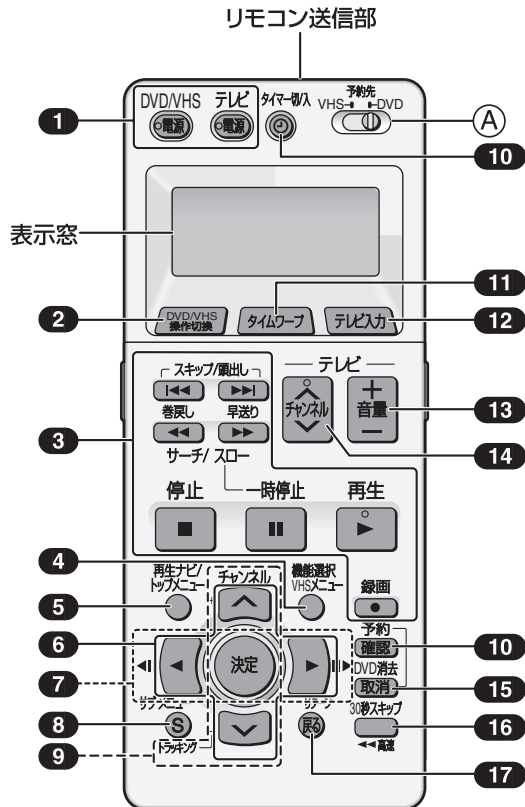
クイックスタート(→49)とは

クイックスタートとは、電源を入れたあと高速で起動し、操作可能な状態になる設定です。(お買い上げ時は「入」に設定されています)

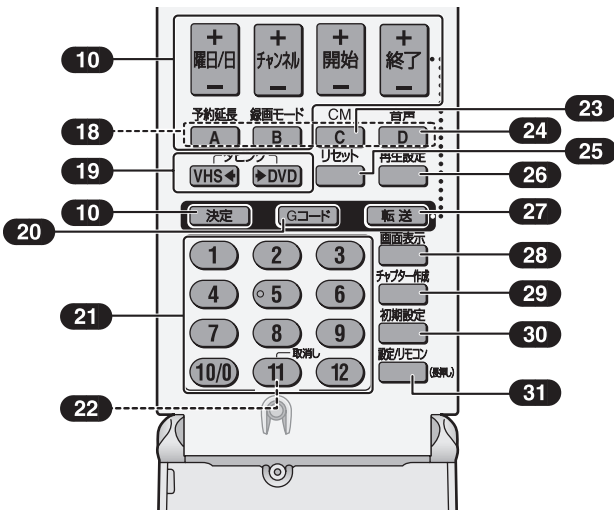
DVD-RAMを使用すると、電源を入れてから約1秒で録画を始めることができます。録画したいチャンネルに切り換えたり、録画モードを変えることもできます。ディスクの再生やDVD-RAM以外のディスクを使用して録画するときは、電源を入れてから操作できるようになるまで数十秒かかります。

各部のはたらき

リモコン(本書ではリモコンでの操作を中心に説明しています)



ふたをひらいたところ



■ [DVD/VHS操作切換] ボタン ②

操作する対象(DVDまたはVHS)に合わせて、リモコンと本機の操作モードを切り換えます。

ボタンを押すごとに、操作モードが切り換わります。本機を操作するときは、操作モードが操作する対象に合っているか確認してください。(電源「切」時でも、切り換えられます)

DVDの操作をする前には

- 必ず本体の[DVD]ランプを点灯させてください。



VHSの操作をする前には

- 必ず本体の[VHS]ランプを点灯させてください。



④ 予約先 [VHS/DVD] スイッチ

リモコンに入力した予約録画の内容を、本機に転送するときの録画先を選びます。(→36,38,57,58)

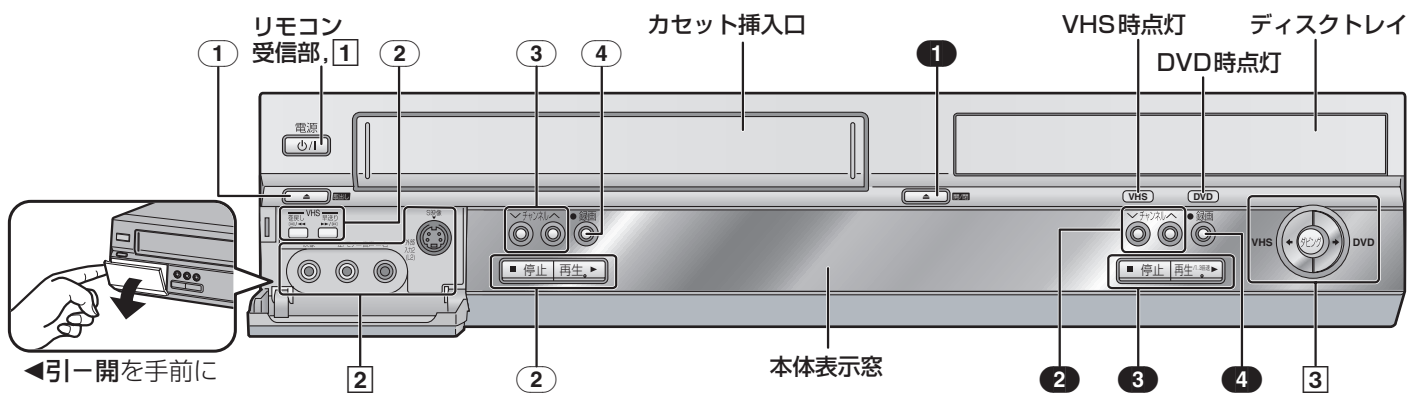
DVDに予約録画するときには [DVD] を、VHSに予約録画するときには [VHS] を選んでください。

- 1 電源を切/入する (→21,25,36,38,57,58)
- 2 [DVD/VHS] : DVDとVHSの操作を切り換える (→21)
- 3 [DVD/VHS] : 再生や録画時の基本操作..... (→27,34,52,55)
- 4 [DVD] : 機能選択画面を表示する (→21)
[VHS] : メニュー画面を表示する (→63)
- 5 [DVD] : 録画した番組を探す / 編集する (→42)
[DVD] : ディスクメニューを表示する..... (→27,29,30)
- 6 [DVD/VHS] : 項目などを
選んで決定する (→27,39,49,59,63)
- 7 [DVD] : コマ送り(戻し)する (→28)
- 8 [DVD] : サブメニューを表示する (→42,45)
- 9 [DVD/VHS] : チャンネルを順に
切り換える (→22,29,33,55)
[VHS] : トラッキングや垂直同期を調整する (→53)
- 10 [DVD/VHS] : 予約録画時の基本操作..... (→36,57)
- 11 [DVD] : 時間を指定して飛び越す /
子画面でテレビを見る (→28,35)
- 12 [テレビ] : テレビの入力を切り換える (→21)
- 13 [テレビ] : テレビの音量を調節する (→25)
- 14 [テレビ] : テレビのチャンネルを切り換える (→25)
- 15 [DVD/VHS] : 予約内容を取り消す (→39,60)
[DVD] : ディスクに録画した不要な
番組などを消去する (→29)
- 16 [DVD] : 約30秒先へ飛び越す (→29)
[VHS] : 高速で巻き戻す (→52)
- 17 [DVD/VHS] :
1つ前のメニュー画面に戻る (→21,29,49,63)
ダビングを途中でやめる (→65,66,68,69,71)
- 18 [DVD] : 入力する文字やダビングする
種類を選ぶ..... (→48,69)
- 19 [DVD/VHS] : ワンタッチダビングする..... (→65,68)
- 20 [DVD/VHS] : Gコード予約する..... (→36,57)
- 21 [DVD/VHS] : チャンネルの数字やGコード予約などの
番号を入力する (→22,33,36,49,55,57)
[DVD] : 曲番などの数字を直接入力する..... (→27,28,29)
- 22 [DVD/VHS] : 入力した数値などを取り消す (→22,24)
- 23 [VHS] : CMをとばして再生・録画する.... (→53,56,57,59)
- 24 [DVD/VHS] : 音声を切り換える (→31,54)
- 25 [VHS] : テープカウンターをリセットする..... (→54)
- 26 [DVD] : ディスクの再生方法を設定する..... (→32)
- 27 [DVD/VHS] : リモコンで行った設定などを
本体に転送する (→23,36,38,57,59)
- 28 [DVD/VHS] : 操作の状態を表示する..... (→31,54)
- 29 [DVD] : ディスクに録画した番組を
複数の場面に区切る (→29)
- 30 [DVD] : 初期設定メニューを表示する (→49)
- 31 各種設定を行う (→22,23,25)

お知らせ

- [録画●] ボタンなど誤動作や各種設定に関わるボタンは、誤って押してしまうことを防ぐため、他のボタンよりも凹凸が少なくなっています。
- 本書では、ボタン名を[再生▶]などで示し、“ボタン”を省略しています。
- リモコンでのテレビの操作は、テレビメーカー設定(→25)後に行えるようになります。

本体(本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)



◀引-開を手前に引いてください。

□DVD/VHS 共通部

- 1 電源を切/入する (→21,36,38,57,58)

節電のため、操作しない状態が続くと自動的に電源が切れます。工場出荷時は6時間に設定されています。この時間は変更できます。(→49)

- 2 外部機器などを接続する (→72)
3 ワンタッチダビングする (→65,68)

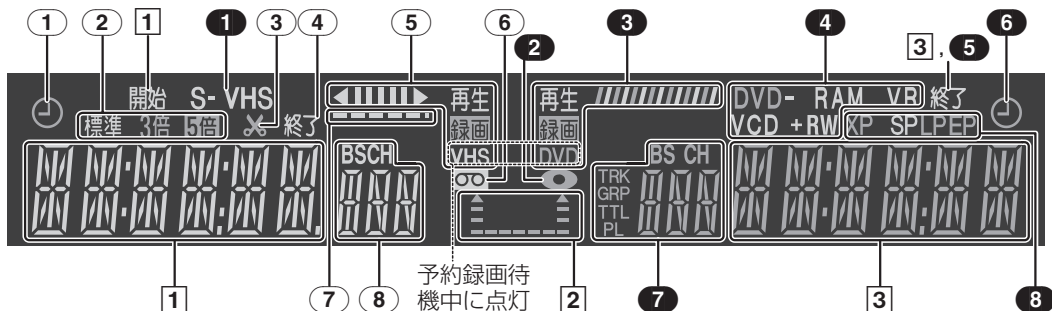
○VHS 操作部

- 1 カセットを取り出す (→52)
2 再生時の基本操作 (→52)
3 チャンネルを切り換える (→55)
4 録画する/録画終了時刻を指定する.... (→55,56,71,72)

●DVD 操作部

- 1 ディスクトレイを開閉する (→27,33)
2 チャンネルを切り換える (→22,33)
3 再生時の基本操作 (→27)
4 録画する/録画終了時刻を指定する..... (→34,67,72)

本体表示窓

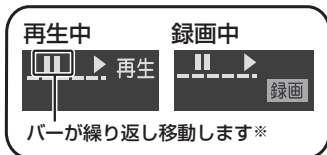


□DVD/VHS 共通

- 1 **メイン表示部**
●時刻 ●VHS再生・録画経過時間 ●テープ残量
●予約録画開始の日付/時刻 ●各種メッセージ...など。
2 **ダビング時** (→65~71)
3 **メイン表示部**
●DVD再生・録画経過時間 ●ディスク残量
●予約録画終了時刻 ●各種メッセージ...など。

○VHS 操作時

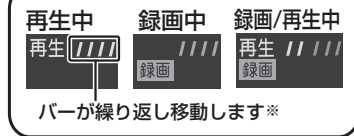
- 1 予約録画の待機中、実行中 (→57~60)
2 録画モード (→55,57,58,59,71,72)
3 CMカット録画時 (→56)
4 録画終了時刻を指定したとき (→56)
5 テープ動作状態



- 6 カセットが入っているとき
●カセットが入っていないときに、録画・予約録画などの操作をすると点滅。
●ダビングするときに、ダビングができない原因になっていると点滅。
7 **テープ残量** (→54,55)
8 **チャンネル番号** (→55)
●現在の受信チャンネルを表示。

●DVD 操作時

- 1 S-VHSダビングの実行中..... (→67)
2 ディスクが入っているとき
●ダビングするときに、ダビングができない原因になっていると点滅。
3 **ディスク動作状態**

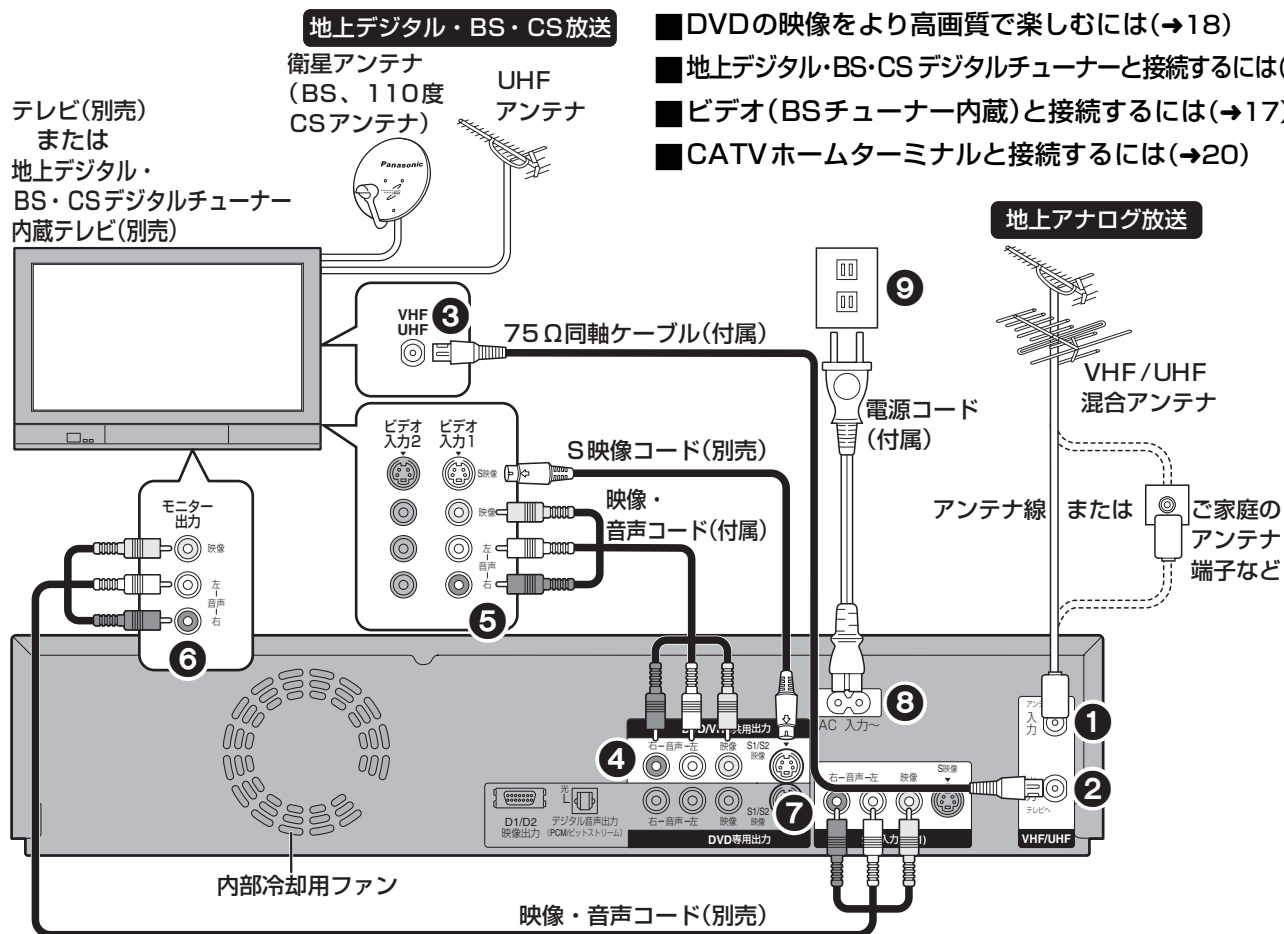


- 4 **ディスクの種類**
●MP3ディスクのときは、[3]メイン表示部に“MP3”と表示。
●写真が記録されたディスクのときは、[3]メイン表示部に“JPEG”と表示。
5 録画終了時刻を指定したとき (→34)
6 予約録画の待機中、実行中..... (→36~40)
7 **チャンネル番号** (→33)
●現在の受信チャンネル、およびDVD側/VHS側の予約録画チャンネルを表示。
番組や曲の番号と表示モード
TRK:トラック GRP:グループ
TTL:タイトル PL:プレイリスト
8 **録画モード** (→33,34,36,67,72)
全点灯:FR(フレキシブルレコーディングモード)

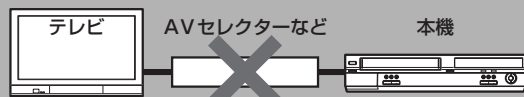
※再生や早送りなど、動作によってバーの移動速度などが変わります。

<準備 1> 接続する

テレビと接続する



本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。AVセレクターなどを經由させて接続すると、著作権保護の影響により、DVD再生時に映像が乱れることがあります。



準備

- 各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- テレビに接続しているアンテナ線などがある場合は、すべて外してから作業することをおすすめします。
- 接続は乾いた手で行ってください。
- 各機器の説明書もご覧ください。

1 アンテナ線を、 本機の①VHF/UHF入力端子に接続する

- テレビやお手持ちのビデオにアンテナ線が接続されている場合は、外して本機に接続し直します。

2 75Ω同軸ケーブル(付属)を、 本機の②VHF/UHF出力端子とテレビの③VHF/UHFアンテナ入力端子に接続する

3 映像・音声コード(付属)を、 本機の④DVD/VHS共用出力(映像・音声)端子とテレビの⑤ビデオ入力1(映像・音声)端子に接続する

- ここでは、テレビのスピーカーを使って音声を聞く場合を説明しています。
- 音声端子が1つしかない(モノラル)テレビをお使いのときは、ステレオ↔モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

- DVDの映像をより高画質で楽しむには(→18)
- 地上デジタル・BS・CSデジタルチューナーと接続するには(→17)
- ビデオ(BSチューナー内蔵)と接続するには(→17)
- CATVホームターミナルと接続するには(→20)

地上アナログ放送

- S映像コード(別売)をお手持ちの場合は、S映像コード(別売)を接続すると、映像をより高画質でお楽しみいただくことができます。

S映像コード(別売)をお使いになるときは、本機の④DVD/VHS共用出力(S1/S2映像)端子とテレビの⑤ビデオ入力1(S映像)端子に接続してください。

4 ◆接続するテレビが地上デジタル・BS・CSチューナー内蔵の場合のみ

映像・音声コード(別売)を、
テレビの⑥モニター出力(映像・音声)端子と
本機の⑦外部入力1(L1)端子に接続する

5 電源コード(付属)を、 本機の⑧AC入力ソケットとご家庭の⑨電源コンセントに接続する

テレビに本機の画面を出してみ、正しく接続できているか確かめてください。(→21)

お知らせ

- 後面の内部冷却用ファンをふさがないでください。
- 接続したテレビの設定と本機の設定との組み合わせによっては、画像や音声がハウリング(画面が白くなったり、ブー音などの音)を起すことがあります。ハウリングが起きた場合、テレビ側で「ビデオ1」のモニター出力を停止させる設定(例:モニター出力停止設定)をしてください。詳しくはテレビの説明書をお読みください。

デジタル放送を録画するときは、CPRM対応のDVD-RAMを使用してください。DVD-R、DVD-RWや+Rには録画できません。(詳しくは→6)

■ テレビから外したアンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルでないとき

- 別売の部品や加工が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

■ テレビにビデオ入力(映像・音声)端子がないとき

- 本機と接続することはできません。

■ VHF/UHFとBS出力がひとつになっているとき

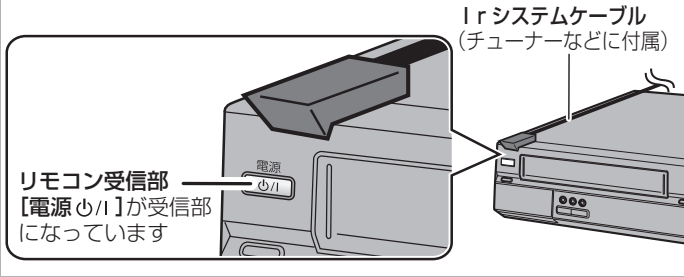
- BS・CS/UV分波器(別売)を接続し、本機にはVHF/UHF出力からの線を接続してください。

アイアール

Ir システムケーブルを設置する

本機は、当社製チューナーまたはチューナー内蔵テレビのIrシステム(→79)に対応しています。(チューナーなどのIrシステムがDVDレコーダーに対応していることをご確認ください) Irシステムの設置・設定・操作方法は、チューナーなどの説明書をご覧ください。

Irシステムケーブルの設置例



時刻表示を確かめる

電源コンセントに接続したあと、

本体表示窓の現在時刻が合っているか、確かめる

- 間違っていたら、合わせ直してください。(→26)

お知らせ

- 本機は時刻を合わせて工場出荷されています。
- 自動バックアップ機能(→下記)で時刻を記憶していますので、通常は時刻合わせする必要はありません。ただし、以下のときは時刻を合わせ直してください。(→26)
 - ・誤差が2分以上あるとき
 - ・時刻表示が“0:00”で点滅しているとき

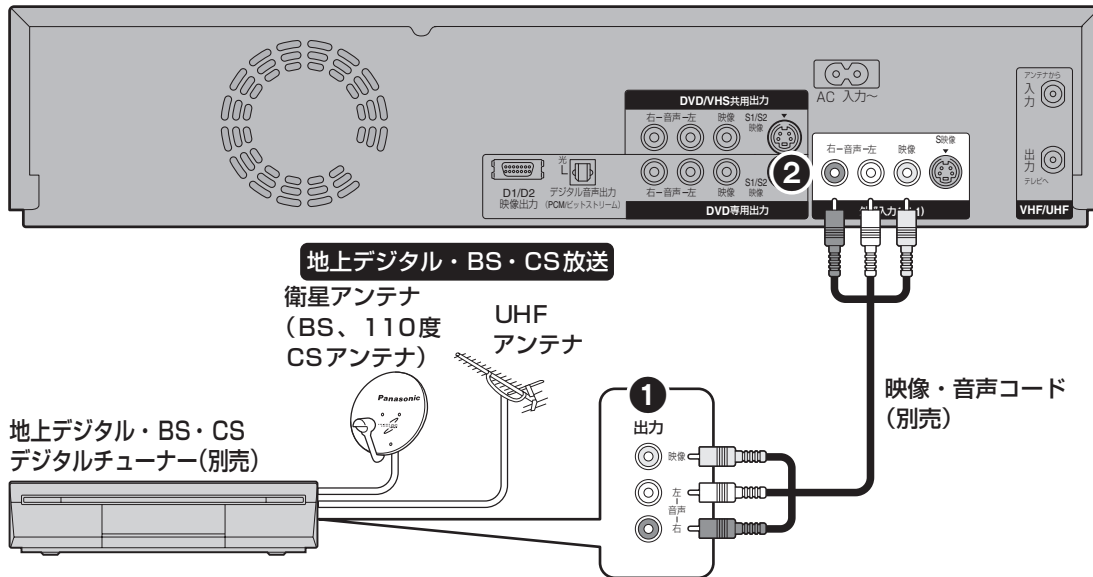


自動バックアップ機能について

- 工場出荷時より約5年間は時刻を記憶しています。
- 設定した受信チャンネルや、予約内容も記憶しています。
- 停電に対応しています。
- 2分以内の誤差を自動修正する自動時刻合わせ機能を働かせると、より正確な時刻になります。(→26)

接続
設定

地上デジタル・BS・CSデジタルチューナーと接続する



- 準備**
- 各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - チューナーに接続しているアンテナ線などがある場合は、すべて外してから作業することをおすすめします。
 - 接続は乾いた手で行ってください。
 - 各機器の説明書もご覧ください。

1 左ページ手順1～3を行う

2 映像・音声コード(別売)を、チューナーの①出力(映像・音声)端子と本機の②外部入力1(L1)端子に接続する

3 左ページ手順5を行う

■ビデオ(BSチューナー内蔵)と接続する場合は

左記手順2で、映像・音声コード(別売)を、ビデオの①出力(映像・音声)端子と本機の②外部入力1(L1)端子に接続する

お知らせ

- 地上デジタルやBS、CS放送をご覧になるには、それぞれ対応したチューナー(別売)が必要です。また、有料の場合はそれぞれの放送会社との受信契約が必要な場合があります。(詳しくは、それぞれの放送会社にご相談ください)
- 110度CSデジタル放送をお楽しみいただく場合は、販売店にご相談ください。

<準備1> 接続する (つづき)

DVDの映像をより高画質で楽しむ

■ DVD/VHS共用出力端子とDVD専用出力端子について
DVDとVHSの両方を出力する共用出力端子と、DVDのみを出力する専用出力端子があります。

DVD専用出力端子:

DVD側の映像をより高画質で楽しむための専用端子です。

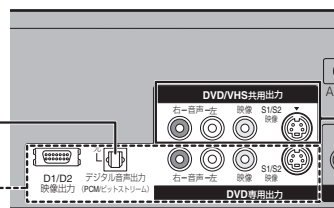
DVD専用出力端子に接続したコードは、テレビのビデオ入力2端子またはコンポーネント(色差)ビデオ入力端子に接続してください。

DVD専用出力

光デジタル音声

出力端子

DVD専用出力端子



DVD/VHS
共用出力
端子
DVD/VHS
共用出力端子

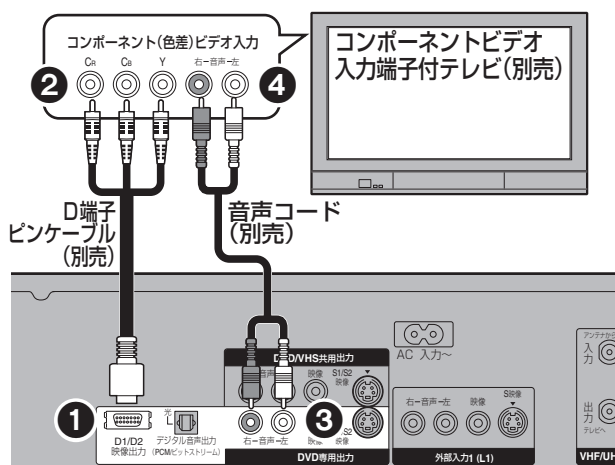
準備

- 各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- テレビに接続しているアンテナ線などがある場合は、すべて外してから作業することをおすすめします。
- 接続は乾いた手で行ってください。
- 各機器の説明書もご覧ください。

D映像入力端子を利用する場合(プログレッシブ出力)

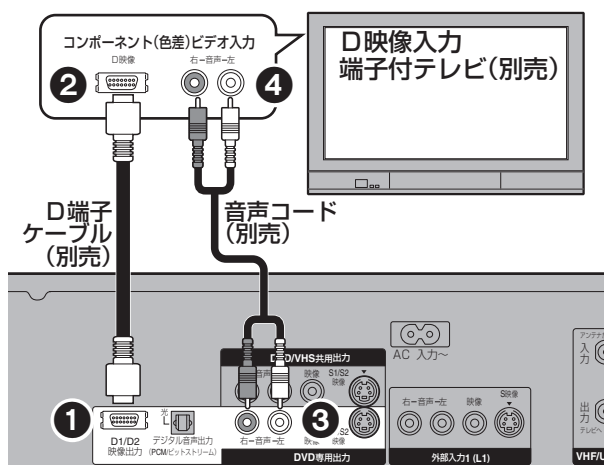
テレビにコンポーネントビデオ入力端子またはD映像入力端子があるときは、D端子ピンケーブル(別売)またはD端子ケーブル(別売)を接続をすると、DVDの映像をプログレッシブ出力(→79)することができます。

■コンポーネントビデオ入力端子付テレビと接続する場合



- 1 16ページ手順1~4を行う
- 2 D端子ピンケーブル(別売)を、本機の①D1/D2映像出力端子とテレビの②コンポーネント(色差)ビデオ入力(Y/Cb/Crなど)端子に接続する
 - コンポーネント(色差)ビデオ入力端子の表示が上図と異なるとき(Y/B-Y/R-Yなど)は、同じ色の端子どうしを接続してください。
- 3 音声コード(別売)を、本機の③DVD専用出力(音声)端子とテレビの④コンポーネント(色差)ビデオ入力(音声)端子に接続する
- 4 16ページ手順5を行う

■D映像入力端子付テレビと接続する場合



- 1 16ページ手順1~4を行う
- 2 D端子ケーブル(別売)を、本機の①D1/D2映像出力端子とテレビの②コンポーネント(色差)ビデオ入力(D映像)端子に接続する
- 3 音声コード(別売)を、本機の③DVD専用出力(音声)端子とテレビの④コンポーネント(色差)ビデオ入力(音声)端子に接続する
- 4 16ページ手順5を行う

この接続をした場合、DVDとVHSそれぞれの映像をご覧いただくには、テレビ側で接続した入力に切り換えてください。

■VHSの映像をご覧いただくには… → テレビの入力で「ビデオ1」に切り換える

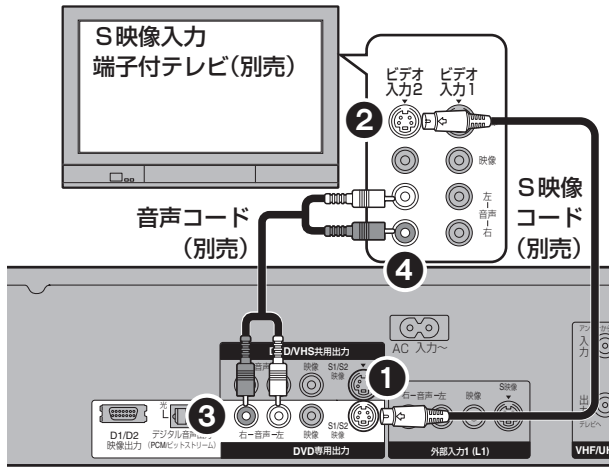
■DVDの映像をご覧いただくには… → テレビの入力で「色差ビデオ」に切り換える

お知らせ

- 初期設定の「接続するTV」をテレビに合わせて変更してください。(→25)
- D端子ピンケーブルで接続する場合に、映像が乱れたり、映らないことがありますので、テレビが以下のような端子のときは接続しないでください。
 - ・DVDに対応していないハイビジョン方式専用の端子
 - ・DVDのマクロビジョン社のコピーガードシステムに対応していない525P端子
 - ・ビデオカセットレコーダーのビデオ入力端子
- D映像入力端子付テレビがD1映像入力のみ対応している端子のときは、プログレッシブ出力で映像を楽しむことはできません。(インターレース映像のみの出力となります)

S映像入力端子を利用する場合

テレビにS映像入力端子があるときは、S映像コード(別売)を接続すると、従来の映像端子を使うよりも高画質でお楽しみいただけます。(プログレッシブ出力にはなりません)



- 1 16ページ手順1~4を行う
- 2 S映像コード(別売)を、本機の①DVD専用出力(S1/S2映像)端子とテレビの②ビデオ入力2(S映像)端子に接続する
- 3 音声コード(別売)を、本機の③DVD専用出力(音声)端子とテレビの④ビデオ入力2(音声)端子に接続する
- 4 16ページ手順5を行う

この接続をした場合、DVDとVHSそれぞれの映像をご覧いただくには、テレビ側で接続した入力に切り換えてください。

■VHSの映像をご覧いただくには…

→ テレビの入力で「ビデオ1」に切り換える

■DVDの映像をご覧いただくには…

→ テレビの入力で「ビデオ2」に切り換える

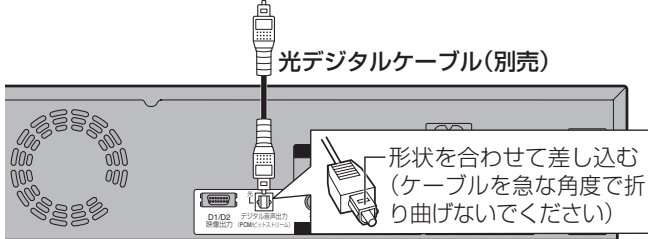
お知らせ

- S映像入力端子が複数ある場合は、初期設定の「ワイドモード」を端子に合わせて変更してください。(→49)
(テレビ側で切り換えが必要な場合もあります)

DVDをより迫力のある音声で楽しむ

アンプの光デジタル入力に接続する

DVDビデオのマルチチャンネル音声が楽しめます。
アンプなどの光デジタル入力端子へ

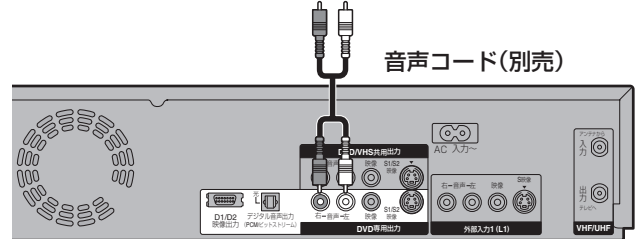


お知らせ

- 初期設定「デジタル出力」を接続する機器に合わせて設定してください。(→50)
- 光デジタルケーブル(別売)をお求めになるときは、あらかじめ接続される機器の端子形状をご確認ください。
- DVDビデオに対応していないDTSデコーダーは使用できません。
- DVD オーディオの場合は2チャンネルで出力されます。

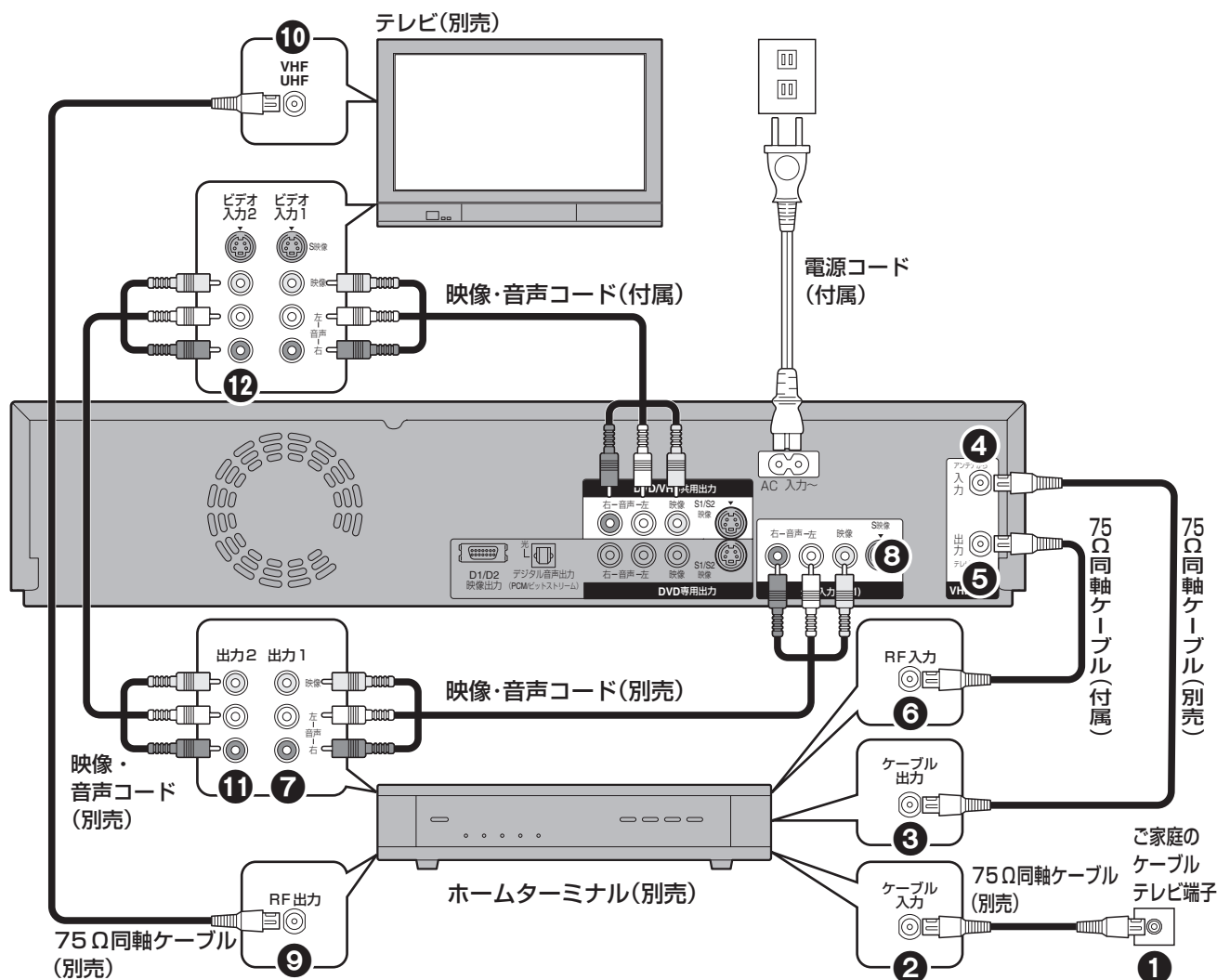
アンプの音声入力に接続する

アンプなどの音声入力(L/R)端子へ



<準備 1> 接続する (つづき)

CATVホームターミナル、テレビと接続する



- 準備**
- 各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - テレビ、ホームターミナルに接続しているアンテナ線などがある場合は、すべて外してから作業することをおすすめします。
 - 接続は乾いた手で行ってください。
 - 各機器の説明書もご覧ください。

1 75Ω同軸ケーブル(別売)を、ご家庭の①ケーブルテレビ端子とホームターミナルの②ケーブル入力端子に接続する

2 75Ω同軸ケーブル(別売)を、ホームターミナルの③ケーブル出力端子と本機の④VHF/UHFアンテナ入力端子に接続する

3 75Ω同軸ケーブル(付属)を、本機の⑤VHF/UHF出力端子とホームターミナルの⑥RF入力端子に接続する

- ホームターミナルにRF入力、RF出力端子がないときは、直接テレビの⑩VHF/UHFアンテナ入力端子に接続してください。この場合、手順5は必要ありません。

4 映像・音声コード(別売)を、ホームターミナルの⑦出力1(映像・音声)端子と本機の⑧外部入力1(L1)端子に接続する

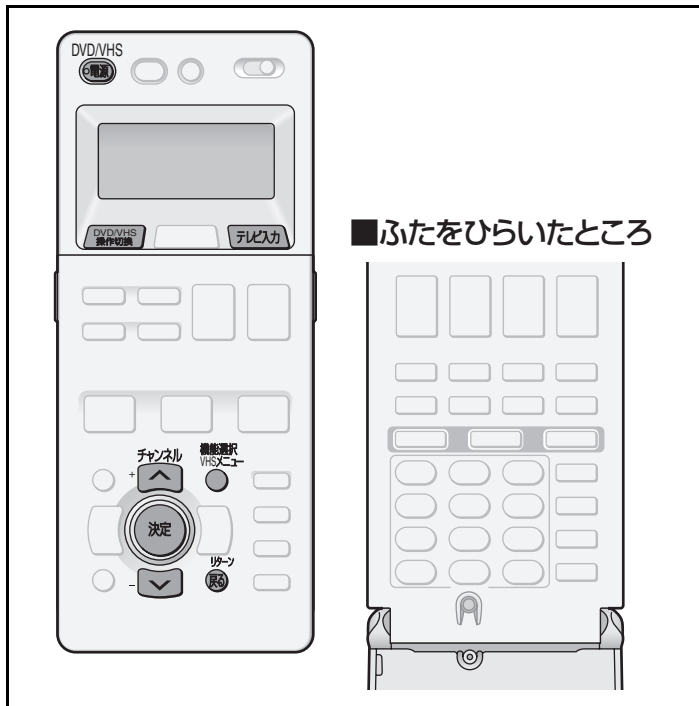
5 75Ω同軸ケーブル(別売)を、ホームターミナルの⑨RF出力端子とテレビの⑩VHF/UHFアンテナ入力端子に接続する

6 映像・音声コード(別売)を、ホームターミナルの⑪出力2(映像・音声)端子とテレビの⑫ビデオ入力2(映像・音声)端子に接続する

7 16 ページ手順3、5を行う

お知らせ

- CATV放送をご覧になるには、CATV会社との受信契約が必要です。
- CATV会社と新たに受信契約をされたときは、CATV会社が接続してくれます。
- コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を見たり録画したりするには、専用のホームターミナル(アダプター)(別売)が必要です。
- CATV放送の受信は、サービスエリア内のみ可能です。詳しくは、CATV会社にご相談ください。
- マニュアルチャンネル設定を正しく行ってください。(→23)特に、各チャンネルのガイドチャンネルを設定しておかないと、Gコード予約ができません。
- ホームターミナルやCATV専用のチューナーなどを本機のリモコンで操作することはできません。



テレビに本機の画面を出す

テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
DVDやVHSの映像を見るときも、下記の操作を行ってください。

1 テレビの入力をビデオ入力にする

テレビ入力 を数回
押す



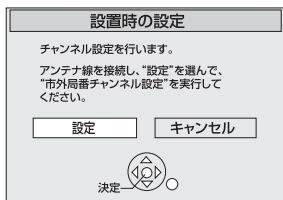
- 例えば、テレビのビデオ入力1端子に接続しているときは、「ビデオ1」にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。
- [テレビ入力]を押してもテレビの入力が切り換わらないときは、本機のリモコンでテレビの操作ができるように設定するか、テレビに付属のリモコンで操作してください。(→25)

2 電源を入れる

DVD/VHS
電源

◆設置時の設定画面が表示されたとき
「設定」が選ばれている状態で、[決定]を押す

- お買い上げ後、はじめて電源を入れたときは、右のような画面が表示されます。チャンネル設定をしてください。(→22手順2へ)
※チャンネル設定をしない場合や、チャンネル設定を工場出荷時の状態に戻した場合は、電源を入れるたびにこの画面が表示されます。



- 右のような画面がテレビに表示されているれば、本機の画面が映っていることとなります。映らない場合は、もう一度、接続が正しくできているか確かめてください。(→16~20)

本機DVD側の映像が出るか確かめる

チャンネル設定後に接続し直したときなどは、下記の操作を行って、テレビに本機の画面が映るか確かめてください。

- 左記手順1~2のあとに操作します。

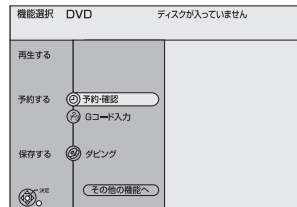
3 **DVD/VHS** 操作切換

 を押して、DVD側に切り換える(→14)

4 本機の画面が映っているか確かめる

機能選択
VHSメニュー

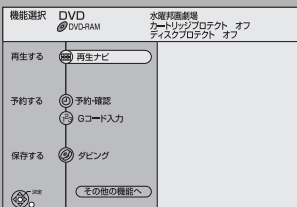
- 右のような機能選択画面がテレビに表示されているれば、本機の画面が映っていることとなります。
- またはDVDビデオソフトなどを再生してみてください。(→27)
- 本機の画面が映らない場合は、もう一度、接続が正しくできているか確かめてください。(→16~20)



例)ディスクが入っていないとき

機能選択画面について(DVD側のみ)

[DVD/VHS操作切換]を押してDVD側に切り換え、[機能選択/VHSメニュー]を押すと、右のような画面がテレビに表示されます。ディスクの種類に応じて、使える機能をこの画面から選ぶことができます。



例)DVD-RAMがディスクトレイにあるとき

- [↑][↓]で項目を選び、[決定]で実行します。「その他の機能へ」を選んだときは、さらに[↑][↓]で項目を選び、[決定]で実行します。「戻る」を選び[決定]を押すと、「その他の機能へ」を選んだ前の画面に戻ります。
- 機能の詳細はそれぞれのページをお読みください。
再生ナビ(→27,42) プレイリスト編集(→44,45)
予約・確認(→39) ぴったり録画(→34)
Gコード入力(→37) 初期設定(→49)
ダビング(→66,69) ディスク管理(→46)
- “プロテクトを設定している”など、条件によって選べない項目は灰色で表示されます。

機能選択画面を消す → [リターン/戻る]を押す

本機VHS側の映像が出るか確かめる

- 左記手順1~2のあとに操作します。

3 **DVD/VHS** 操作切換

 を押して、VHS側に切り換える(→14)

4 本機の画面が映っているか確かめる VHSの再生を試みる(→52)

こんなときは…

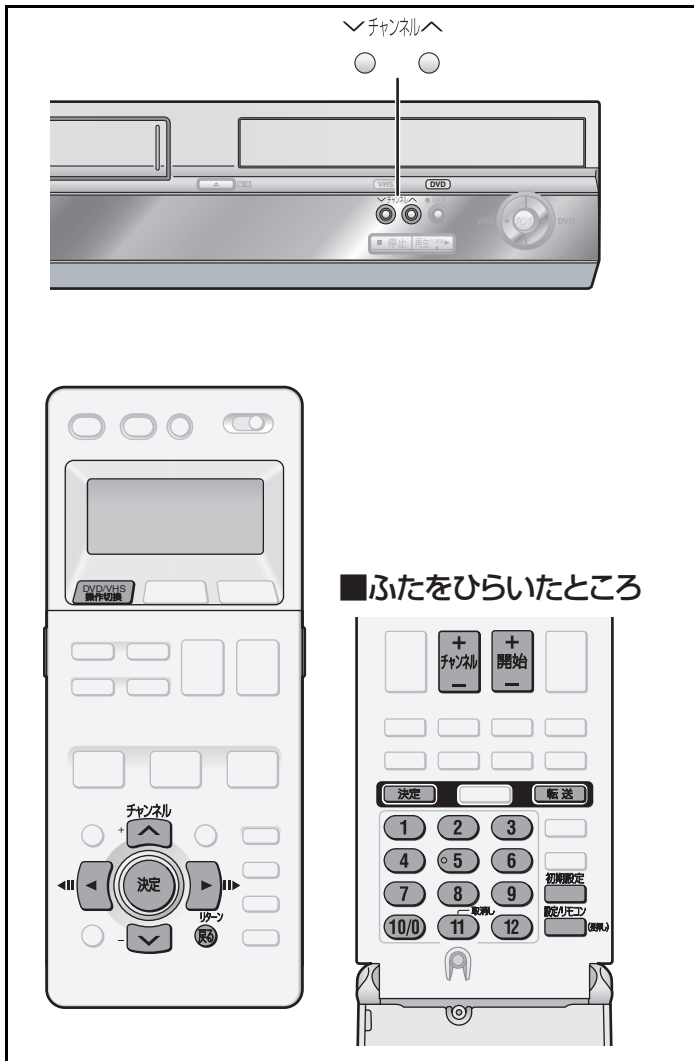
再生すると、映像も音声もない

映像・音声コード(付属)を、本機のDVD専用出力(映像・音声)端子に接続していないか確かめてください。(→16,18)
→本機のDVD/VHS共用出力(映像・音声)端子に接続し直してください。

再生すると、音声は聞こえるが映像が出ない

本機のDVD専用出力(S1/S2映像)端子に接続したS映像コード(別売)を、テレビのビデオ入力1(S映像)端子に接続していないか確かめてください。(→16,19)
→S映像コード(別売)を、本機のDVD/VHS共用出力(S1/S2映像)端子に接続し直してください。

<準備2> 設定する



■ふたをひらいたところ



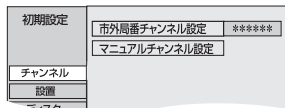
市外局番でチャンネルを合わせる (市外局番チャンネル設定)

お使いになる地域の市外局番を使って、受信チャンネルを設定します。

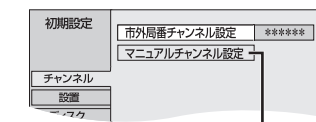
- 準備**
- アンテナが正しく接続されているか確かめる。
 - テレビに本機の画面を出す。(→21)

1 停止中に、**初期設定**を押す

- 初期設定画面が表示されます。

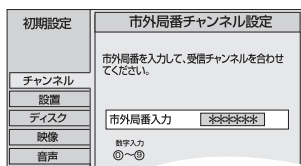


2 「チャンネル」が選ばれている状態で、**決定**を押す



市外局番チャンネル設定を実行し、チャンネルを設定するまで選べません。

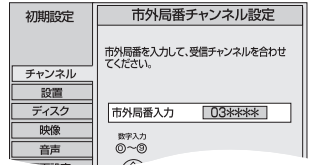
3 「市外局番チャンネル設定」が選ばれている状態で、**決定**を押す



4 お住まいの地域の市外局番を入力する(→82)

1 ～(10/0)を押す

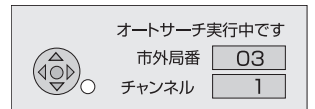
間違えたときは、[<]または[取消し/11]を押して、再度入力してください。



- 市外局番が一覧表にない場合は、普段ご覧になる放送局が最も多く含まれる市外局番を入力してください。
- 市外局番に変更があったときでも、一覧表の番号を入力してください。

5 **決定**を押す

- 自動的にお住まいの地域で受信できるチャンネルを探します。(オートサーチ)



- 決定**でも同様の操作ができます。

6 オートサーチ終了後、

リターンを押す

- 初期設定画面に戻ります。

チャンネル[<] [>]や[1]～[12]を押して、チャンネルがすべてきれいに受信できているか確かめてください。

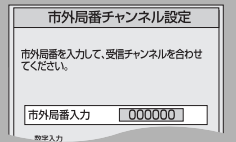
- [1]～[12]は、市外局番チャンネル設定一覧表(→82)にあるチャンネルポジション1～12の放送局を直接選ぶことができます。

■ひとつ前の画面に戻る → [リターン/戻る]を押す

■初期設定画面を消す → [リターン/戻る]を数回押す

最初から設定し直したいとき

- 上記手順4で、[10/0]を6回押し、「000000」と入力して[決定]を押すと、本機のチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。
- 「初期化を終了しました。」と表示されたら完了です。
- ガイドチャンネルはすべてのチャンネルで設定されていませんので、このままではGコード予約はできません。
- 停止中に本体 DVD 側のチャンネル[<] [>]を同時に5秒以上押しても、チャンネルの設定は工場出荷時の状態に戻ります。



リモコン表示窓を使って設定する

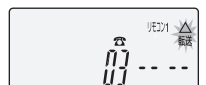
リモコン表示窓を使ってチャンネル設定することもできます。

1 ①マークが出るまで、**設定/リモコン**を押し続ける



2 お住まいの地域の市外局番を入力する(→82)

1 ～(10/0)を押す



- 市外局番が一覧表にない場合は、普段ご覧になる放送局が最も多く含まれる市外局番を入力してください。
- 市外局番に変更があったときでも、一覧表の番号を入力してください。
- 間違えたときはリモコンのふたを閉じ、最初からやり直してください。

3 転送を押す

- 自動的にお住まいの地域で受信できるチャンネルを探します。(オートサーチ)



4 オートサーチ終了後、すべてきれいに受信できているかチャンネルを切り換えて確かめる

また(1)～(12)を数回押す

- [1]～[12]は、市外局番チャンネル設定一覧表(→82)にあるチャンネルポジション1～12の放送局を直接選ぶことができます。

最初から設定し直したいとき

- 左ページ「リモコン表示窓を使って設定する」手順2で、[10/0]を6回押し、「000000」と入力して転送すると、本機のチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。



VHF/UHF チャンネル: VHFの1～12チャンネルが受信できる状態

CATV チャンネル : すべてのチャンネルがとばされた状態

外部入力チャンネル : すべてのチャンネルが使える状態

- ガイドチャンネル(→24)はすべてのチャンネルで設定されていませんので、このままではGコード予約はできません。

リモコンの予約チャンネル表示を設定する

本体の表示チャンネルに合わせて、使わない予約チャンネルはとばしておく、予約録画の際に素早く合わせることができます。

- CATV受信される方は、必ず下記の操作を行って必要な予約チャンネルを表示させてください。(工場出荷時は、CATVチャンネルはすべてとばされています)

- 1 凸マークが出るまで、**設定/リモコン表示窓**を押す、さらに1回押す



- 2 とばしたい(表示させたい)予約チャンネルを選ぶ **+** を数回押す

- 押し続けると、10ずつ変わります。

- 3 “OFF”か“On”を選ぶ

+ を押す

OFF : とばす
On : 表示させる



- 4 リモコンのふたを閉じる

お知らせ

- 必ず表示チャンネル(本体で表示させているチャンネル)で設定してください。
- 2つ以上のチャンネルをとばしたい(表示させたい)ときは、手順2～3を繰り返してください。
- とばされたチャンネルは、リモコン表示窓を使ってのフリーセット予約(→38,58)ができません。

その他

- 同じ放送局が複数のチャンネルポジションに設定されているとき

- 必ず映りの悪い方のチャンネルを削除してください。(→24)

■受信できるチャンネルがとばされていたり、映りの悪いチャンネルがあるとき

- マニュアルチャンネル設定で、必要な設定を行ってください。(→下記)

お知らせ

- 実際に受信できなかったチャンネルはとばされます。
- 新たに受信できたチャンネルは、チャンネルポジション13～20に追加登録されます。
- 設定される各放送局の受信・表示・ガイドチャンネル一覧については、市外局番チャンネル設定一覧表(→82)をご覧ください。

自分でチャンネルを合わせる

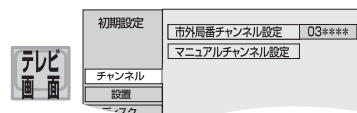
(マニュアルチャンネル設定)

市外局番チャンネル設定で正しく設定されなかったときや、きれいに映るはずのチャンネルがとばされているとき、選局の順番を入れ替えたいとき、ガイドチャンネルが設定されていないときなどに操作します。

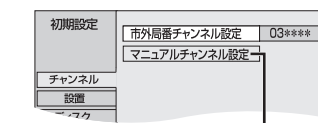
- 準備
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)

- 1 停止中に、**初期設定**を押す

- 初期設定画面が表示されます。



- 2 「チャンネル」が選ばれている状態で、**▶**を押す



市外局番チャンネル設定を実行し、チャンネルを設定するまで選ばれません。

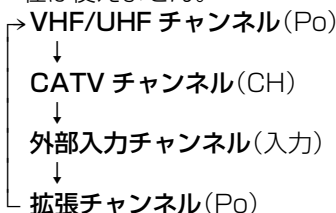
- 3 **◀ ▶**で「マニュアルチャンネル設定」を選び、**決定**を押す

- 4 「Po」が選ばれている状態で、**◀ ▶**を押し、放送局を設定するチャンネル(チャンネルポジション)を選ぶ

映りの悪いチャンネルを微調整したいとき(→24)

VHF/UHFチャンネル				1/10
Po	CH	表示	ガイド	
1	1	1	80	
2	14	14	14	
3	3	3	90	
4	4	4	4	
5	16	16	16	
6	6	6	6	
7	42	42	42	
8	8	8	8	
9	46	46	46	
10	10	10	10	

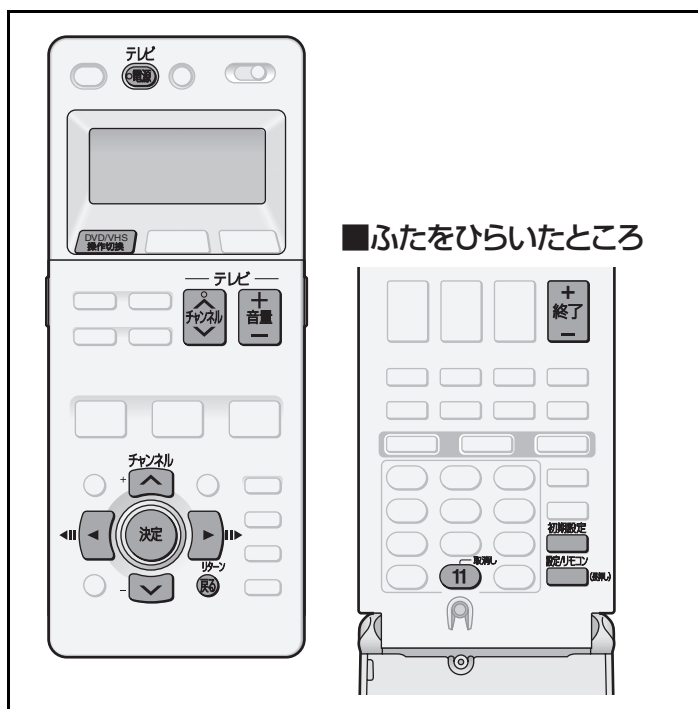
- [▼]を押すごとに、下記のように変わります。([▲]を押すと逆方向)
- 拡張チャンネルは、将来のシステムに対応するもので、現在は使えません。



- ひとつ前の画面に戻る⇒[リターン/戻る]を押す

- 設定を終了する⇒[リターン/戻る]を数回押す

<準備2> 設定する(つづき)



自分でチャンネルを合わせる (マニュアルチャンネル設定)(つづき)

チャンネルの追加、表示チャンネルの変更をしたいとき

●23ページ手順1～4のあとに操作します。

5 ◀ ▶ で各項目を選び、▲ ▼ で設定する

チャンネル	VHF/UHFチャンネル		1/10	
	Po	CH	表示	ガイド
1	1	1	1	80
2	14	14	14	14
3	3	3	3	90
4	4	4	4	4
5	16	16	16	16
6	6	6	6	6
7	42	42	42	42
8	8	8	8	8
9	46	46	46	46
10	10	10	10	10

- [▲][▼]を押し続けると10ずつ変わります。
- 別のチャンネルを設定するには、23ページ手順4に戻ります。

- CH** : 希望の放送局が映るようにする
放送局から実際の電波を受信します。新聞・雑誌などに載っているチャンネルとは違う数字になる地域もあります。
- 表示** : 受信した放送局の表示を決める(チャンネル番号)
決めた数字は、本体表示窓やテレビ画面に表示され、予約を行うときもこの数字でチャンネルを合わせます。新聞・雑誌などに載っているチャンネル数字にしておくと選びやすくなります。実際の受信チャンネルとは違う数字になる地域もあります。
CATVのときは
[▲][▼]のどちらかを押し表示を出す
例) “-” → “C13”
(“-”になっていると受信できません)
- ガイド**: Gコード予約ができるようにする
ガイドチャンネルは各放送局ごとに決まっています。市外局番チャンネル設定一覧表(→82)の「ガイドCH」の項目にある数字に合わせてください。合わせていないとGコード予約できません。
●CATVによっては、BS放送をVHF/UHFチャンネルに置き換えて放送しているところがあります。このときは、Gコード予約するためのガイドチャンネルを以下の表のとおり合わせてください。

放送局	ガイドCH	放送局	ガイドCH
BS1	71	BS9 (ハイビジョン放送*)	75
BS3	72	BS11 (NHK衛星第2)	76
BS5 (WOWOW)	73	BS13	77
BS7 (NHK衛星第1)	74	BS15	78

※本機ではハイビジョン放送は見られません。

映りの悪いチャンネルを微調整したいとき

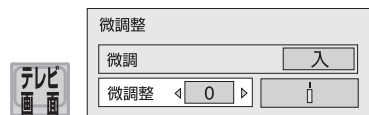
ノイズがあるときや、色が付いていないときなどに操作します。この微調整は、DVD/VHSの同じチャンネルの映り具合に共通に影響します。

●23ページ手順1～4のあとに操作します。

5 決定 を約3秒以上押す

6 ◀ ▶ で「入」を選ぶ

7 ◀ ▶ を数回押し調整する



- 色が付いていないとき…[▶]
- しま模様が出るとき…[◀]
(“0”にすると、元の状態に戻ります)
- 受信状態によっては、調整しきれないことがあります。

不要なチャンネルを削除したいとき

●23ページ手順1～4のあとに操作します。

5 決定 を押す

チャンネル	VHF/UHFチャンネル		1/10	
	Po	CH	表示	ガイド
1	1	1	1	80
2	14	14	14	14
3	3	3	3	90
4	4	4	4	4
5	16	16	16	16
6	6	6	6	6
7	-	-	-	-
8	8	8	8	8
9	46	46	46	46
10	10	10	10	10

■設定を終了する → [リターン/戻る] を数回押す

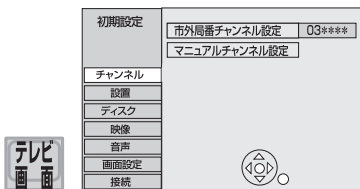
テレビのタイプを設定する(接続するTV)

ワイドテレビ(16:9)やプログレッシブ対応テレビと接続したとき設定してください。

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)

1 停止中に、初期設定を押す

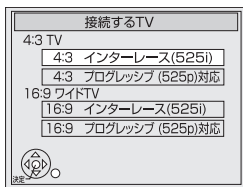
- 初期設定画面が表示されます。



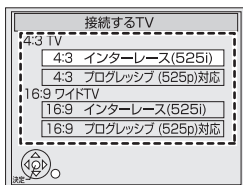
2 上下で「接続」を選び、決定を押す



3 「接続するTV」が選ばれている状態で、決定を押す



4 上下で接続するテレビタイプ(テレビ画面の横縦比、映像入力方式)を選び、決定を押す



ひとつ前の画面に戻る

→ [リターン/戻る]を押す

設定を終了する

→ [リターン/戻る]を数回押す

お知らせ

プログレッシブ対応テレビでの映像の横縦比は、16:9です。4:3のディスク素材は、16:9の横縦比になるように左右に引き伸ばされます。4:3のまま表示するには、テレビ側で調整するか、プログレッシブ対応テレビでは再生設定の「プログレッシブ」を「切」にしてください。(→32)

●インターレース:

従来の映像信号で、525i(i:インターレース=飛び越し走査)と呼ばれます。従来のテレビに接続する場合や、お使いのテレビがどちらであるかわからないときに選んでください。

●プログレッシブ:

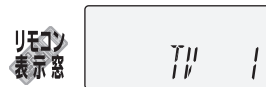
インターレースの倍の走査線をもつ映像信号です。525p(p:プログレッシブ=順次走査)と呼ばれます。本機のD1/D2映像出力端子から出力されます。

本機のリモコンでテレビも操作する

本機のリモコンでテレビの操作ができるようにします。

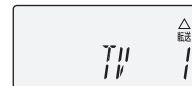
- 準備**
- テレビの電源を入れる。

1 電話マークが出るまで、電源/リモコン(便利)を押し、さらに2回押す



2 メーカー番号を合わせる

終了を押す



メーカー名	番号	メーカー名	番号
松下	1, 10, 22, 23	パイオニア	13
アイワ	18	ビクター	14
NEC	6, 15	日立	5, 20
三洋	7, 16	富士通ゼネラル	9
シャープ	2, 11, 21	フナイ	19
ソニー	3, 17	三菱	8, 12
東芝	4		

- テレビに向けて操作します。
- メーカー番号が合うと、テレビの電源が切れます。

3 リモコンのふたを閉じる

4 正しく操作できるか確かめる

テレビ電源を押して、チャンネルや音量を数回押す

- テレビの電源を入れ、チャンネルを切り換えたり、音量を調節してみてください。

お知らせ

- 複数の番号を持つメーカーは、正しく操作できる方の番号に合わせてください。
- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
- リモコンの電池が完全に消耗し、長期間放置したままになっていると、設定はすべて消えます。
- [1]～[12]を使ってテレビのチャンネル操作はできません。テレビのチャンネルを変更したいときは、テレビ[へチャンネル]をお使いください。

2台以上の当社製DVDレコーダーなどを使うとき(リモコンモード)

複数の当社製機器を同じ場所でお使いの方は、機種別にリモコンモードを変えておくと別々に操作できます。

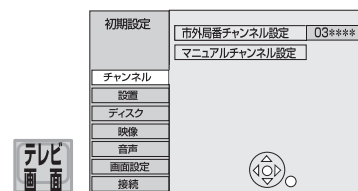
- 当社製機器のほとんどが共通したリモコン方式のため、再生などの操作をすると、本機以外の別の機器にも影響してしまいます。このときは、リモコンモードを変えてください。
- 通常は工場出荷時のまま「リモコン1」でお使いください。(当社製機器が本機しかないときなど)

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)

本体側のリモコンモードを変える

1 停止中に、初期設定を押す

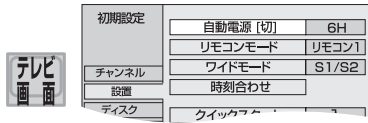
- 初期設定画面が表示されます。



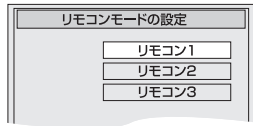
<準備2> 設定する(つづき)

2台以上の当社製DVDレコーダーなどを
使うとき(リモコンモード)(つづき)

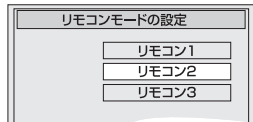
2 ▲▼で「設置」
を選び、
▶を押す



3 ▲▼で「リモコン
モード」を選び、
決定を押す



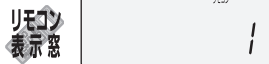
4 ▲▼でモードを選
び、決定を押す



●本体側のリモコンモードが設定され、初期設定画面になります。画面を消すには、リモコン側のリモコンモードを本体のリモコンモードに合わせる必要があります。

リモコン側のリモコンモードを変える

5 凸マークが出るまで、
設定/リモコン(解除)を押し、
さらに3回押す



6 本体のリモコンモードに合わせる
+ 終了 を数回押す



●押すごとに、「1」↔「2」↔「3」と変わります。

7 リモコンのふたを閉じる

●設定を終了します。

■設定画面を消す

→ 手順7のあと、[リターン/戻る]を数回押す

■操作できずに、本体表示窓に下図のような表示が出るとき



本体のリモコンモード番号

●本体とリモコンのリモコンモードが合っていないので、操作できません。
リモコン側のリモコンモードを本体に合わせてください。

お知らせ

●チューナーなどのIrシステム(→79)を使用する場合は、本機で設定したリモコンモードにIrシステムのリモコンモードを合わせてください。詳しくは、チューナーなどの説明書をご覧ください。

時刻を合わせ直す

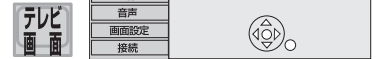
時刻が合っていないときは、合わせ直してください。

準備

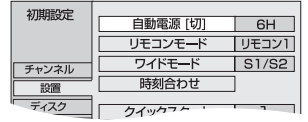
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
- [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)

1 停止中に、
初期設定を押す

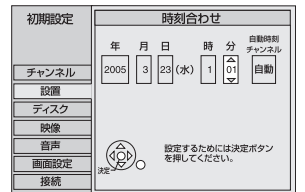
●初期設定画面が表示されます。



2 ▲▼で「設置」を選
び、▶を押す

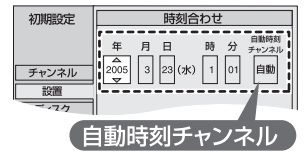


3 ▲▼で「時刻合わせ」を選び、
決定を押す



4 ◀▶で各項目を選
び、▲▼で修正する

- “時刻”は24時間表示です。
- “自動時刻チャンネル”(→下記)は、NHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします。表示チャンネルで合わせてください。
- “年”は西暦1988～2087年までです。



5 決定を押す

●初期設定画面になり、時計が動き始めます。

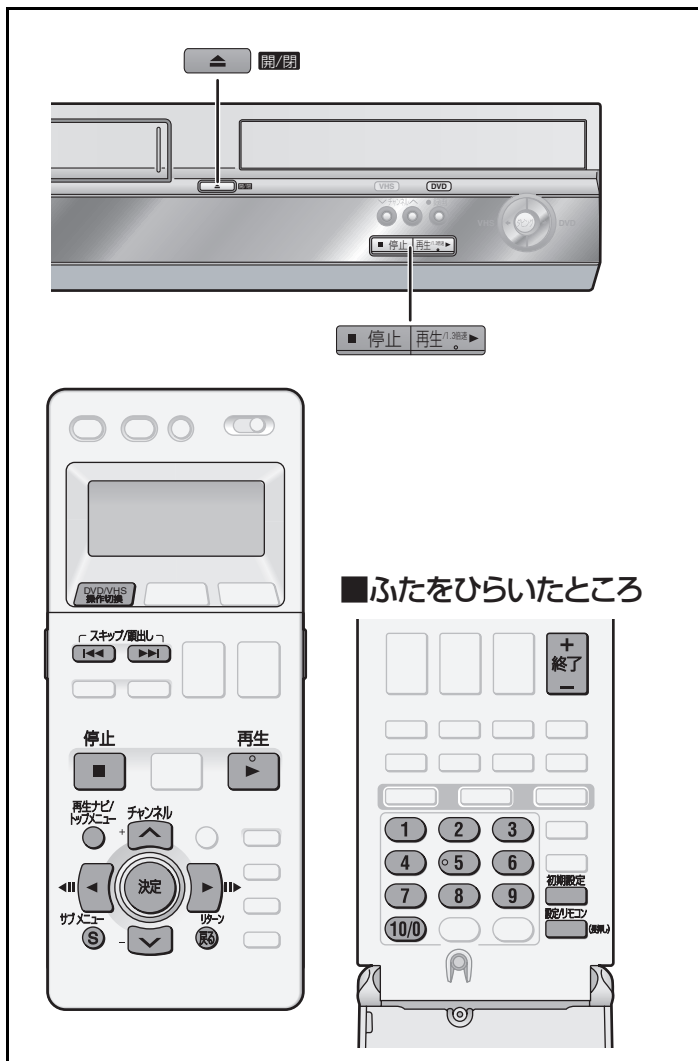
■ひとつ前の画面に戻る→[リターン/戻る]を押す

■設定画面を消す→[リターン/戻る]を数回押す

自動時刻合わせ機能について

- 毎日12時に本機が電源「切」状態であれば、NHK教育テレビの時報が放送されるかどうかを確認します。そのときに時報が放送されると、それに合わせて誤差を自動修正しますが、誤差が2分以上あるときは、時計を合わせ直してください。
- 「自動時刻チャンネル」を「自動」にすると、本機が自動的にNHK教育テレビを探し出します。地域により、探し出すまでに数週間かかることもありますので、あらかじめご自分でNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします。
- 自動時刻合わせ機能は、NHK教育テレビの時報を利用しています。正規の時報以外に番組の中で時報が放送されると、「時報」と誤って検出し、正しい時刻に設定されません。時刻表示の誤差が2分以上あるときは、時刻合わせで正しい時刻に合わせて直してください。
- 次のようなときは動きません。
 - ・「自動時刻チャンネル」を「—」にしているとき。(自動時刻合わせ機能が働いていない状態)
 - ・時報が放送される時刻に電源が入っているとき。
 - ・時報のバックに音楽が流れているとき。
 - ・「ポップポップポーン」の「ポーン」のみの時報のとき。
- 電源コードを抜いたあとや停電したあとなどは、自動時刻合わせ機能が働いていない状態になります。

ディスクを再生する



RAM -R -RW(V) +R
DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

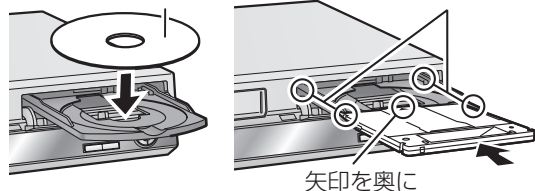
- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)

1 ディスクを入れる 本体の **開/閉** を押す

- 電源が切れていても取り出せます。
- もう一度押すと、トレイが閉まります。

◆カートリッジ付きディスク

ラベル面(両面ディスクでは、再生したい側のラベル面)を上



2 再生を始める 再生 **再生** を押す

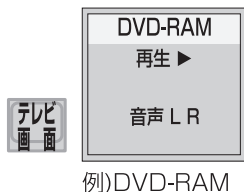
RAM -R -RW(V) +R

-RW(VR) :

最後に録画された番組(タイトル)から再生します。

その他のディスク:

ディスクの先頭から再生します。



例)DVD-RAM

■メニュー画面が表示されたら

画面表示に従って操作してください。

DVD-V DVD-A

[**上**][**下**][**左**][**右**]で項目を選び、[決定]を押す

- [1]～[10/0]で項目を選べるディスクもあります。(選びかた→下記)

VCD

[1]～[10/0]で項目を選び

例) 5の場合…[10/0]→[5]

15の場合…[1]→[5]

◆再生の途中でメニュー画面を表示させるには

- **DVD-V** [再生ナビ/トップメニュー]または[サブメニュー]を押す
- **DVD-A** [再生ナビ/トップメニュー]を押す
- **VCD** [リターン/戻る]を押す

お知らせ

- 両面ディスクは、両面にまたがって再生することはできません。いったんディスクを取り出し、裏返してください。
- 8 cm DVD-RAMの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクを入れてください。
- カートリッジ付きディスクの場合、プロテクト(→47)を設定しているときは、ディスクを入れると自動的に再生が始まります。
- ディスクによっては、メニュー画面や映像・音声が出るまで時間がかかることがあります。
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは[停止]を押して停止させてください。

録画した番組(タイトル)を選んで再生する

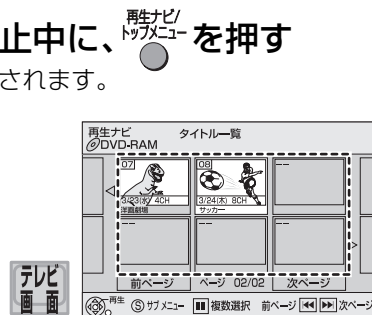
RAM -R -RW(V) +R

見たい番組(タイトル)を一覧表から簡単に探すことができます。

1 再生中または停止中に、再生ナビ/トップメニューを押す

- タイトル一覧が表示されます。

2 再生するタイトルを選ぶ



■絵表示について

- 🔒:書き込み禁止(プロテクト)を設定した番組
- 🚫:録画禁止信号により録画できなかった番組(デジタル放送など)
- X:データが壊れているなど、再生できない番組
- :録画中の番組
- 📺:[1回だけ録画可能]の番組(→6)
- 📺:PAL方式で録画された番組(再生できません)

3 [決定]を押す

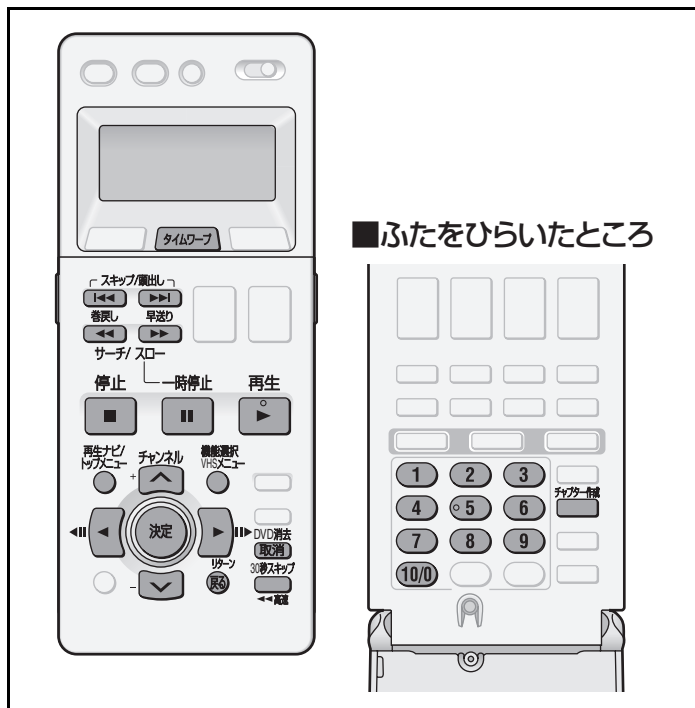
- リストが消え、選んだ番組をそのまま見ることができます。

◆前後のページを表示する

- [左] (前ページ)または[右] (次ページ)を押す
- [上][下][左][右]で“前ページ”または“次ページ”を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

■画面を消す → [再生ナビ/トップメニュー]を押す

ディスクを再生する(つづき)



■ふたをひらいたところ

再生中のいろいろな操作

停止

RAM	-R	-RW(V)	+R
DVD-V	DVD-A	-RW(VR)	CD VCD

停止
■を押す

止めた位置を一時的に記憶します。
 ●本体表示窓の“再生”が点滅します。(再生ナビからの再生やプレイリストの場合は点滅しません)
 “再生”点滅中に[再生▶]を押すと、止めた位置から再生します(続き再生メモリー機能)

- 止めた位置は
 - ・数回[停止■]を押すと“再生”の点滅が消え、解除されます。
 - ・電源を切るかトレイを開けると解除されます。

●[停止■]を押すと右のような画面が表示されることがあります。このあと、もう一度[停止■]を押すと、本機で受信しているテレビ放送を見ることができます。



一時停止(静止画)

RAM	-R	-RW(V)	+R
DVD-V	DVD-A	-RW(VR)	CD VCD

一時停止
⏸を押す

- もう一度押すと、再生を再開します。

早送り/早戻し(サーチ)

RAM	-R	-RW(V)	+R
DVD-V	DVD-A	-RW(VR)	CD VCD

◀または▶を押す

- 押すごとに、または押し続けると速度が速くなります(5段階)。
- [再生▶]で通常再生に戻ります。
 - 早送り1速時のみ音声が出ます。DVDオーディオ(動画部以外)、CDではすべての速度で音声が出ます。
 - ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。

スキップ

RAM	-R	-RW(V)	+R
DVD-V	DVD-A	-RW(VR)	CD VCD

再生中または一時停止中に、◀または▶を押す
 押した回数だけ番組、場面や曲を飛びこして再生します。

ダイレクト再生

RAM	-R	-RW(V)	+R
DVD-V	DVD-A	-RW(VR)	CD VCD

① ~ 10/0 を押す

番組や曲の番号を入力して再生します。
 ●停止中(右の画面表示中)のみ働くディスクもあります。

テレビ画面



◆MP3、JPEGやTIFFが入っているディスク:3けたで入力

例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]

15の場合…[10/0]→[1]→[5]

●MP3や写真(JPEG/TIFF)を再生するには(→29,30)

◆DVDオーディオのグループ:停止中に1けたで入力

例) 5の場合…[5]

◆それ以外のディスク(DVDオーディオではトラックが選ばれます):2けたで入力

例) 5の場合…[10/0]→[5] 15の場合…[1]→[5]

- プレイバックコントロール(→80)付きビデオCDでは、停止中(上の画面表示中)にこの方法で項目を選ぶと、メニュー再生が解除されます。(本体表示窓の“PBC”が消えます)

早見再生(1.3倍速)

RAM

再生
▶を約1秒以上押し続ける

通常の再生よりも速い速度で再生します。

- もう一度[再生▶]を押すと、通常の再生に戻ります。
- 早見再生中は、自動CM早送り再生(→32)は動きません。

スロー再生

RAM	-R	-RW(V)	+R
DVD-V	DVD-A (動画部)	-RW(VR)	VCD

一時停止中に、◀または▶を押す

押すごとに速度が速くなります(5段階)。

- [再生▶]で通常再生に戻ります。
- ビデオCDは送り方向[▶▶]にのみ働きます。
- スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。(DVD-V DVD-A VCDを除く)

コマ送り/コマ戻し

RAM	-R	-RW(V)	+R
DVD-V	DVD-A (動画部)	-RW(VR)	VCD

一時停止中に、◀または▶を押す

押すごとに1コマずつ送り(戻し)ます。

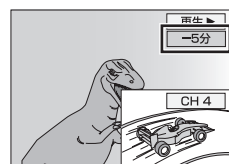
- 押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。
- [再生▶]で通常再生に戻ります。
- ビデオCDは送り方向[▶▶]にのみ働きます。

時間を指定して飛び越す(タイムワープ)

RAM	-R	-RW(V)	+R	-RW(VR)
-----	----	--------	----	---------

1 タイムワープを押す

テレビ画面



飛び越し時間表示
約5秒たつと自動的に消えます。
[タイムワープ]をもう一度押すと、再表示されます。

- 子画面にテレビの受信映像が表示されます。
- 再生画面の音声が出ます。
- [再生▶]を押すと子画面が消えます。

2 飛び越し時間が表示中に、▲▼で飛び越す時間を設定し、決定を押す

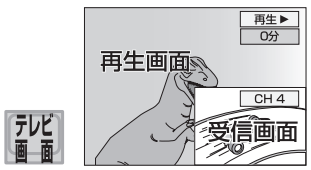
- [▲][▼]を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)送り[▲]、戻し[▼]します。

子画面でテレビを見る

RAM -R -RW(V) +R -RW(VR)

タイムワープを押す

- 子画面にテレビの受信映像が表示されます。
- 再生画面の音声が出ます。
- [再生▶]を押すと子画面が消えます。
- 飛び越し時間表示が消えているときは、チャンネル[へ][✓]で子画面のチャンネルを切り換えることができます。(録画中は切り換えることができません)
- 子画面はブルーバック(→51)にはなりません。



30秒先へスキップする

RAM -R -RW(V) +R -RW(VR)

30秒スキップを押す

- 押しごとに、約30秒飛びこして再生します。
- 自動CM早送り再生(→32)が働かないときなどに使うと便利です。

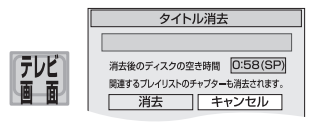
再生中の簡単な編集

消去する

RAM -R -RW(V) +R

番組(タイトル)などを再生中に消去します。

1 再生中に、DVD消法を押す



例)番組(タイトル)を消去する(DVD-RAM)

2 ◀で「消去」を選び、決定を押す

- 一度消去すると、元に戻せません。
- 録画中やダビング中は消去できません。
- R +R ディスク残量は増えません。
- RW(V)最後の番組を消去したときのみディスク残量が増えます。

チャプターを作成する

RAM

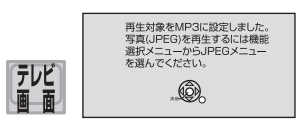
再生中に、チャプターを押す

- 押した位置でチャプター(→42)を区切ります。
- スキップ(→28)するとチャプターを飛びこします。
- 録画しながら録画中の番組を戻して再生しているとき(タイムワープ)(→35)や、ダビング中は動きません。
- 予約待機中は作成できません。

MP3と写真が混在したディスクの再生

CD

MP3と写真(JPEG/TIFF)が混在したディスクを入れると右図のような画面が表示されます。以下の手順で、再生したいデータの種類を選択してください。



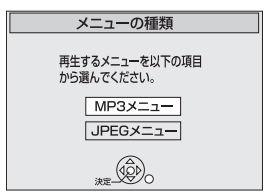
1 決定を押す

2 ◆MP3を再生する→「MP3を再生する」(→下記)

- ◆写真(JPEG/TIFF)を再生する
- [機能選択/VHSメニュー]を押す

写真(JPEG/TIFF)を再生するときのみ

3 「メニュー」が選ばれている状態で、決定を押す



4 ▲▼で「JPEGメニュー」を選び、決定を押す

- 写真(JPEG/TIFF)を再生するには(→30「写真(JPEG/TIFF)を再生する」手順2へ)

■選択画面を消す→[リターン/戻る]を押す

MP3を再生する

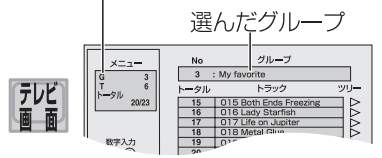
CD

パソコンなどでMP3を記録したCD-R、CD-RWが再生できます。

1 再生ナビ/トップメニューを押す

G:グループ数
T:グループ内のトラック数
トータル:グループ全体のトラック数

- フォルダーやファイルに付けた名前(S-JIS第1水準)がそれぞれグループ名、トラック名として表示されます。



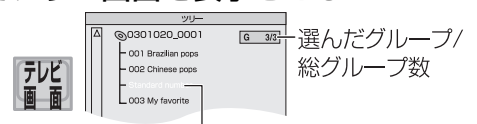
2 ▲▼でトラックを選び、決定を押す

- 選んだトラックの再生が始まります。
- [1]~[10/0]でもトラックを選べます。
- 例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]
15の場合…[10/0]→[1]→[5]
- ◆前後のページを表示する
- [◀◀] (前ページ)または[▶▶] (次ページ)を押す

別のグループを選ぶ

- 上記手順1のあとに操作します。

2 ▶を押してツリー画面を表示させる



MP3ファイルを含まないグループは選べません

3 ▲▼でグループを選び、決定を押す

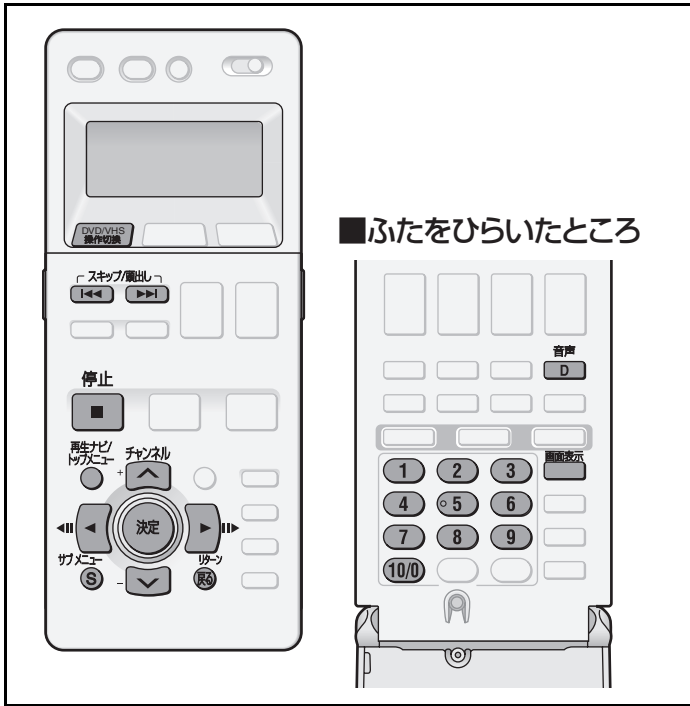
- 選ばれたグループのメニュー画面が表示されます。

■ひとつ前の画面に戻る→[リターン/戻る]を押す

■メニュー画面を消す→[再生ナビ/トップメニュー]を押す

見る/聞く

ディスクを再生する(つづき)



■ふたをひらいたところ

写真(JPEG/TIFF)を再生する

CD
パソコンなどで写真(JPEG/TIFF)を記録したCD-R、CD-RWが再生できます。

- 再生ナビ/トップメニューを押す
- ↑ ↓ ◀ ▶ で見たい写真を選び、決定を押す
 - 選んだ写真が画面に表示されます。
 - [1]～[10/0]でも写真を選べます。
 - 例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]
 - 15の場合…[10/0]→[1]→[5]

◆前後のページを表示する
 → [◀] (前ページ) または [▶] (次ページ) を押す
 ● [へ] [戻] [◀] [▶] で "前ページ" または "次ページ" を選び、[決定] を押しても、ページの切り換えができます。

■再生中に前後の写真を見る → [◀] [▶] を押す
 ■メニュー画面を消す → [再生ナビ/トップメニュー] を押す

別フォルダーの写真を見る
 ●左記手順1のあとに操作します。

2 ↑ で「フォルダ選択」を選び、決定を押す

 ●フォルダ選択画面が表示されます。

3 ↑ ↓ でフォルダを選び、決定を押す
 ●選ばれたフォルダのメニュー画面が表示されます。

 F: フォルダ番号 / 総フォルダ数
 再生できる写真 (JPEG/TIFF) が入っていないフォルダ

■フォルダ選択画面からメニュー画面に戻る
 → [リターン/戻る] を押す

写真を連続して再生する(スライドショー)
 ●左記手順1のあとに操作します。

- ↑ で「フォルダ選択」を選び、サムメニューを押す
- 「スライドショー開始」が選ばれている状態で、決定を押す
- 表示間隔を変える
 → 1 「スライドショーの表示間隔」を選び、[決定] を押す
 2 [◀] [▶] で表示間隔 [0秒～30秒] を変更し、[決定] を押す
 ■スライドショーを停止する → [停止] を押す

MP3や写真(JPEG/TIFF)について

- 使用できるフォーマット: IS09660 level 1とlevel 2(拡張フォーマットは除く)、Joliet
- フォルダ数(グループ数): ディスク上にルートを含む最大99フォルダ(グループ)まで表示されます。
- ファイル数: ディスク上の最大999個のファイル(トラック)が再生されます。
- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いとディスクの読み込みや再生開始に時間がかかることがあります。
- ファイル数(トラック数)やフォルダ数(グループ数)が多い場合、動作に時間がかかったり、対応できないことがあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。
- 本機画面とパソコン画面では表示が異なることがあります。
- ディスクの作りかた(書き込みソフト)によっては、再生順が変わることがあります。
- パケットライト方式には対応していません。
- 記録状態によっては再生できないものがあります。

MP3について

- ファイル形式: MP3
 ※ファイル名の拡張子に「mp3」、「MP3」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
- ビットレート: 32 kbps～320 kbps まで
- サンプリング周波数:
 16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz
- ID3タグには対応していません。

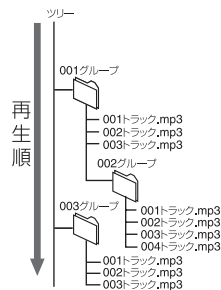
写真(JPEG/TIFF)について

- ファイル形式: JPEG、TIFF[非圧縮RGB(点順次)方式]
 ※ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」、「tif」、「TIF」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
- 画素数: 34×34～6144×4096
 (サブサンプリングは、4:2:2または4:2:0)
- TIFF形式の写真を表示する場合、動作に時間がかかることがあります。
- MOTION JPEGには対応していません。

- MP3、写真(JPEG/TIFF)データは、以下のようなフォルダ構成で作成することで見るすることができます。
- 最上位の階層に「DCIM」フォルダがあるときは、ツリーの先頭に表示されます。

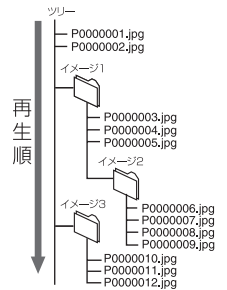
MP3のフォルダ構成

再生したい順番を指定する場合は、けた数を揃えた数字を付けてください。



写真(JPEG/TIFF)のフォルダ構成

同一フォルダ内のファイルは、更新日時の順番で表示されます。通常は撮影した順番に表示されます。



写真を回転、拡大する

●左ページ手順1～2のあとに操作します。

3 を押す



画素数の小さい写真のみ表示されます。

4 で項目を選び、 を押す

■回転した写真を元に戻す

→ [サブメニュー] を押して逆方向への回転を選び、[決定] を押す

■拡大した写真を元に戻す

→ [サブメニュー] を押して「縮小」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 回転、拡大の情報は保存されません。
- 拡大すると写真の一部が欠けることがあります。

写真の情報を見る(情報表示)

を2回押す

●もう一度 [画面表示] を押すと情報表示は消えます。



操作の状態を確認する(状態表示)

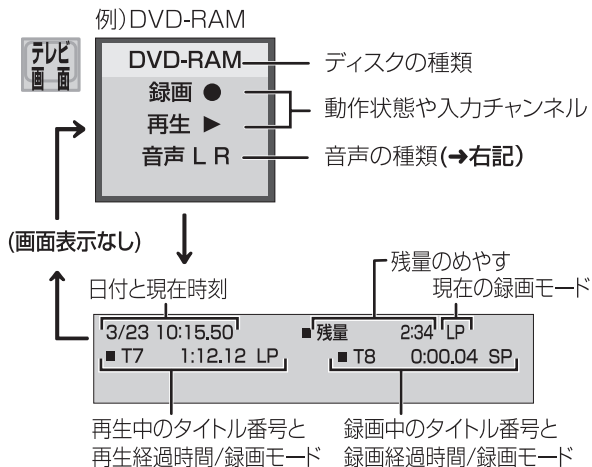
本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換] を押して、DVD側に切り換える。(→14)

を押す

押すごとに切り換わります。

- 残量の数字は目安です。



音声を切り換える

RAM DVD-V DVD-A -RW(VR) VCD

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

- ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。(2カ国語オート再生)

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換] を押して、DVD側に切り換える。(→14)

音声 を押す

押すごとに切り換わります。

◆テレビ放送受信中

ステレオ放送:

→ →

二重放送(2カ国語放送など):

→ →

モノラル放送(外部入力チャンネルも含む):

→ →

◆録画したテレビ番組の再生中

ステレオの番組:

→ →

二重音声の放送(2カ国語など):

→ →

モノラルの番組:

→ →

2カ国語オート再生機能について

- 次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。
 - ・外部入力録画または「TP」チャンネル(→67)で録画したディスクを再生中
 - ・[音声/D] を押して、音声を選んだあと(選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります)

お知らせ

- モノラル音声を再生する場合、切り換えに関わらずすべてモノラルとなります。
- 外部入力から録音する場合、入力した音声(L/R)のまま出力されます。
- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。
- 録画中に音声を切り換えても、録音される音声に影響はありません。
- DVD-V DVD-A VCD ディスクに収録されている音声切り換わります。
- 次のときは音声を選ぶことができません。
 - ・ディスクトレイにDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rが入っているとき
 - ・DVDからVHSへのワンタッチダビング(→68)の実行中
- 音響機器と光デジタルケーブルのみで接続した場合、初期設定の「Dolby Digital」が「Bitstream」になっていると、二重音声などを切り換えることができません。以下のどちらかの方法で切り換えるようになります。
 - ・「Dolby Digital」を「PCM」にする。(→50)
 - ・音声コード(別売)も音響機器に接続(→19)し、音響機器側で入力を切り換える。

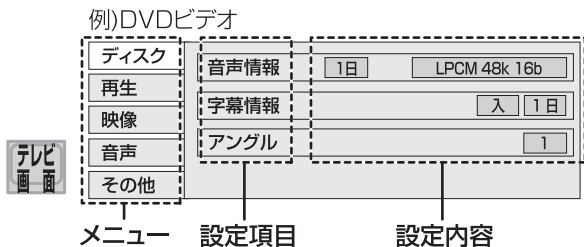
再生設定

設定の基本操作

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)

1 再生設定を押す

- 再生設定画面が表示されます。
- ディスクによりメニューは異なります。



2 上下でメニューを選び、右を押す

3 上下で設定項目を選び、右を押す

4 上下で設定を変える

- [決定]を押して設定変更を実行するものもあります。

■設定を終了する→[再生設定]を押す

ディスク独自の機能を設定する(ディスク)

音声情報※ DVD-V DVD-A

音声や言語を選びます。(音声属性/言語→下記)

- RAM -R -RW(V) +R +RW(VR) 音声属性表示のみ

字幕情報※ DVD-V DVD-A

字幕表示の入/切や、言語を選びます。(言語→下記)

- RAM -R -RW(V) +R +RW(VR) 入/切のみ(字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ。本機では記録していません)

音声チャンネル RAM -RW(VR) VCD

音声(L/R)を切り換えます。

アングル※ DVD-V DVD-A

アングルを選びます。

静止画 DVD-A

静止画の再生方法を選びます。

- スライドショー : 決められた順番で再生
- ページ : 静止画を選んで再生
 - ・ランダム : 順不同に再生
 - ・リターン : 決められた静止画を再生

PBC(プレイバックコントロール)(→80) VCD

PBC付きビデオCDでメニューの「入」、「切」が確認できます。(変更はできません)

- ※ディスクに収録されているメニュー画面(→27)でのみ切り換えてできるものもあります。
- 収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生方法を設定する(再生)

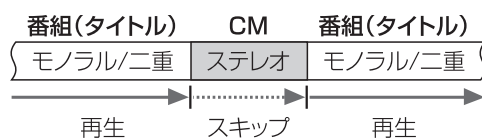
リピート(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)

繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

- All : ディスク全体
- Chapter : チャプター
- Group : グループ全体
- Title : タイトル全体
- PL : プレイリスト
- Track : トラック

自動CM早送り RAM (音声下記の場合のみ)

CMを自動的に飛ばして再生します。



- 早見再生中(→28)は動きません。
- 外部入力から録画した番組(タイトル)では動きません。
- 設定した内容は電源を切っても保持されます。
- 録画内容により、正しく働かないことがあります。

画質を設定する(映像)

画質選択 RAM -R -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR)

映像ディスク再生時の画質を選びます。

- ノーマル : 標準
- ソフト : ざらつきの少ない柔らかな画質
- ファイン : 輪郭の強調されたくっきりした画質
- シネマ : 映画鑑賞向け

MPEG-DNR

RAM -R -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR)

「入」を選ぶと、ノイズや文字周りのもやの補正をします。

プログレッシブ(→79)

(初期設定「接続するTV」で「プログレッシブ(525p)対応」を選んだ場合のみ)

映像が左右に引き伸ばされるときは「切」にしてください。

変換モード(「プログレッシブ」(→上記)が「入」の場合のみ)

プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

- Auto1 (標準) : 24コマ/秒のフィルム素材を自動判別
- Auto2 : Auto1に加えて、30コマ/秒のDVDビデオにも対応(ソフトによって映像にぶれが生じることがあります)
- Video : Auto1 または Auto2 でぶれが生じるとき

外部入力NR(「L1」「L2」「TP」を選局しているときのみ)

テープからのダビング時に、ノイズを減らして高画質で記録します。

- 自動(標準) : テープからの入力かどうかを自動判別して映像処理を行うとき
- 入 : テープ以外も含む外部入力に対して常に映像処理を行うとき
- 切 : 映像処理を行わず、入力信号のまま記録するとき

音声効果を設定する(音声)

サラウンド(アドバンスドサラウンド)

RAM -R -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR)

(ドルビーデジタル2チャンネル以上の音声のみ)

フロントスピーカー(L/R)だけで音の臨場感を出します。

- 音声が届く場合、「切」にしてください。(接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください)
- 本機で録音した二重音声には動きません。

シネマボイス RAM -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR)

(ドルビーデジタルでセンターチャンネルを含むディスクのみ)

セリフを聞き取りやすくします。

設定画面の表示位置を変更する(その他)

表示位置

- 1(標準位置)~5: 設定値が大きいほど、画面が下に移動します。

〈音声属性〉

LPCM/PPCM/DD Digital/DTS/MPEG: 信号タイプ
ch:チャンネル数 k:サンプリング周波数(kHz) b:ビット数(bit)

〈言語〉

日:日本語 英:英語 仏:フランス語 独:ドイツ語
伊:イタリア語 西:スペイン語 蘭:オランダ語 中:中国語
露:ロシア語 韓:韓国語 *:その他

ディスクに録画する



録画するディスクについて

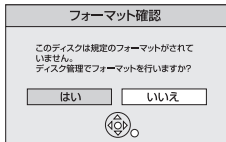
本機ではいろいろなディスクに録画することができます。目的に合ったディスクに、録画してください。(詳しくは→4)

●ディスクに残量があるかぎり自動的に未記録の部分に録画を行いますので、ビデオカセットのように未記録部分を探す必要がありません。上書きは行いませんので不要な番組がある場合は消去(→43)してください。

- **RAM** 番組を消去すると、消去した番組分ディスク残量が増えます。
- **-RW(V)** 最後に録画した番組を消去したときのみ、残量が増えます。
- **RAM -RW(V) -RW(VR)** フォーマット(→47)すると、1枚のディスクを一度に未記録状態にすることができます。
- **-R +R** 消去しても残量は増えません。

フォーマット確認画面が表示されたとき

新品のDVD-RW、パソコンや他の機器などで記録したDVD-RAM、またはDVD-RW(DVD-Video方式)を本体に入れたときなどに表示されます。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし記録していた内容はすべて消去されます。



- [◀]で「はい」を選び、[決定]を押す
- 引き続き操作が必要です。(→47“ディスクを初期化する”)

録画の画質と時間について(録画モード)

ディスク 録画モード	DVD-RAM		DVD-R/ DVD-RW/+R
	片面 (4.7 GB)	両面*1 (9.4 GB)	DVD-RW/+R (4.7 GB)
XP(高画質)	約 1	約 2	約 1
SP(標準)	約 2	約 4	約 2
LP(長時間)	約 4	約 8	約 4
EP(長時間)	約 8 (約6*2)	約 16(約12*2)	約 8 (約6*2)
FR(自動調整)	最大 8	最大 16	最大 8

単位:時間

(数値はめやすです。録画する内容によっては、変化することがあります)

- ※1 両面の連続再生・録画はできません。
- ※2 初期設定の「EP時の記録時間」(→50)で設定できます。
 - EP時の音質は6時間の方が高音質です。
 - **RAM** EP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6H)モードで録画してください。

FR(フレキシブルレコーディング):

ディスクの残量に合わせて、XP~EP(8H)の間で画質を自動調整します。

- ダビングや予約録画時にのみ設定できます。
- 本体表示窓で、XP~EPがすべて表示されます。(→右図)
- ディスクの残量によっては、予約した番組を最後まで録画できない場合があります。



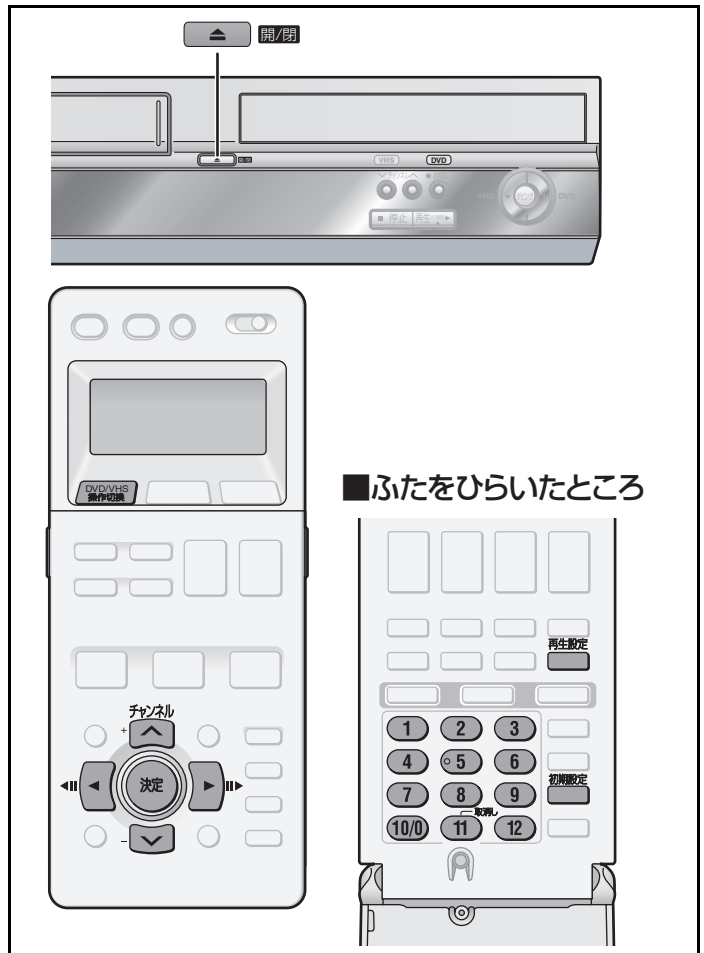
録画する前に

- デジタル放送を録画するとき CPRM対応のDVD-RAMを使用してください。DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rには録画できません。(詳しくは→6)
- 海外ドラマなどの二重放送を録画するとき **-R -RW(V) +R** 主、副音声のどちらか一方しか記録されません。(詳しくは→10) 録画前にどちらの音声を記録するか選んでください。

- 1 停止中に、[初期設定]を押す
- 2 [^][v]で「音声」を選び、[▶]を押す
- 3 [^][v]で「二重放送音声記録」を選び、[決定]を押す
- 4 [^][v]で「主音声」または「副音声」を選び、[決定]を押す
 - 選んだ方の音声記録されます。

録画したあとは

-R -RW(V) +R 他の機器で再生するには、録画後にファイナライズ(→47,79)が必要です。



ふたをひらいたところ

1枚のディスクに録画できる番組(タイトル)数

- RAM -R +RW(V)**: 最大99番組(タイトル)
- +R**: 最大49番組(タイトル)

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/MHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)
 - 本機の時刻が正しいことを確かめる。

見ている番組を録画する

- 1 ディスクを入れる
 本体の [開/閉] を押す
 - 電源が切れていても取り出せます。
 - もう一度押すと、トレイが閉まります。

◆カートリッジ付きディスク

ラベル面(両面ディスクでは、録画したい側のラベル面)を上につめを合わせる

矢印を奥に

◆フォーマット確認画面が表示されたとき(→左記)
- 2 録画したいチャンネルを選ぶ
 チャンネル [↑] または [↓] を押す
 1 ~ 12 を押す
 本体表示窓
 例) DVD-RAM SP CH 4 R2:00
 例)DVD-RAM

- [1]~[12]は、市外局番チャンネル設定一覧表(→82)に記載されているチャンネルポジション1~12の放送局を選ぶことができます。(市外局番チャンネル設定だけで受信チャンネルを設定した方のみ)

ディスクに録画する(つづき)

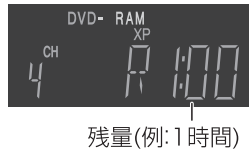
3 録画モードを選ぶ

録画モード
[B] を数回押す

- 押すごとに以下のように録画モードが変わります。(詳しくは→33)

XP(高画質) → SP → LP → EP

本体表示窓



残量(例:1時間)

4 録画を始める

録画 [録画] を押す



■一時停止する→[一時停止||]を押す

- もう一度押すと録画を続けます。[録画●]を押しても再開できません。[番組(タイトル)は分割されません]

■停止する→[停止■]を押す

- 録画開始した位置から停止した位置までを1番組(タイトル)として記録します。
- [R] [RW(V)] [R] 録画停止には約30秒かかります。

■録画中にVHSを再生・録画する

→ [DVD/VHS操作切換]を押してVHS側に切り換え、VHS側の各種操作を行う

■録画中にテレビで別番組を見る

→ 1 [テレビ入力]を数回押して、テレビが受信しているチャンネルに切り換える

2 テレビ[へチャンネル]を数回押して、見たいチャンネルを選ぶ

- 録画に影響はありません。
- 予約録画中もこの手順でテレビ番組を見ることができます。

お知らせ

- 両面ディスクは、両面にまたがって録画することはできません。いったんディスクを取り出し、裏返してください。
- 8 cm DVD-RAMや8 cm DVD-Rの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクを入れてください。
- 録画中にチャンネルや録画モードを変えることはできません。[一時停止]中は変更することができますが、別番組(タイトル)として録画されます]
- [R] [RW(V)] [R] 他の機器で再生するには、録画後にファイナライズ(→47,79)が必要です。

録画の終了時刻を指定する(終了時刻予約録画)

[RAM] [R] [RW(V)] [R]

指定した時刻になると、自動的に録画をやめます。

録画中に、本体DVD側の [録画] を押す

押すごとに30分単位で録画終了時刻が変わります。
OFF → 30分後 → 60分後 → 90分後 → 120分後

- 本体表示窓は下図のように変わります。

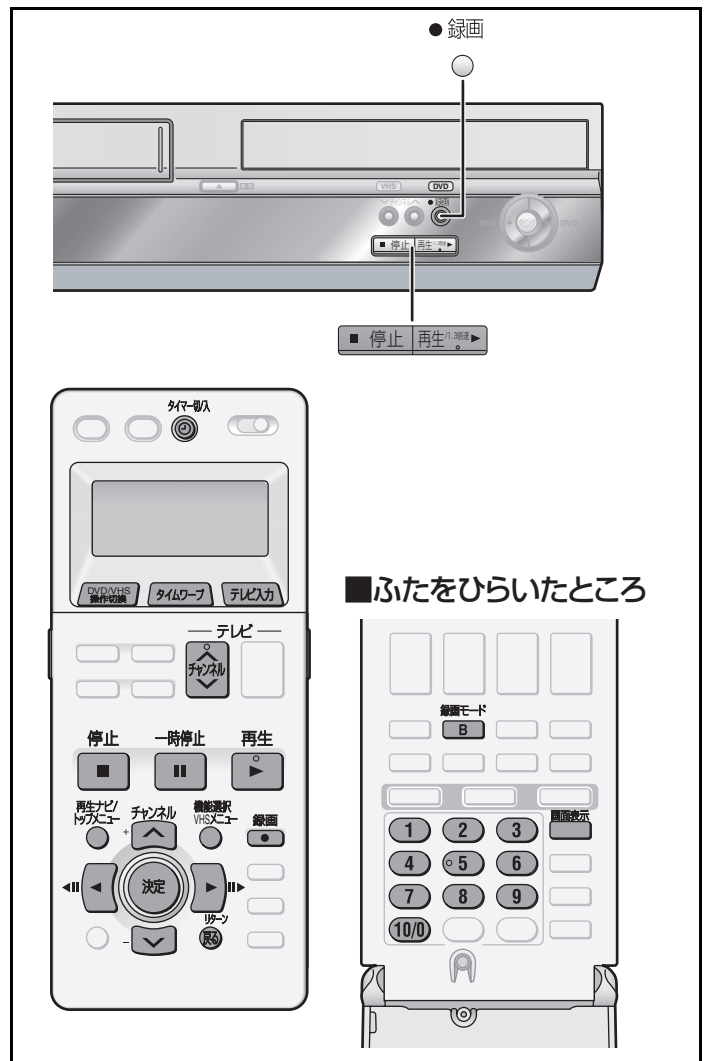


- リモコンの[録画●]では働きません。
- ぴったり録画時(→右記)や予約録画中(→36~40)は働きません。
- 録画の一時停止中にチャンネルや録画モードを変更した場合、録画終了時刻の設定は解除されます。
- 録画終了時には、自動的に電源は切れません。

■解除する

→ 本体の[●録画]を数回押し、録画終了時刻を"--:--:--"にする
● 終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。

■録画をやめる→[停止■]を押す



ディスクの残量に合わせて録画する(ぴったり録画)

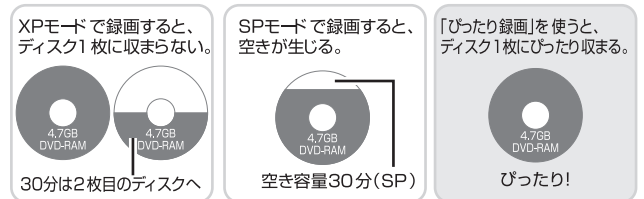
[RAM] [R] [RW(V)] [R]

設定した時間に合わせて自動的に最適な画質(録画モード→33)で録画できます。

■こんなとき「ぴったり録画」を使うと便利です。

ディスク1枚にぴったり収めたいときや残量が気になるディスクに録画したいとき

例)1時間30分の番組を4.7GBのDVD-RAMに録画する



準備 ●テレビに本機の画面を出す。(→21)

● [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)

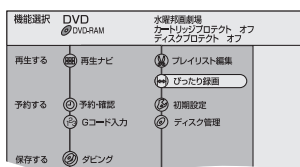
- 録画したいチャンネルを選ぶ。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 録画可能なディスクを入れる。(→4)

1 停止中に、 [機能選択 VHSX] を押す

- 機能選択画面が表示されます。

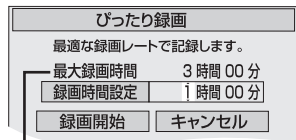
2 [決定] を押す

3 上下で「ぴったり録画」を選び、決定を押す



例) DVD-RAM

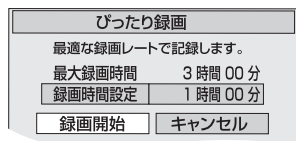
4 左右で「時間」または「分」を選び、上下で録画したい時間を設定する



最大録画時間
EP(8H)モードで録画した場合の時間です。

- [1]~[10/0]も使えます。
- 8時間を超えて設定することはできません。

5 左右で「録画時間設定」に戻り、上下で「録画開始」を選んで、決定を押す



- 録画が始まります。
- 本体表示窓の録画モードがすべて点灯します。



■ ぴったり録画の画面を消す

→ [リターン/戻る]を押す

■ 録画をやめる

→ [停止■]を押す

■ 残り時間を確認する

→ [画面表示]を押す

- 残りの録画時間を表示します。



録画しながら再生する

RAM

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)

録画中の番組を頭から見る(追っかけ再生)

録画を続けながら、番組の先頭から再生します。

録画中に、再生を押す

- 早送り(早戻し)中、音声は出ません。

■ 再生をやめる

→ [停止■]を押す

■ 録画をやめる

→ 再生停止後、約2秒以上待つて[停止■]を押す

■ 予約録画をやめる

→ [タイマー切/入⌚]を押す

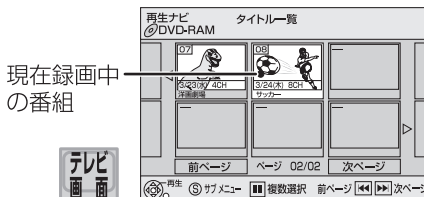
- 本体DVD側の[■停止]を約3秒以上押ししても止まりません。
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[タイマー切/入⌚]を押すと予約録画が再開されます。

録画中に他の番組を見る(同時録画再生)

録画を続けながら、すでに録画してある別番組を再生します。

1 録画中に、再生ナビ/トップメニューを押す

- タイトル一覧(→27)が表示されます。



2 上下で再生したい番組(タイトル)を選び、決定を押す

■ タイトル一覧を消す

→ [再生ナビ/トップメニュー]を押す

■ 再生をやめる

→ [停止■]を押す

■ 録画をやめる

→ 1 再生停止後、[再生ナビ/トップメニュー]を押す
2 [停止■]を押す

■ 予約録画をやめる

→ [タイマー切/入⌚]を押す

- 本体DVD側の[■停止]を約3秒以上押ししても止まりません。
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[タイマー切/入⌚]を押すと予約録画が再開されます。

録画中の番組を戻して見る(タイムワープ)

録画を続けながら、録画中の番組や録画済みの番組で、見たい場面を時間を指定して、2画面で見ることができます。

1 録画中に、タイムワープを押す



- 30秒前に戻って再生を始めます。
- 子画面に録画中の映像が表示されます。
- 再生画面の音声が出ます。

2 飛び越し時間が表示中に、上下で飛び越し時間を設定し、決定を押す

- [へ][ヴ]を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)送り[へ]、戻し[ヴ]します。

■ 子画面を消す

→ [再生▶]を押す

■ 再生をやめる

→ [停止■]を押す

■ 録画をやめる

→ 再生停止後、約2秒以上待つて[停止■]を押す

■ 予約録画をやめる

→ [タイマー切/入⌚]を押す

- 本体DVD側の[■停止]を約3秒以上押ししても止まりません。
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[タイマー切/入⌚]を押すと予約録画が再開されます。

ディスクに予約録画する

●1カ月以内の番組を16番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)
VHS側の予約数には影響しません。

●本機の予約録画には以下の2通りの方法があります。お好みの方法で予約設定をしてください。

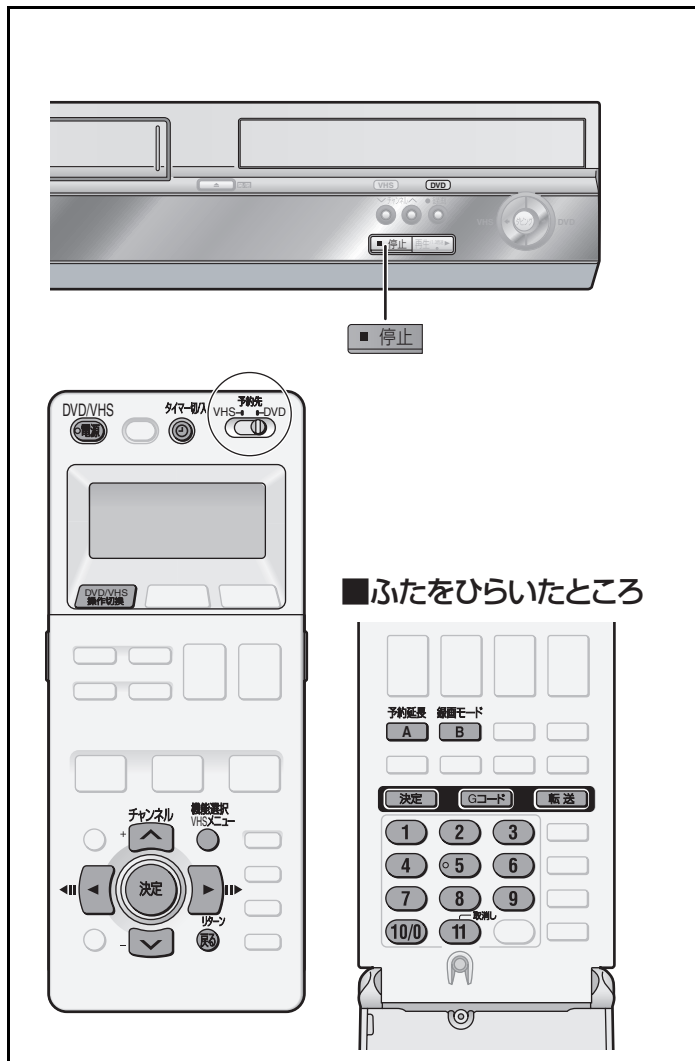
- ・Gコード®を使って予約録画(→下記)
- ・Gコード®を使わずに予約録画(フリーセット予約)(→38)

録画する前に

●デジタル放送を録画するとき

CPRM対応のDVD-RAMを使用してください。DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rには録画できません。(詳しくは→6)

●海外ドラマなどの二重放送を録画するとき **-R** **-RW(V)** **+R**
主、副音声のどちらか一方しか記録されません。(詳しくは→10)
録画前にどちらの音声を記録するか選んでください。(→33)



ふたをひらいたところ

Gコード®を使って予約録画する

RAM **-R** **-RW(V)** **+R**

Gコード®とは

テレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。(最大8けた)

00	夜のワイドショー	
	▽私の結婚観 岩槻真希子	
	▽あの有名選手に迫る	
	吉村美紀 南野み	78864
55	N(因)	20668

■予約を正しく行うために

●ガイドチャンネルを正しく設定してください。複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。(→23,24)

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - 本機の時刻が正しいことを確かめる。
 - 録画可能なディスクを入れる。(→4)

リモコン表示窓を使って予約する

予約したい番組のGコード®をリモコンに入力し、本機に転送するだけで予約できます。

1 リモコンの予約先VHS/DVDスイッチを [DVD] にする(→14)

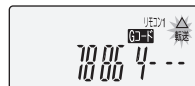
2 [Gコード] を押す



3 Gコード®を入力する

① ~ ⑩/0 を押す

●間違えて押したときは、[Gコード] を2回押し、入力し直してください。



◆録画モードを選ぶ

→ [録画モード/B] を数回押す

●押すごとに以下のように録画モードが変わります。

XP(高画質) → SP → LP → EP → XP SP LP EP(FR)



●録画モードについて(→33, 右ページ)

◆野球放送などの延長に備えて、録画終了時刻を延長しておく(予約延長)

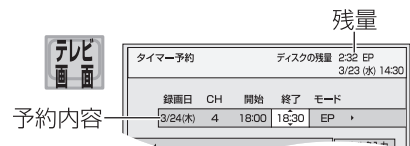
→ [予約延長/A] を数回押す

●押すごとに延長される時間が変わります。(最大2時間先まで)
15分 → 30分 → 45分 → 60分
→ 90分 → 120分 → 延長しない



4 予約内容を転送する

[転送] を押す



◆予約する番組(タイトル)の「タイトル名入力」をする
→ [◀][▶] で「タイトル名入力」を選び、[決定] を押す(→48)

◆「CH」の項目が「G—」になっているとき
ガイドチャンネルが正しく設定されていません。

→ 1 「CH」が選ばれている状態で、[へ][v] で予約したいチャンネルに合わせる

2 [決定] を押す

●予約が完了し、ガイドチャンネルも設定されます。(→24)

予約録画の待機状態になります(本体表示窓のDVD側の「⊙」が点灯)が、自動的に電源が切れない場合があります。

●予約録画待機中でも、DVDの再生(**RAM**)、およびVHSの再生・録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。

●予約内容の表示中に、[決定] を押しても予約録画の待機状態になります。

5 DVDの再生(**RAM**)、およびVHSの再生・録画をしないときは、電源を切る

[電源] を押す

●電源の切/入に関わらず予約録画は実行されます。
●電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできません)

■ 続けて予約を追加する

→ 手順2~4を繰り返す(予約待機状態でも予約できます)

■ 転送直後に予約内容を修正する

● テレビ画面に予約内容が表示されている間(約14秒間)は、予約内容を修正できます。

[◀][▶]で修正したい項目を選び、[↵][✓]で設定内容を修正してください。

■ 予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたとき

● Gコード予約は、番組開始・終了の予定時刻で予約するため、このようなときは番組の最初から最後までを録画することはできません。ただし、前もって終了時刻を延長しておくことができます。(→左ページ)

■ 録画モードについて

● 選ばなくても予約できますが、本体表示窓に現在、表示されている録画モードで予約されます。録画モードを変えたいときは、リモコンで選んでください。(ただし本体表示窓に“XP”が表示されているときは、残量不足による録画の失敗を防ぐために、“FR”(→33)で設定されます。“XP”で録画する場合は、リモコンで選び直す必要があります)

機能選択画面を使って予約する

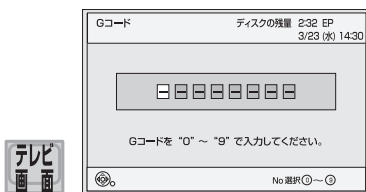
機能選択画面からもGコード予約することができます。

1 を押して、DVD側に切り換える(→14)

2 停止中に、 を押す

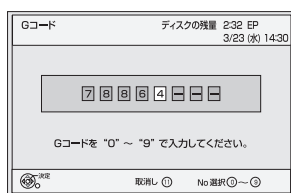
● 機能選択画面が表示されます。

3 で「Gコード入力」を選び、 を押す



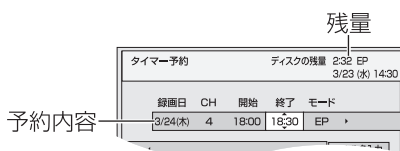
4 Gコード[®]を入力する
① ~ **⑩/0** を押す

● Gコード[®]を間違えたときは、[◀]または[取消し/11]を押して、再度入力してください。



5 を押す

● 予約内容が表示されます。



◆ 予約内容を変更する

→ 「テレビ画面を見ながら予約する」手順4(→39)

◆ 録画モードを変更する

→ [◀][▶]で「モード」を選び、[↵][✓]で設定する

● 録画モードについて(→33)

● あらかじめ録画モードを“XP”に設定していても、残量不足による録画の失敗を防ぐために、“FR”(→33)で設定されます。“XP”で録画する場合は、録画モードを選び直してください。

● [録画モード/B]を数回押しても選べます。

◆ 予約する番組(タイトル)の「タイトル名入力」をする

→ [◀][▶]で「タイトル名入力」を選び、[決定]を押す(→48)

◆ 「CH」の項目が“G—”になっているとき

ガイドチャンネルが正しく設定されていません。

→ **1** “CH”が選ばれている状態で、[↵][✓]で予約したいチャンネルに合わせる

2 [決定]を押す

● 予約が完了し、ガイドチャンネルも設定されます。(→24)

6 を押す

● 予約内容一覧画面が表示されます。

● 確認欄に、「可」が表示されていることを確認してください。

No	録画日	CH	開始	終了	モード	確認
01	3/24(木)	4	18:00	18:30	EP	可

7 を押す

予約録画の待機状態になります(本体表示窓のDVD側のが点灯)が、自動的に電源が切れない場合があります。

● 予約録画待機中でも、DVDの再生()、およびVHSの再生・録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。

8 DVDの再生()、およびVHSの再生・録画をしないときは、電源を切る

を押す

● 電源の切/入に関わらず予約録画は実行されます。

● 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできません)

■ 続けて予約を追加する

→ 手順2~6を繰り返す(予約待機状態でも予約できます)

■ 画面を消す

→ [リターン/戻る]を数回押す

■ 予約録画を途中でやめる

→ [タイマー切/入]を押す

● 本体DVD側のを約3秒以上押しでも止まります。

● 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[タイマー切/入]を押すと予約録画が再開されます。

■ アナログBS放送の番組をGコード予約するとき

● BSチューナー内蔵テレビが必要です。(→41)

■ 予約内容を確認する、取り消す、修正する(→39)

お知らせ

● 予約設定画面には、ディスクの残量も表示されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。

● テレビ画面に“予約内容にミスがあります。”と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。

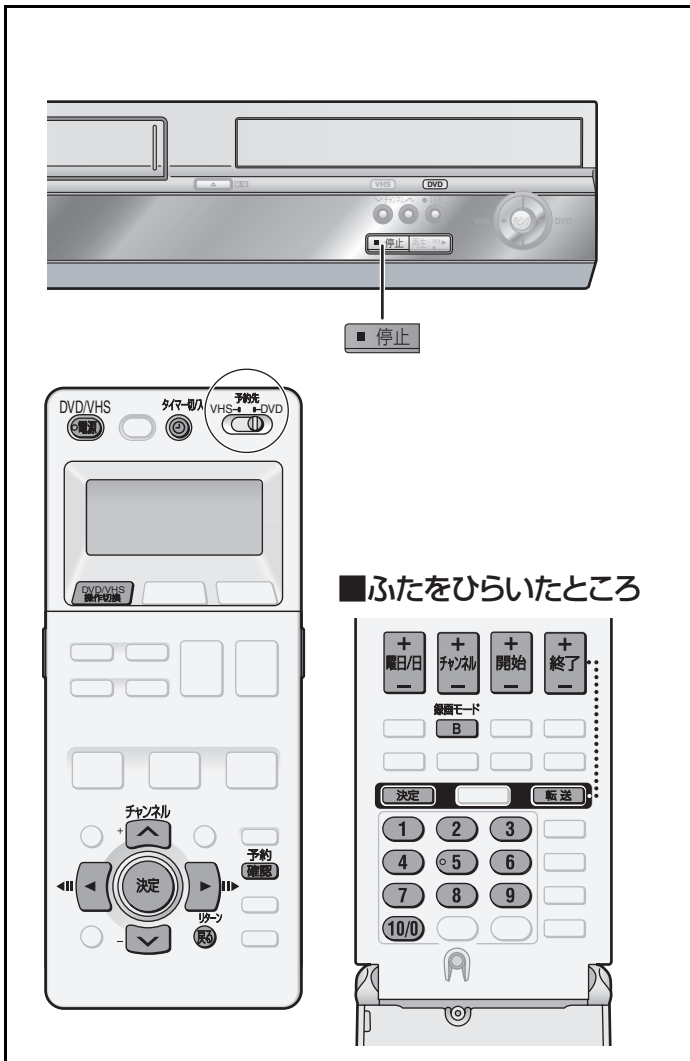
● Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。

● 本体表示窓に“PROG FULL”と表示されたときは、すでに16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。(→39)

● 録画する番組が連続する場合は、次の番組の始まりがDVD-RAMでは数秒間、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rでは約30秒間録画されません。

● 予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。遅い番組の重複している部分は録画されません。

ディスクに予約録画する(つづき)



■ふたをひらいたところ



Gコード®を使わずに予約録画する(フリーセット予約)

RAM -R -RW(V) +R

予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - 本機の時刻が正しいことを確かめる。
 - 録画可能なディスクを入れる。(→4)

リモコン表示窓を使って予約する

リモコンに予約内容を入力し、本機に転送するだけで予約できます。

1 リモコンの予約先VHS/DVDスイッチを [DVD] にする(→14)

2 予約する

曜日/日 チャンネル 開始 終了 を押す(→右記)



◆録画モードを選ぶ

→ [録画モード/B] を数回押す

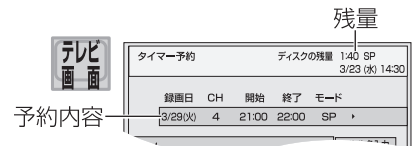
- 押すごとに以下のように録画モードが変わります。

XP(高画質) → SP → LP → EP → XP SP LP EP (FR)

- 録画モードについて(→33,37)

3 予約内容を転送する

[転送] を押す



- ◆予約する番組(タイトル)の「タイトル名入力」をする
- [◀][▶]で「タイトル名入力」を選び、[決定]を押す(→48)

予約録画の待機状態になります(本体表示窓のDVD側の「⌚」が点灯)が、自動的に電源が切れない場合があります。

- 予約録画待機中でも、DVDの再生(RAM), およびVHSの再生・録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。
- 予約内容の表示中に、[決定]を押しても予約録画の待機状態になります。

4 DVDの再生(RAM), およびVHSの再生・録画をしないときは、電源を切る

DVD/VHS [電源] を押す

- 電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。
- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできません)

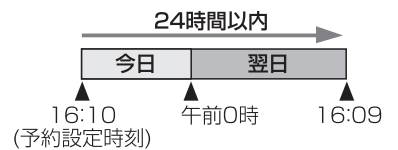
■①予約日(曜日/日)の変わりかた

[+]側を押すごとに、

→今日の予約

(今の時刻から、24時間以内に始まる番組を予約)

現在時刻が16時10分
ならば、翌日の16時
09分までが「今日」に
なります。



→1週間以内 → 1カ月以内 → 毎日 → 毎週と変わります。

([-]側を押すと逆方向)

- 毎日・毎週予約をしたときは、予約録画終了後も予約内容は消去されません。

■②予約チャンネルの変わりかた

[+]側を押すごとに、

→VHF/UHF → BS → CATV(工場出荷時は飛ばされています) → 外部入力

と変わります。([-]側を押すと逆方向)

- 押し続けると、10ずつ変わります。
- 必ず本体表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネルで合わせてください。それ以外のチャンネルは予約できません。

■③開始時刻・④終了時刻の変わりかた

- 押し続けると、30分単位で変わります。
- 時刻は24時間表示です。

■続けて予約を追加する

→手順2~3を繰り返す(予約待機状態でも予約できます)

■すぐに予約録画を始めたいとき

→②予約チャンネルと④終了時刻だけ合わせて[転送]を押すと、終了時刻までの予約録画を始めます。

■転送直後に予約内容を修正する

- テレビ画面に予約内容が表示されている間(約14秒間)は、予約内容を修正できます。

[◀][▶]で修正したい項目を選び、[^][v]で設定内容を修正してください。

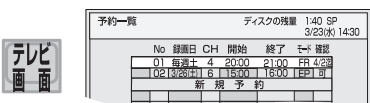
テレビ画面を見ながら予約する

予約一覧画面(→右記)からも予約することができます。

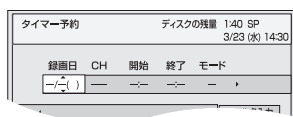
1 **DVD/VHS** を押して、DVD側に切り換える(→14)

2 **予約確認** を押す

●予約一覧画面が表示されます。



3 **新規予約** を選び、**決定** を押す



4 予約内容を設定する
左 **右** で項目を選び、
上 **下** で設定する

●時刻は、[**上**][**下**]を押し続けると30分単位で変わります。

●録画日・CH・時刻は[1]~[10/0]でも選べます。録画モードは、[録画モード/B]でも選べます。

◆録画日を設定する
 [**上**][**下**]を押すごとに、



◆予約する番組(タイトル)の「タイトル名入力」をする
 → [**左**][**右**]で「タイトル名入力」を選び、[決定]を押す(→48)

5 **決定** を押す

6 **タイマー** を押す

予約録画の待機状態になります(本体表示窓のDVD側の「**録**」が点灯)が、自動的に電源が切れない場合があります。
 ●予約録画待機中でも、DVDの再生(**RAM**)、およびVHSの再生・録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。

7 DVDの再生(**RAM**)、およびVHSの再生・録画をしないときは、電源を切る

DVD/VHS を押す

●電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。
 ●電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできません)

■続けて予約を追加する

→手順2~5を繰り返す(予約待機状態でも予約できます)

■画面を消す → [リターン/戻る]を数回押す

予約録画を途中でやめる

→ [タイマー切/入]を押す

- 本体DVD側の[■停止]を約3秒以上押しでも止まります。
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[タイマー切/入]を押すと予約録画が再開されます。

予約内容を確認する、取り消す、修正する(→下記)

お知らせ

- 予約設定画面には、ディスクの残量も表示されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。
- 本体表示窓に“PROG FULL”と表示されたときは、すでに16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。(→下記)
- 録画する番組が連続する場合は、次の番組の始まりがDVD-RAMでは数秒間、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rでは約30秒間録画されません。
- 予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。遅い番組の重複している部分は録画されません。

予約内容を確認する・取り消す・修正する

RAM **-R** **+RW(V)** **+R**

予約済みの内容をテレビ画面で確認・取り消し・修正することができます。

また、本体表示窓で予約内容を確認することができます。(本体の電源が「切」のときでも操作できます)

準備

- テレビ画面で確認・取り消し・修正するときは、テレビに本機の画面を出す。(→21)
- [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)

1 **予約確認** を押す

●予約一覧画面が表示されます。

録画できなかった番組

- F** 残量不足
- W** コピーガード検出
録画禁止の信号が記録されたため
- X** ディスクの汚れ
などで録画失敗
- 録画中
- W** 日時が他の予約と重複している番組

何らかの理由で録画ができない場合、この欄には何も表示されません。必ず、以下のいずれかの表示を確認してください。

可 :現在の残量で、録画が可能な番組
 月/日迄:毎週毎日予約で、録画可能な予約の最終日
 ●録画中は内容が正しく表示されないことがあります。

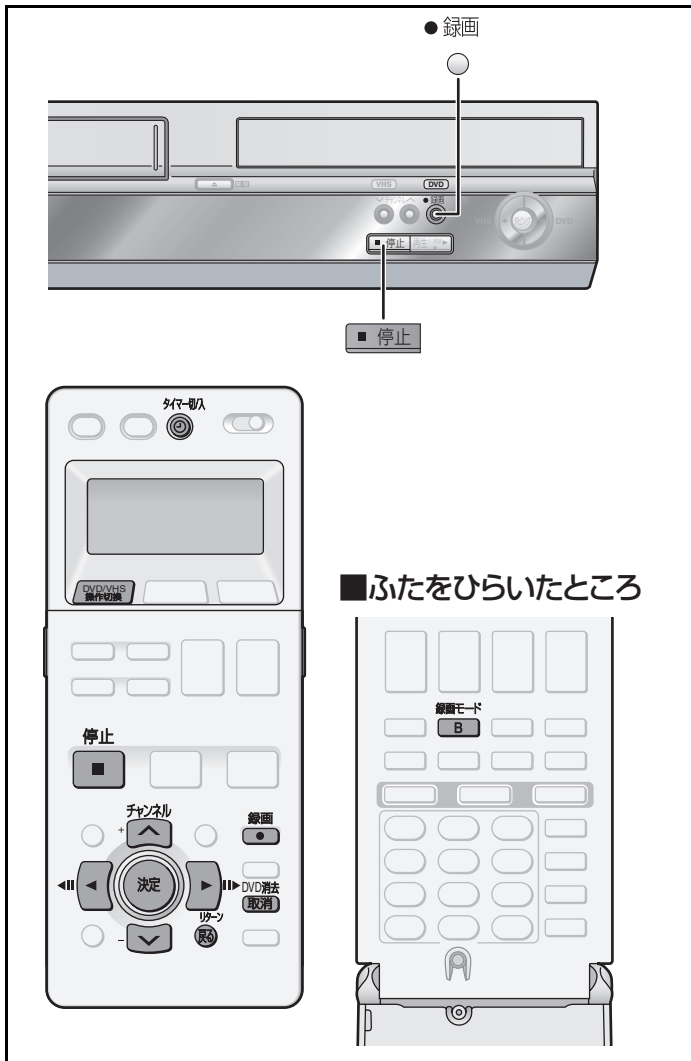


●実行できなかった予約は灰色で表示され、翌々日の午前4時には自動的に消去されます。

●予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。実行後、次の予約で重複していない部分がある場合、別の番組として録画されます。

(つづく → 次ページ)

ディスクに予約録画する(つづき)



1 [◀][▶]で修正したい項目を選び、[↵][✓]で予約内容を修正する

- 予約録画中の番組は、録画モードが“FR”以外なら予約終了時刻の変更ができます。

2 [決定]を押す

■予約一覧画面を消す → [リターン/戻る]を数回押す
(約1分そのままにしたときは、[リターン/戻る]を押さなくても消えます)

予約を解除する

準備 ●[DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)

予約待機中に、 を押す



- 本体表示窓の“Ⓢ”が消え、電源が入ったときの状態になります。
- もう一度押すと予約録画の待機状態に戻ります。

お知らせ

- 予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
- 本体DVD側の[■停止]を約3秒以上押しても、予約録画の待機状態を解除することができます。

予約内容を確認する・取り消す・修正する(つづき)

2 取り消し/修正したい予約内容を選ぶ

で選ぶ

予約一覧		ディスクの残量 1:40 SP		
No	録画日	CH	開始 終了	モード
01	毎週土	4	20:00 21:00	FR K23
02	3/26(日)	6	15:00 16:00	EP 予約

- 本体表示窓にも予約一覧画面で選ばれている予約内容が表示されます。



3 ◆取り消すとき

DVD消去 を押す

予約一覧		ディスクの残量 1:40 SP		
No	録画日	CH	開始 終了	モード
01	毎週土	4	20:00 21:00	FR K23
02	--/--/--	--	-- --	--

◆修正するとき

を押す

タイマー予約		ディスクの残量 1:40 SP		
録画日	CH	開始	終了	モード
3/27(日)	4	21:00	22:00	SP

BS放送などをディスクに録画する

本機はBS放送に対応していません。録画するには、BSチューナー内蔵テレビなどと接続してください。

- BSチューナー内蔵テレビ(→16)
- 地上デジタル・BS・CSデジタルチューナー(→17)
- CATVホームターミナル(→20)

録画する前に

- デジタル放送を録画するとき
CPRM対応のDVD-RAMを使用してください。DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rには録画できません。(詳しくは→6)
- 海外ドラマなどの二重放送を録画するとき(→右記)

BSチューナー内蔵テレビなどから録画する

RAM -R -RW(V) +R


- 準備**
- 本体の外部入力(L1またはL2)にBSチューナー内蔵機器などを接続する。(→16,17)
 - テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)
 - 本機の時刻が正しいことを確かめる。
 - 録画可能なディスクを入れる。(→4)

1 BSチューナー内蔵機器などを接続した外部入力チャンネルを選ぶ

チャンネル  または  を押す


- L1: 外部入力1端子(後面)に接続したとき
- L2: 外部入力2端子(前面)に接続したとき

2 録画モード(→33)を選ぶ

録画モード  を数回押す

3 テレビ側またはチューナー側で、録画したいチャンネルを選ぶ

4 録画を始める

 を押す

録画をやめる

→ [停止 ■] を押す

ディスクの残量に合わせて録画する

→ ぴったり録画(→34)

お知らせ

- テレビのモニター出力(→16)から録画する場合は、録画が終わるまでテレビの電源を切らないでください。
- デジタルハイビジョン画質での録画はできません。
- 地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル放送などには、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されているものがあります。コピー禁止処理されている信号を本機に入力しても、正しく録画できません。また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像が乱れたり、明るさが急に変わったり、色合いが悪くなったりします。

アナログBS放送の番組をGコード予約する

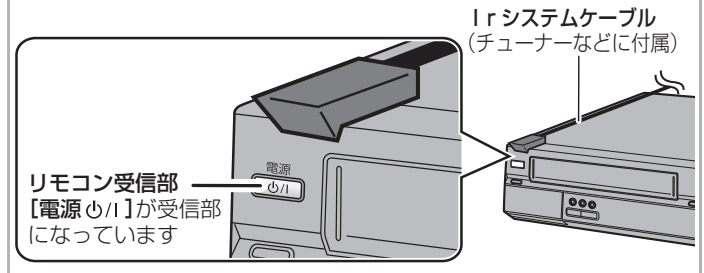
●本機の外部入力(L1またはL2)端子とBSチューナー内蔵テレビのモニター出力端子を接続している場合は、アナログBS放送のみ、Gコード予約でBS番組を録画することができます。

BS番組をGコード予約すると、テレビ画面に表示された予約設定画面で、「CH」の項目が「G—」になります。[▲][▼]でBSチューナー内蔵テレビを接続した外部入力チャンネル「L1」または「L2」を選んでください。

Irシステムを使って録画する

本機は、当社製チューナー、またはチューナー内蔵テレビのIrシステム(→79)に対応しています。チューナーなどから予約録画の信号を、本機のリモコン受信部に送ることで、連動録画ができます。

Irシステムケーブルの設置例



お知らせ

- チューナーなどのIrシステムがDVDレコーダーに対応していることをご確認ください。
- Irシステムの設置・設定・操作はチューナーなどの説明書をご覧ください。
- 予約待機中は、Ir予約は受け付けません。
- チューナーなどから予約録画の信号を受けたときに、本機がVHS側の操作モードになっていた場合は、VHS側へ録画されてしまうことがあります。DVD側に録画したい場合は、本機をDVD側の操作モードに切り換えておいてください。(→14)

二重放送の番組を録画するときは、録画前に音声の設定が必要です

- **RAM** : 主音声と副音声を同時に記録します。本機で再生したとき音声を正しく切り換えられるように、接続する機器側で、主音声と副音声を同時に出力する設定にしてください。
- **-R -RW(V) +R** : 主音声と副音声どちらか一方のみしか記録できません。(詳しくは→10) 接続する機器側で、主音声または副音声のどちらか一方のみを出力する設定にしてください。両方の音声を出力させても再生時に音声を選ぶことはできません。

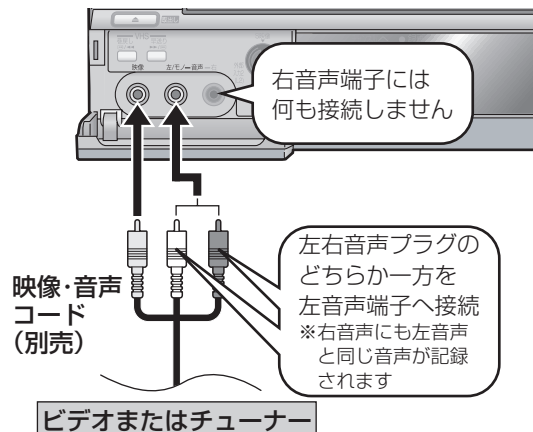
接続した機器で音声の設定ができない場合
DVD-RAMを使用するか、接続の変更が必要です。(→下記)

お知らせ

- 誤動作防止のため、録画後は接続した機器の設定を元に戻しておくことをおすすめします。

接続した機器で音声の設定ができない場合

録画前に、ビデオや各種チューナーからの映像・音声プラグを本機前面のL2端子に接続し直す。



- 左右の音声プラグからそれぞれ主または副音声が出力されます。接続後、両方のスピーカーから記録したい音声が出力するか確認してください。
- L2端子以外の端子で上記接続を行うと、再生時、片方のスピーカーからしか音声が出力されません。

録画した番組(タイトル)を編集する

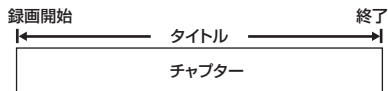
録画した番組(タイトル)の不要部分を消去したり、タイトル名を付けたりすることができます。

VHS側でカセットに録画された番組は表示されません。

- ディスクの内容を直接編集します。消去などを行った場合には、元に戻すことはできません。お気を付けてください。
- 録画中(→33~41)やダビング中(→65~72)などは編集できません。

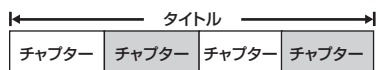
■タイトル/チャプターについて

番組を録画すると、1つのチャプターからなるタイトルとして記録されます。



RAM

好みの位置で複数のチャプターに区切ることができます。(→29,42~43)



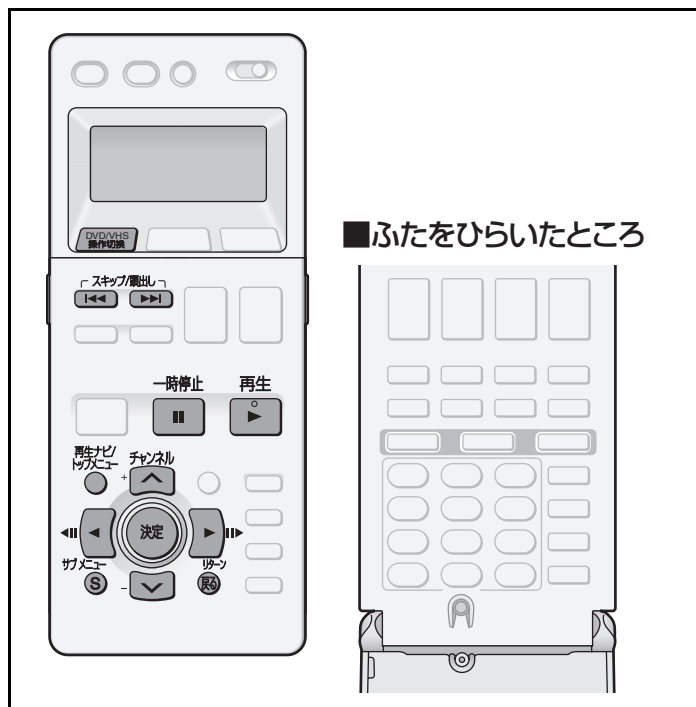
最大記録数

タイトル : RAM -R -RW(V) 99
+R 49

チャプター : RAM -R -RW(V) 約1000
+R 約254
(記録状態によって変化します)

お知らせ

- 二重放送の番組のCM部分など、自動的に複数のチャプターが作成される場合があります。
- R -RW(V) +R ファイナライズ(→47,79)すると自動的に約5分ごとのチャプターが作成されます。



■ふたをひらいたところ

準備

- テレビに本機の画面を出す。(→21)
- [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)
- 録画済みのディスクを入れる。
- RAM ディスク(→46)やカートリッジ付きディスク(→47)の誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。

番組(タイトル)編集の基本操作

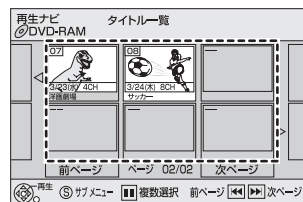
RAM -R -RW(V) +R -RW(VR)

1 再生中または停止中に、再生ナビ/サブメニューを押す

- タイトル一覧が表示されます。

2

編集する番組(タイトル)を選ぶ



◆前後のページを表示する

- [◀] (前ページ) または [▶] (次ページ) を押す
- [↖] [↘] [◀] [▶] で「前ページ」または「次ページ」を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

◆複数の番組(タイトル)をまとめて編集する

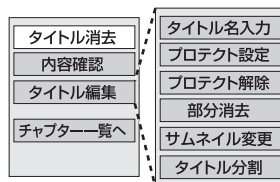
- [↖] [↘] [◀] [▶] で番組(タイトル)を選び、[一時停止]を押す操作を繰り返す(複数選択)
- [✓]が表示されます。もう一度[一時停止]を押すと解除されます。

3

サブメニューを押す

4

編集する項目を選び、決定を押す

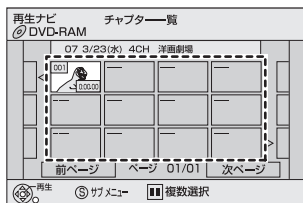


- 以下、それぞれの編集を行ってください。(→右ページ「番組(タイトル)を編集する」)
- 「タイトル編集」を選んだときは、さらに[↖] [↘]で項目を選び、[決定]を押します。
- ◆「チャプター一覧へ」を選んだ場合は(→下記手順5へ)

チャプター再生 RAM -R -RW(V) +R / 編集 RAM の基本操作

5

再生または編集するチャプターを選ぶ



◆前後のページを表示する

- 上記手順2
- ◆複数のチャプターをまとめて編集する
- 上記手順2

6

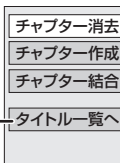
- ◆再生する→[決定]を押す
- ◆編集する→[サブメニュー]を押す(→手順7へ)

7

[サブメニュー]を押した場合のみ

編集する項目を選び、決定を押す

- 以下、それぞれの編集を行ってください。(→右ページ「チャプターを編集する」)
- 「チャプター一覧へ」に戻す



■前の画面に戻る→[リターン/戻る]を押す

■画面を消す→[再生ナビ/トップメニュー]を押す

編集中の便利な機能

- 早送りやスロー再生、タイムワープなど(→28)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
- スキップを使ってチャプターを飛び越すことで、番組(タイトル)の終わりにも飛ぶことができます。

番組(タイトル)を編集する

●左ページ手順1～4のあとに操作します。

番組(タイトル)を消す(タイトル消去)

RAM **-R** **-RW(V)** **+R**

5 ◀で「消去」を選び、決定を押す

- **-R** **+R** 消去しても残量は増えません。
- **-RW(V)** 最後の番組(タイトル)を消去するときのみディスク残量が増えます。

内容を確認する(内容確認)

RAM **-R** **-RW(V)** **+R** **-RW(VR)**

タイトル名、録画日、チャンネルなどが確認できます。

◆画面を消す→[決定]を押す

タイトル名を付ける(タイトル名入力)

RAM **-R** **-RW(V)** **+R**

文字入力(→48)

誤消去防止の設定/解除

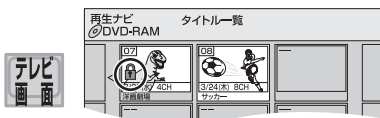
(プロテクト設定/プロテクト解除)

RAM

番組を誤って消去しないよう、番組(タイトル)ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定ができます。

5 ◀で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

- プロテクト設定すると🔒が表示されます。



番組(タイトル)などの不要な部分を消す(部分消去)

RAM

録画した番組(タイトル)のCM部分など消したい部分を指定して消去します。

5 消去する部分の開始点(イン点)で、決定を押す

- 編集中の便利な機能(→左ページ)



6 消去する部分の終了点(アウト点)で、決定を押す

7 ◻で「終了」を選び、決定を押す

- ◆続けて別の不要な部分を消去するとき →「次へ」を選んで[決定]を押す (手順8を行ったあと、手順5へ)

8 ◀で「消去」を選び、決定を押す

タイトル一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する(サムネイル変更)

RAM **-R** **-RW(V)** **+R**

5 再生を押す



6 表示させたい場面で、決定を押す

- 編集中の便利な機能(→左ページ)

7 「終了」が選ばれている状態で、決定を押す

1つの番組(タイトル)を2分割する(タイトル分割)

RAM

実行すると元に戻すことができません。分割をしてよいか確認してから行ってください。

5 分割する位置

で、決定を押す

- 編集中の便利な機能(→左ページ)

◆分割点を確認するとき

- [へ][∨]で「プレビュー」を選び、[決定]を押す
- 分割点の前後10秒間が再生されます。

◆分割点を選び直すとき

- 1 [へ][∨]で「分割」を選ぶ
- 2 [再生▶]を押して、再生を始める
- 3 分割する場面で、[決定]を押す



6 ◻◻で「終了」を選び、決定を押す

7 ◀で「分割」を選び、決定を押す

お知らせ

- 分割した点の前後で、映像や音声が一瞬途切れる場合があります。
- タイトル名や番組の録画制限(→6)などの情報は、分割した番組(タイトル)の両方に反映されます。

チャプターを編集する

RAM

●左ページ手順1～7のあとに操作します。

チャプターを消す(チャプター消去)

実行すると元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

8 ◀で「消去」を選び、決定を押す

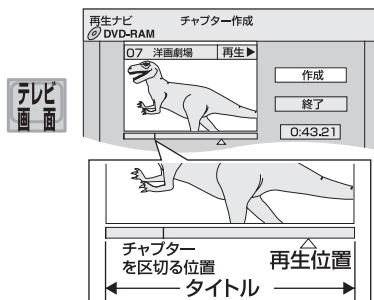
チャプターを作成する(チャプター作成)

映像を見ながら区切りたい部分を指定します。

8 チャプターを区切る位置で、

決定を押す

- 編集中の便利な機能(→左ページ)
- 繰り返して複数の位置を指定できます。



9 ◻◻で「終了」を選び、決定を押す

チャプターをつなぐ(チャプター結合)

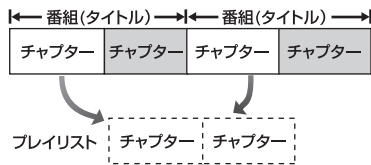
8 ◀で「結合」を選び、決定を押す

- 選択中のチャプターと次のチャプターが1つのチャプターになります。

プレイリストを操作する

■プレイリストについて

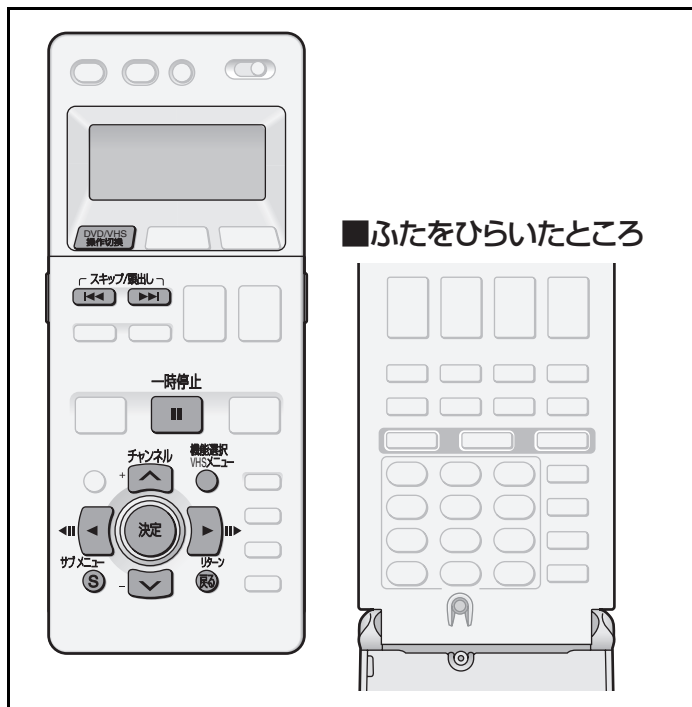
CHAPTER作成(→29,43)で作成した好みのCHAPTERを集めて、再生したい順に並べたものです。



- プレイリストは再生順を登録するだけなので、ディスク容量はほとんど使いません。
- プレイリストやプレイリストのCHAPTERは、消したり新たに作成しても元のタイトルやCHAPTERには影響しません。

最大記録数

- プレイリスト:99
- プレイリストのCHAPTER:約1000(記録状態によって変化します)
- 最大記録数を超える場合は、すべて登録されません。



■ふたをひらいたところ

プレイリストを作成する

RAM

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)
 - 録画済みのディスクを入れる。
 - ディスク(→46)やカートリッジ付きディスク(→47)の誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。

1 停止中に、機能選択 VHSメニュー を押す

- 機能選択画面が表示されます。

2 機能選択 DVD DVD-RAM 水曜映画劇場 カートリッジプロテクト オフ ティスグプロテクト オフ 再生する 再生ナビ プレイリスト編集 びったり録画 予約する 予約確認 Gコード入力 初期設定 ディスク管理 ダビング

テレビ画面

決定 を押す

3 「プレイリスト編集」が選ばれている状態で、決定 を押す



4 機能選択 DVD-RAM 07 3/23(水) 4CH 洋画劇場 編集元タイトル 001 002 003 001/001 編集先CHAPTER 001 002 003 001/001

決定 を押す



- はじめてプレイリストを作成するときには、そのまま[決定]を押してください。

◆前後のページを表示する

- [◀◀] (前ページ) または [▶▶] (次ページ) を押す
- [へ] [✓] [◀] [▶] で "前ページ" または "次ページ" を選び、[決定] を押しても、ページの切り換えができます。

5 機能選択 DVD-RAM 07 3/23(水) 4CH 洋画劇場 編集元タイトル 001 002 003 001/001 編集先CHAPTER 001 002 003 001/001

決定 を押す



◆タイトル内のCHAPTERをすべて選ぶ

- タイトルを選んだあと、[決定] を押す(→手順7へ)

6 機能選択 DVD-RAM 07 3/23(水) 4CH 洋画劇場 編集元タイトル 001 002 003 001/001 編集先CHAPTER 001 002 003 001/001

決定 を押す



◆CHAPTERを選び直す → [へ] を押す

◆別のタイトルを選ぶ

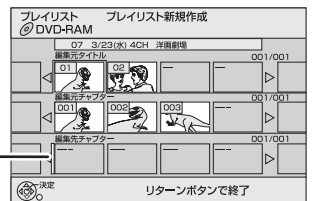
- [へ] を数回押して編集元タイトルの行を選び、手順5に戻る

お知らせ

- 編集元タイトルのCHAPTERを新たに作成することもできます。作成するには、[サブメニュー] を押して "CHAPTER作成" を表示させ、[決定] を押します。(操作方法は→43 "CHAPTERを作成する (CHAPTER作成)")

7 手順6で選んだCHAPTERの挿入位置を機能選択 DVD-RAM 07 3/23(水) 4CH 洋画劇場 編集元タイトル 001 002 003 001/001 編集先CHAPTER 001 002 003 001/001

決定 を押す



◆続けてCHAPTERを追加する → 手順6~7を繰り返す

◆CHAPTERを選び直す → [へ] を押す

◆別のタイトルを選ぶ

- [へ] を数回押して編集元タイトルの行を選び、手順5に戻る

8 作成が終わったら、リターン を押す

- 選んだシーンの集まりがプレイリストとなります。

■前の画面に戻る

- [リターン/戻る] を押す

■画面を消す

- [リターン/戻る] を数回押す

お知らせ

- 録画中やダビング中は、プレイリストの作成はできません。

プレイリストの再生/編集の基本操作

RAM
-RW(VR) (再生のみ)

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)
 - ディスク(→46)やカートリッジ付きディスク(→47)の誤消去防止設定(プロテクト)を解除し、プレイリスト作成(→44)済みのディスクを入れる。

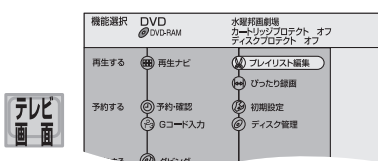
1 停止中に、を押す

- 機能選択画面が表示されます。

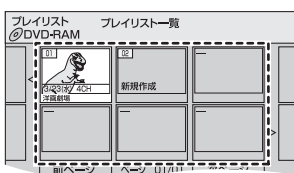
2 で「その他の機能へ」を選び、

を押す

3 「プレイリスト編集」が選ばれている状態で、 を押す



4 で再生または編集するプレイリストを選ぶ



◆前後のページを表示する

- [◀] (前ページ) または [▶] (次ページ) を押す
- [⏪] [⏩] [◀] [▶] で“前ページ”または“次ページ”を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

◆複数のプレイリストをまとめて編集する

- [⏪] [⏩] [◀] [▶] で選び、[一時停止] を押す操作を繰り返す(複数選択)
- が表示されます。もう一度 [一時停止] を押すと解除されます。

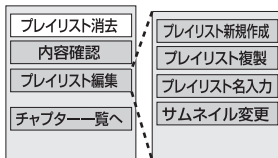
5 ◆再生する→ [決定] を押す

◆編集する→ [サブメニュー] を押す(→手順6へ)

6 [サブメニュー] を押した場合のみ

で編集する項目を選び、 を押す

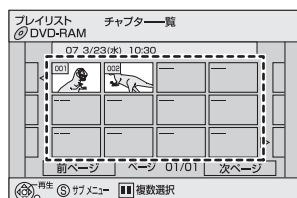
- 以下、それぞれの編集を行ってください。(→右記「プレイリストを編集する」)
- “プレイリスト編集”を選んだときは、さらに [⏪] [⏩] で項目を選び、[決定] を押す
- “チャプター一覧へ”を選んだ場合は(→下記手順7へ)



プレイリストのチャプター再生/編集の基本操作

RAM
-RW(VR) (再生のみ)

7 で再生または編集するチャプターを選ぶ



◆前後のページを表示する

- 上記手順4

◆複数のチャプターをまとめて編集する

- 上記手順4

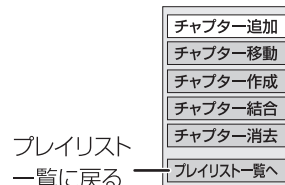
8 ◆再生する→ [決定] を押す

◆編集する→ [サブメニュー] を押す(→手順9へ)

9 [サブメニュー] を押した場合のみ

で編集する項目を選び、 を押す

- 以下、それぞれの編集を行ってください。(→46「プレイリストのチャプターを編集する」)



■前の画面に戻る

- [リターン/戻る] を押す

■画面を消す

- [リターン/戻る] を数回押す

お知らせ

- プレイリストのチャプターを編集しても、元のタイトルやチャプターには影響しません。
- 録画中やダビング中は、プレイリストの編集はできません。

プレイリストを編集する

- 左記手順1～6のあとに操作します。

プレイリストを消す(プレイリスト消去)

RAM

7 で「消去」を選び、 を押す

- 消去したプレイリストは、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

内容を確認する(内容確認)

RAM -RW(VR)

作成日などが表示されます。

◆画面を消す→ [決定] を押す

作成する(プレイリスト新規作成)

RAM

プレイリストを新しく作成します。

(操作方法は→左ページ“プレイリストを作成する”手順5～7)

プレイリストを複製する(プレイリスト複製)

RAM

7 で「複製」を選び、 を押す

- 最も新しいプレイリストとして複製されます。

プレイリスト名を付ける(プレイリスト名入力)

RAM

文字入力(→48)

プレイリスト一覧で表示される画像(サムネイル)を選ぶ(サムネイル変更)

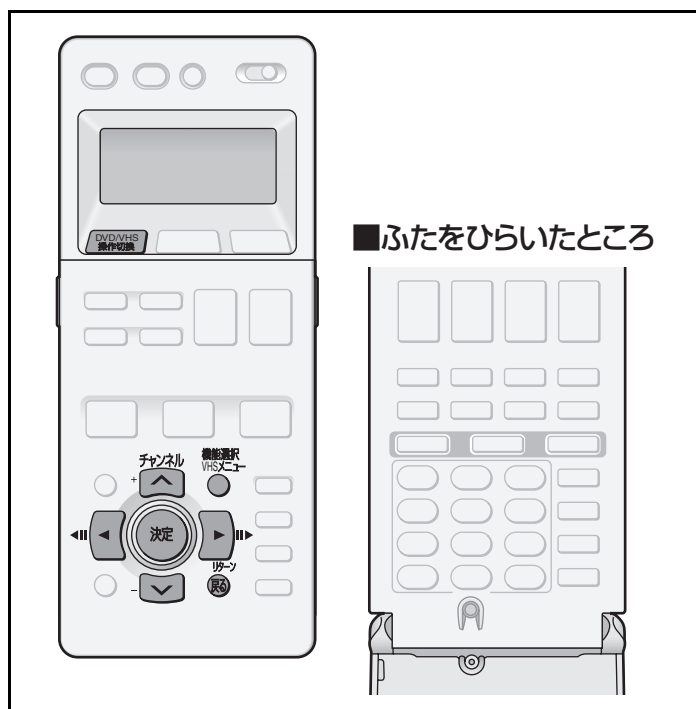
RAM

映像を見ながら場面を指定します。

(操作方法は→43“タイトル一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する(サムネイル変更)”)

プレイリストを操作する(つづき)

ディスクを整理する



プレイリストのチャプターを編集する

RAM

●45ページ手順1～9のあとに操作します。

チャプターを追加する(チャプター追加)

(操作方法は→44“プレイリストを作成する”手順5～8)

チャプターを移動する(チャプター移動)

10 ▲▼◀▶で移動先を選び、決定を押す



チャプターを作成する(チャプター作成)

映像を見ながら区切りたい部分を指定します。
(操作方法は→43“チャプターを作成する(チャプター作成)”)

チャプターをつなぐ(チャプター結合)

10 ◀で「結合」を選び、決定を押す

●選択中のチャプターと次のチャプターが1つのチャプターになります。

チャプターを消す(チャプター消去)

10 ◀で「消去」を選び、決定を押す

●チャプターをすべて消去すると、そのプレイリスト自身も消去されます。

RAM -R -RW(V) +R

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)
 - 整理したいディスクを入れる。
 - RAM ディスク(→下記)やカートリッジ付きディスク(→右ページ)の誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。

ディスクに名前を付ける(ディスク名入力)

RAM -R -RW(V) +R

ディスクごとにタイトルを付けることができます。

1 停止中に、機能選択 VHSメニューを押す

●機能選択画面が表示されます。

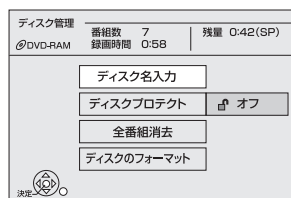
2 ▲▼で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「ディスク管理」を選び、決定を押す



4 「ディスク名入力」が選ばれている状態で、決定を押す

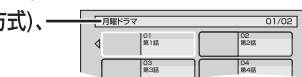
●文字入力(→48)



入力したディスク名は、[機能選択/VHSメニュー]を押すと表示されます。

例)DVD-RAM

DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rのファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



●ディスクプロテクト(→下記)やカートリッジのプロテクト(→右ページ)を設定しているとタイトルを入力できません。プロテクトを解除してください。

■前の画面に戻る→[リターン/戻る]を押す

■画面を消す→[リターン/戻る]を数回押す

誤消去防止の設定/解除(ディスクプロテクト)

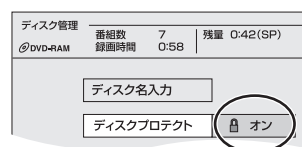
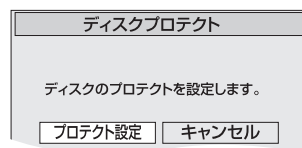
RAM

ディスクの内容を誤って消去ないように設定できます。
●上記手順1～3のあとに操作します。

4 ▲▼で「ディスクプロテクト」を選び、決定を押す

5 ◀で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

プロテクト設定すると“オン”が表示されます。



■前の画面に戻る⇒[リターン/戻る]を押す

■画面を消す⇒[リターン/戻る]を数回押す

カートリッジ付きDVD-RAMの場合

本機で左ページの設定をしなくても、ディスクで誤消去防止設定(プロテクト)ができます。(本機に入れると自動的に再生します)



プロテクトを設定する(書き込み禁止)

番組(タイトル)をすべて消去する(全番組消去)

RAM

●左ページ手順 1～3のあとに操作します。

4 で「全番組消去」を選び、 を押す

5 で「はい」を選び、 を押す

6 で「実行」を選び、 を押す

■前の画面に戻る⇒[リターン/戻る]を押す

■画面を消す⇒[リターン/戻る]を数回押す

お知らせ

- 実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。
- 番組(タイトル)を全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- プロテクトを設定した番組(タイトル)がある場合は、働きません。

ディスクを初期化する(ディスクのフォーマット)

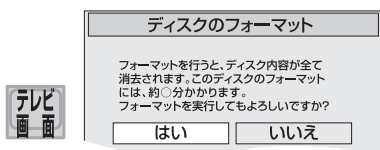
RAM -RW(V) -RW(VR) (フォーマット→79)

フォーマットを実行すると、記録した内容は全て消去され元に戻すことができません(パソコンのデータなども含む)。すべて消してよいか確認してから行ってください。(番組(タイトル)やディスクにプロテクトを設定していても消去されます)

●左ページ手順 1～3のあとに操作します。

4 で「ディスクのフォーマット」を選び、 を押す

5 で「はい」を選び、 を押す



6 確認画面で、 で「実行」を選び、 を押す

●フォーマットが始まります。通常は数分、最大約70分かかります。

お知らせ

●フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

■フォーマットを中止する⇒[リターン/戻る]を押す

●フォーマットが2分以上かかる場合のみ中止できます。ただし、再度フォーマットを行わないと使えません。

■前の画面に戻る⇒[リターン/戻る]を押す

■画面を消す⇒[リターン/戻る]を数回押す

お知らせ

- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- DVD-R、+R、CD-R/RWはフォーマットできません。
- 本機ではDVD-RWをフォーマットすると、DVD-Video方式になります。

他の機器で再生したいとき

[ファーストプレイ選択/他のDVD機器再生(ファイナライズ)]

-R -RW(V) +R (ファイナライズ→79)

本機で録画したDVD-R、DVD-RW (DVD-Video方式)、+Rをファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できます。また、ファイナライズ後のディスクの再生時に、最初にメニューを表示させるかどうかを「ファーストプレイ選択」で選ぶことができます。

ファーストプレイ選択

ファイナライズ後のディスクの再生の始めかたを設定できます。

●左ページ手順 1～3のあとに操作します。

4 で「ファーストプレイ選択」を選び、 を押す

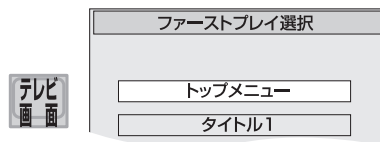
5 で「トップメニュー」または「タイトル1」を選び、 を押す

トップメニュー:

画面を表示する

タイトル1:

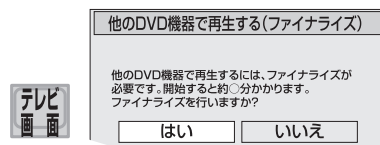
ディスクの先頭から再生する



他のDVD機器再生(ファイナライズ)

6 で「他のDVD機器再生(ファイナライズ)」を選び、 を押す

7 で「はい」を選び、 を押す



8 確認画面で、 で「実行」を選び、 を押す

●ファイナライズが始まります。通常数分、最大約15分かかります。中断できません。

お知らせ

●ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなります。

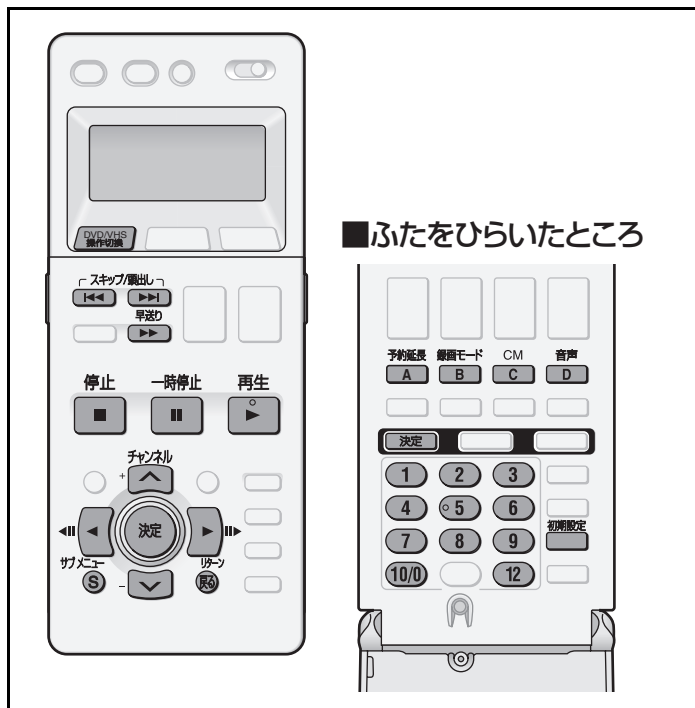
■前の画面に戻る⇒[リターン/戻る]を押す

■画面を消す⇒[リターン/戻る]を数回押す

お知らせ

- 当社製以外の機器で録画したディスクはファイナライズできないことがあります。
- 本機でファイナライズされたディスクは、記録状態により他のDVDプレーヤーでは再生できない場合があります。再生互換などのDVD関連情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)
- 高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くなる場合があります。(約4倍)
- ファイナライズすると…
 - ・-R +R 再生専用となり、録画や編集はできなくなります。
 - ・RW(V) 再生専用となりますが、フォーマット(→左記)すると、繰り返して録画や編集ができます。
 - ・番組(タイトル)のつなぎ目が数秒間静止するようになります。
 - ・約5分ごとのチャプターが自動的に作成されます。(実際に作成されるチャプターの長さは、録画状態や録画モードによって大きく変化します)

文字入力



録画した番組(タイトル)などに名前を付けることができます。

入力できる文字数

	種類	半角英数	その他
DVD-RAM	タイトル名※	64	32
	プレイリスト名	64	32
	ディスク名	64	32
DVD-R DVD-RW(DVD-Video方式) +R	タイトル名	44	22
	ディスク名	40	20

※予約録画時 半角英数:44文字 その他:22文字

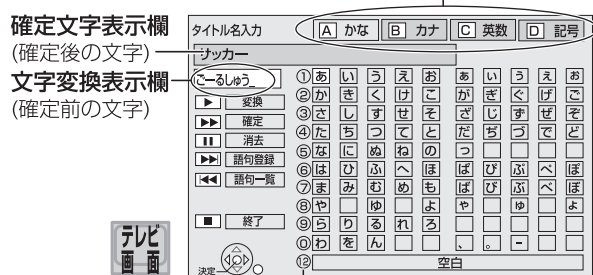
お知らせ

●入力したすべての文字が表示されない画面もあります。

1 入力画面を表示する

- ◆予約録画する番組(タイトル)に名前を付ける
「タイトル名入力」を選ぶ
(→36手順4、→37手順5、→38手順3、→39手順4)
- ◆録画した番組(タイトル)に名前を付ける
「タイトル名入力」を選ぶ(→42手順4)
- ◆プレイリストに名前を付ける
「プレイリスト名入力」を選ぶ(→45手順6)
- ◆ディスクに名前を付ける
「ディスク名入力」を選ぶ(→46手順4)

入力できる文字の種類
(ひらがなは漢字に変換することもできます)



数字ボタンで選ぶ(→右記)

2 入力する文字の種類を選ぶ

▲▼◀▶で選び、決定を押す

- [予約延長/A](かな)、[録画モード/B](カナ)、[CM/C](英数)、[音声/D](記号)を押して、[決定]を押しても、文字の種類が選べます。
- 漢字を入力するときは、まず「Aかな」を選びます。

3 入力する文字を選ぶ

▲▼◀▶で選び、決定を押す

- 確定文字表示欄では“_”の部分に文字が挿入されます。
- この手順を繰り返し、複数の文字を入力します。

◆ひらがなを入力する

→[早送り▶▶](確定)を押す

◆ひらがなを漢字変換する

→1 [再生▶](変換)を押す

- 変換候補選択画面が表示されます。

2 [へ][✓][◀][▶]で変換したい漢字の候補を選び、[決定]を押す

- [◀◀]または[▶▶]を押すと、前または次の文字候補選択画面が表示されます。

- [リターン/戻る]を押すと、タイトル入力画面に戻ります。

◆よく使う語句を登録したり、登録した語句を呼び出す(→下記)

◆消去する

→[一時停止||](消去)を押す

4 入力が終わったら、

停止 (終了)を押す

- “書き込み中です…”と表示されたあと、タイトル一覧などのそれぞれの画面に戻ります。

途中で終わる

→[リターン/戻る]を数回押す(文字は入力されません)

よく使う語句を登録する

登録できる語句数:20個まで

登録できる文字数(1個あたり):半角20文字/その他10文字

1 登録したい語句が確定文字表示欄に表示されている状態で、▶▶(語句登録)を押す

2 ◀で「登録」を選び、決定を押す

登録した語句を呼び出す

1 [◀◀](語句一覧)を押す

2 [へ][✓][◀][▶]で呼び出す語句を選び、[決定]を押す

- 確定文字表示欄に選んだ語句が入力されます。

登録した語句を消去する

1 [◀◀](語句一覧)を押す

2 [へ][✓][◀][▶]で消去する語句を選び、[サブメニュー]を押す

3 「語句消去」が選ばれている状態で、[決定]を押す

4 [◀]で「消去」を選び、[決定]を押す

前の画面に戻る

→[リターン/戻る]を数回押す

カーソルボタンを使わずに文字を入力することもできます。

[1]~[10/0]、[12]でも文字を入力できます。

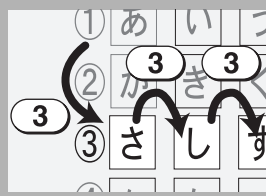
例:ひらがな「す」を選ぶ場合

1 [3]を押す

- 「さ」行に移動します。

2 [3]を2回押し、決定を押す

- 「す」が文字変換表示欄に表示されます。



初期設定を変える



初期設定変更の基本操作

初期設定一覧(→49~51)をご覧ください、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

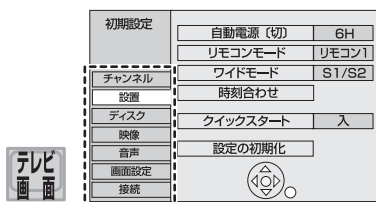
- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)

例)「自動電源[切]」の設定を変える場合

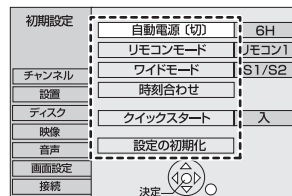
1 停止中に、を押す

- 初期設定画面が表示されます。

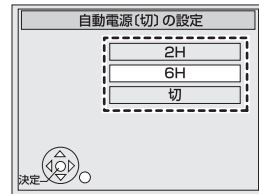
2 でメニューを選び、を押す



3 で設定項目を選び、を押す



4 で設定内容を選び、を押す



■ひとつ前の画面に戻る→[リターン/戻る]を押す

■初期設定画面を消す→[リターン/戻る]を数回押す

お知らせ

- 操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
チャンネル	市外局番チャンネル設定(→22)	▶市外局番入力
	マニュアルチャンネル設定(→23)	▶CH ▶表示 ▶ガイド ▶微調整
設置	自動電源(切) 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	▶2H ▶ <u>6H</u> ▶切
	リモコンモード(→25)	▶ <u>リモコン1</u> ▶リモコン2 ▶リモコン3
	ワイドモード テレビのS映像入力に合わせて出力を設定します。(→19) (S映像出力 →80)	▶ <u>S1</u> :テレビの端子が「S」または「S1」のとき。 ▶ <u>S1/S2</u> :テレビの端子が「S1」または「S2」のとき。 ▶ <u>切</u> :テレビ側で、自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を作動させたくないとき。
	時刻合わせ(→26)	▶(年/月/日/時/分) ▶自動時刻チャンネル
	クイックスタート DVD-RAMを使用すると、電源を入れてから約1秒で録画できるように設定します。「入」に設定時は、電源「切」時の消費電力が多くなります。	▶入 ▶切
	設定の初期化 設定をお買い上げ時の設定に戻します。	▶ <u>する</u> :初期化を行っても、チャンネル・時刻・視聴制限の設定は保持されます。 ▶ <u>しない</u>
ディスク	再生設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●視聴制限 DVDビデオの視聴制限ができます。 ・暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]~[10/0]で暗証番号(4けた)を入力してください。 ・暗証番号は忘れないでください。	▶ <u>レベル8</u> :すべてのディスクが視聴可。 ▶ <u>レベル7~1</u> :制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可。 ▶ <u>レベル0</u> :すべてのディスクが視聴不可。 ▶ロック解除 ▶暗証番号変更 ▶レベル変更 ▶一時解除
	●DVD-AudioのVideoモード再生 DVDオーディオに収録されたDVDビデオ映像を再生します。	▶入(電源「切」または本体の[▲開/閉]で「切」に戻ります) ▶切
	●音声言語 DVDビデオ再生時の音声を選びます。	▶ <u>日本語</u> ▶英語 ▶オリジナル(ディスクの最優先言語で再生) ▶その他****
	●字幕言語 DVDビデオ再生時の字幕言語を選びます。	▶ <u>オート</u> : 「音声言語」で選んだ言語で音声再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶日本語 ▶英語 ▶その他****
●メニュー言語 テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶ <u>日本語</u> ▶英語 ▶その他****	

*には[1]~[10/0]で言語番号(→51)を入力(選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面(→27)でのみ切り換えるものもあります)

便利機能

初期設定を変える(つづき)

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
ディスク	記録設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●EP時の記録時間 録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。 (録画モード→33) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶EP(6H) : 4.7 GBディスクに6時間記録 ▶EP(8H) : 4.7 GBディスクに8時間記録
映像	スチルモード 一時停止時の画像の表示方法が選べます。 (フレーム/フィールド→79)	<ul style="list-style-type: none"> ▶オート ▶フィールド : “オート”時にぶれが生じるときや、動きのある映像のとき。(粗めの画像を表示) ▶フレーム : “オート”時に細かい絵柄などがはっきり見えないとき。(画質のよい画像を表示)
	S-VHSダビング設定 S-VHS方式またはS-VHS ET方式で記録されたテープからディスクへダビングするときに、S-VHS方式でダビングするか、SQPBでダビングするかを選びます。(→67)	<ul style="list-style-type: none"> ▶S-VHS再生 : S-VHS方式のまま再生し、ダビングするとき。Y(輝度信号)の帯域が広いままでダビングできるので、より高画質となります。 ▶SQPB : VHS方式で再生し、ダビングするとき。(S-VHS本来の高画質にはなりません)
音声	音声のダイナミックレンジ圧縮 DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	<ul style="list-style-type: none"> ▶入(ドルビーデジタルの音声にのみ働きます) ▶切
	二重放送音声記録 DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに記録する二重放送の音声を選びます。	<ul style="list-style-type: none"> ▶主音声 ▶副音声 ●ビデオからのダビングなど、外部入力からDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに録画する場合は、本機では選べません。接続した機器側で選んでください。
	デジタル出力	→[決定]を押して、さらに設定します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●PCMダウンサンプリング変換 サンプリング周波数96 kHzまたは88.2 kHzで収録された音声を48 kHzまたは44.1 kHzに変換する(「入」)かしない(「切」)かを選びます。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶入 : 96 kHzまたは88.2 kHzに対応していない機器と接続したとき。 ▶切 : 96 kHzまたは88.2 kHzに対応した機器と接続したとき。 ・176.4 kHz以上の信号や著作権保護処理がされているディスクの出力は、設定にかかわらず48 kHzまたは44.1 kHzに変換されます。
	<ul style="list-style-type: none"> ●Dolby Digital ドルビーデジタルの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM(2ch)”に処理して出力するかを設定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶Bitstream : ドルビーデジタルロゴのある機器に接続したとき。 ▶PCM : ドルビーデジタルロゴのない機器に接続したとき。
<ul style="list-style-type: none"> ●DTS DTSの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM(2ch)”に処理して出力するかを設定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶Bitstream : DTSデジタルサラウンドロゴのある機器に接続したとき。 ▶PCM : DTSデジタルサラウンドロゴのない機器に接続したとき。 	

正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。

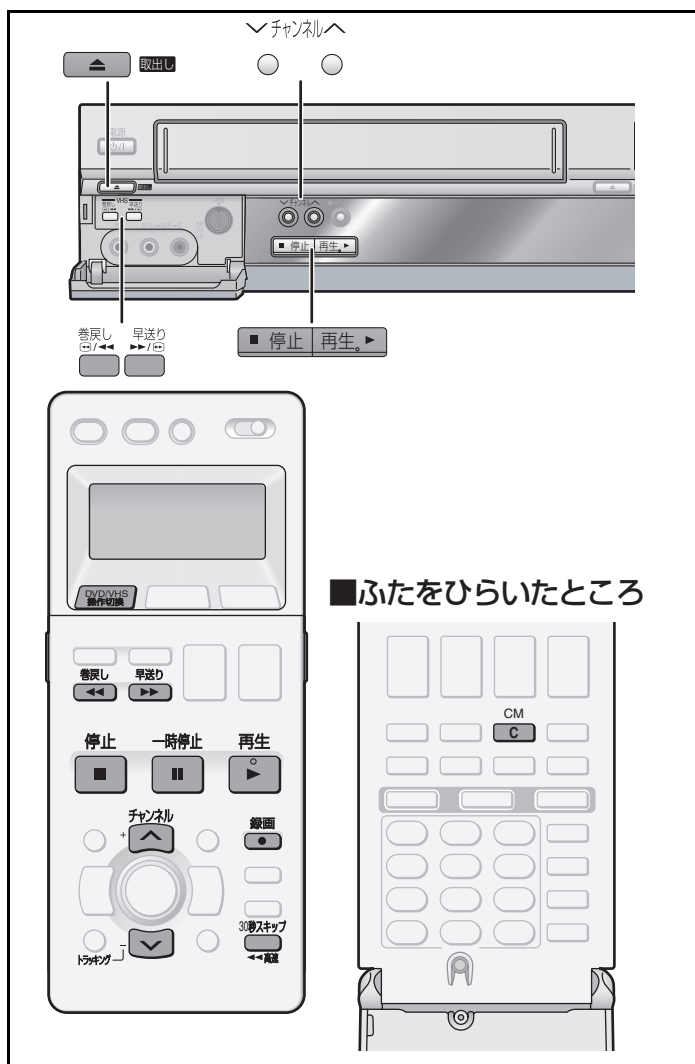



メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
画面設定	オンスクリーン表示(オート) 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。	▶入 ▶切(表示しない)
	ブルーバック 受信信号が弱いときに画面背景を表示しないようにできます。	▶入 ▶切(表示しない)
	FLディマー 本体表示窓の明るさを調節します。	▶常時 明 ▶常時 暗 ▶オート:再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 ●ボタンを押すと一時的に明るくなります。
接続	接続するTV 接続したテレビに合わせて設定します。(→25)	▶ <u>4:3インターレース(525i)</u> ▶4:3プログレッシブ(525p)対応 ▶ <u>16:9インターレース(525i)</u> ▶16:9プログレッシブ(525p)対応
	TVアスペクト(4:3)設定 4:3テレビでの16:9映像の映しかたを選びます。	▶ <u>パン&スキャン</u> :左右の切れた映像で再生するとき。 ・パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。 ▶ <u>レターボックス</u> :上下に帯のある映像で再生するとき。 ▶ <u>スルー</u> :録画された映像の横縦比で再生するとき。 ▶ <u>パン&スキャン</u> :左右の切れた映像で再生するとき。 ▶ <u>レターボックス</u> :上下に帯のある映像で再生するとき。

言語番号一覧

アイスランド.....7383	オーリヤ.....7982	シンド.....8368	トルクメン.....8475	ヘブライ.....7387
アイマラ.....6589	オランダ.....7876	シンハラ.....8373	トルコ.....8482	ベトナム.....8673
アイルランド.....7165	カザフ.....7575	ジャワ.....7487	トンガ.....8479	ベロルシア(白ロシア).....6669
アゼルバイジャン.....6590	カシミール.....7583	スウェーデン.....8386	ドイツ.....6869	ベンガル(バングラ).....6678
アッサム.....6583	カタロニア.....6765	スロバキア.....8375	ナウル.....7865	ペルシャ.....7065
アフアル.....6565	ガリチア.....7176	スロベニア.....8376	日本語.....7465	ポーランド.....8076
アフリカーンス.....6570	韓国(朝鮮)語.....7579	スワヒリ.....8387	ネパール.....7869	ポルトガル.....8084
アフバジア.....6566	カンナダ.....7578	スンダ.....8385	ノルウェー.....7879	マオリ.....7773
アムハラ.....6577	カンボジア.....7577	スペイン.....6983	ハウサ.....7265	マケドニア.....7775
アラビア.....6582	キルギス.....7589	ズールー.....9085	ハンガリー.....7285	マライ(マレー).....7783
アルバニア.....8381	ギリシャ.....6976	セルビア.....8382	バシキール.....6665	マラッタ.....7782
アルメニア.....7289	クルド.....7585	セルボクロアチア.....8372	バスク.....6985	マラヤーラム.....7776
イタリア.....7384	クロアチア.....7282	ソマリ.....8379	バシウト.....8083	マルタ.....7784
イディッシュ.....7473	グアラニー.....7178	タイ.....8472	パンジャブ.....8065	マダガスカル.....7771
インターリングア.....7365	グジャラト.....7185	タタール.....8484	ヒンディー.....7273	モルダビア.....7779
インドネシア.....7378	グリーンランド.....7576	タミル.....8465	ビハール.....6672	モンゴル.....7778
ウエールズ.....6789	グルジア.....7565	タガログ.....8476	ビルマ.....7789	ヨルバ.....8979
ウォロフ.....8779	ケチュア.....8185	タジク.....8471	フィジー.....7074	ラオ.....7679
ヴォラビュック.....8679	ゲール.....7168	チェコ.....6783	フィンランド.....7073	ラテン.....7665
ウクライナ.....8575	(スコットランド).....7168	中国語.....9072	フェロー.....7079	ラトビア(レット).....7686
ウズベク.....8590	コーサ.....8872	チベット.....6679	フランス.....7082	リトアニア.....7684
ウルドゥー.....8582	コルシカ.....6779	ティグリニア.....8473	フリジア.....7089	リンガラ.....7678
英語.....6978	サモア.....8377	テルグ.....8469	プータン.....6890	ルーマニア.....8279
エストニア.....6984	サンスクリット.....8365	デンマーク.....6865	ブルガリア.....6671	レトロマンス.....8277
エスperanto.....6979	ショナ.....8378	トウイ.....8487	ブルターニュ.....6682	ロシア.....8285

VHSを再生する



SQPB(S-VHS 簡易再生)機能について

(SQPB= S-VHS Quasi Playback)

- S-VHS方式で録画された**S**VHSカセットも再生することができます。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。
- デジタル(D-VHS)方式で録画された**D**VHSカセットは再生できません。

プログレッシブ対応テレビで高画質に楽しむとき

VHSの再生時も、DVDのプログレッシブ回路をとおして、本機後面のD1/D2映像出力端子からVHSの再生映像を出力し、プログレッシブ対応テレビで高画質の映像をお楽しみいただけます。

(プログレッシブ→79)

このときは同時にDVDで地上波放送・外部入力 of 録画を行うことはできません。

以下の準備・設定を行ってください。

- 1 本機とテレビをD端子ケーブル(別売)、またはD端子ピンケーブル(別売)を使って接続する(→18)
- 2 [DVD/VHS操作切換]を押してDVD側に切り換え、DVD側の初期設定「接続するTV」で「4:3プログレッシブ(525p)対応」、または「16:9プログレッシブ(525p)対応」を選ぶ(→25,51)
- 3 DVD側で「TP」チャンネルを選ぶ(→67)(VHS側の映像が映ります)

上記の準備・設定のあと、[DVD/VHS操作切換]を押してVHS側に切り換え、VHS側の再生操作を行ってください。

再生中のいろいろな操作

早送り/巻き戻し

停止中に、**巻き戻し** または **早送り** を押す

- テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。
- 早送り(巻き戻し)は高速で行うため、動作音が大きくなります。また、[停止■]を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。

高速リターン

30秒スキップ を押す

高速で巻き戻しします。

- テープカウンター表示は出ません。
- 高速で巻き戻すため、動作音が大きくなります。また、[停止■]を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
- カセットや使用環境によっては速度が多少変わります。
- 始端まで巻き戻すと、テープカウンターは「0:00.00」になります。
- 途中で停止しても、テープカウンターの値は正しく表示されません。

早送り/巻き戻し再生

巻き戻し または **早送り** を短く押す(または押し続ける)

短く押すごとに速度が切り換わります。

標準のとき : 約9倍速←約13倍速
3倍・5倍のとき : 約27倍速←約43倍速

- [再生▶]で通常再生に戻ります。
- [巻き戻し◀◀][早送り▶▶]を押し続けるときは、指を離すと通常再生に戻ります。

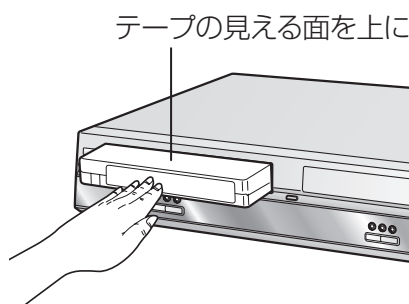
お知らせ

- 音声は出ません。
- 13倍速(43倍速)にすると映像が乱れることがあります。
- 5倍モードで録画された部分は、43倍速にするとブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。
- テープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。
- 約10分以上続けたときは、テープとヘッド保護のため、通常再生に戻ります。

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、VHS側に切り換える。(→14)

1 録画済みのカセットを入れる

- 自動的に電源が入ります。



2 再生を始める

再生 を押す

■停止する⇒[停止■]を押す

■カセットを取り出す

→[本体] [▲取出し]を押す

[リモコン] [DVD/VHS操作切換]を押してVHS側に切り換えたあと、[停止■]を約3秒以上押す

- VHS側が予約録画の待機中(→57)のときは動きません。

お知らせ

- 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが「OFF」になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
- カセットが入っているときは、電源が切れていても、[再生▶]を押すだけで再生を始めます。
- 5倍モードで録画されたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。また、カセットによっては自動調整できないこともあります。このときは、手動でトラッキングを調整してください。(→右ページ)

一時停止(静止画)

一時停止
 を短く押す

- もう一度押すと、再生を再開します。
- 音声は出ません。
- 5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。
- 静止画再生を約5分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

スロー再生

一時停止
 を約2秒以上押し続ける

- [再生▶]で通常再生に戻ります。
- 音声は出ません。
- 5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。
- スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

自動巻戻し再生

同じ番組を繰り返し再生します。

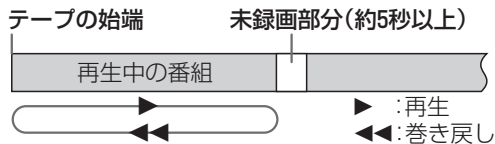
再生
 を約5秒以上押し続ける

- もう一度[再生▶]を押すと通常再生に戻ります。
- 停止、早送り、巻戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。
- この機能は解除するまで動き続けます。



お知らせ

- 番組の終わりに未録画部分が約5秒以上あるときに、正しく働きます。(未録画部分がない、または短かすぎると、次の番組まで再生されてしまいます)



- 再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までを繰り返して再生します。
- テープの始端に未録画部分が約5秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、そのあと再生します。

自動CM早送り再生

CMを自動的に早送りして再生します。

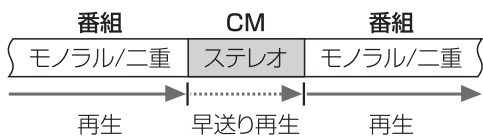
再生前または再生中に、 を押す

- “自動CM早送り 入”を表示させます。
- CM中に押したときは、そのCMの間は正しく動きません。
- 解除するには[CM/C]を押し、“自動CM早送り 切”を表示させます。
- 電源を切っても解除されます。



お知らせ

- 番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。(CMの前後が少し切れた状態で再生されます)



- 次のようなときは正しく動きません。
 - ・番組がステレオ放送のとき(CMも通常どおり再生されます)
 - ・CMがモノラル放送または二重放送のとき
 - ・CM以外でも、音声がモノラルや二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
 - ・本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生するとき
 - ・外部入力録画したカセットを再生するとき

きれいに再生できないとき

再生画面にノイズが出るときは、次の3つの要素が考えられます。

- ① **トラッキングがずれている**
(白い帯状のノイズが出る時など)
- ② **ビデオヘッドが汚れている**
(画面全体にノイズが出る時など)
- ③ **テープがいたんでいる**
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となる恐れがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。



準備 ●[DVD/VHS操作切換]を押して、VHS側に切り換える。(→14)

① トラッキングを調整するには

再生中に、 または を押し続ける

- ノイズが消えるまで押し続けてください。
- チャンネル[へ][✓]を同時に押すと、自動調整に戻ります。
- 通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別の機器で録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

お知らせ

- 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
- テープによっては、調整しきれないことがあります。
- 静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。
- 本体VHS側のチャンネル[✓][へ]でも調整できます。

② ビデオヘッドをクリーニングするには

再生中、本体表示窓に“U11”が表示されたときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。またこのとき、テレビ画面には



乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)(→80)を入れ、 を押して約10秒間録画する

- 約10秒後に[停止■]を押してください。
- このあと、録画済みのカセットを入れて再生してみてください。
- 3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

静止画面が上下にゆれるときは

静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。

静止画再生中に、 または を押し続ける

- ゆれが止まるまで押し続けてください。
- チャンネル[へ][✓]を同時に押すと、元の状態に戻ります。

お知らせ

- 本体VHS側のチャンネル[✓][へ]でも調整できます。
- テレビの垂直同期も調整してみてください。(テレビの説明書をご覧ください。お買い上げの販売店にご相談ください)

VHSを再生する(つづき)

時刻、テープカウンター、テープ残量を確かめる

合わせて本体表示窓の表示も変わります。

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、VHS側に切り換える。(→14)

画面表示を押す

5秒以内に押すごとに、下図のように表示が切り換わります。

- ボタンを押して5秒以上たつと自動的に消えます。



日付/現在時刻表示



テープカウンター表示



テープ残量表示

- 自動時刻合わせ機能(→26)が働いているときは、秒まで表示されます。

- テープカウンター表示になっているときに[リセット]を押すと、値が“0:00.00”になります。

- テープ残量の表示は目安です。
- カセットを入れた直後などは表示されません。テープ残量表示にすると、すぐに計算を始めます。多少時間がかかることがあります。
- 次のときは、正しい表示になりません。
 - ・VHSメニュー(→63)の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
 - ・品質の悪いカセットを使ったとき

画面表示について(オンスクリーン)

操作したときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを約5秒間表示します。



画面表示の一例

- 1 音声(→右記)/自動CM早送り
- 2 動作表示 :再生、早送りなど、本機の動作状態。
- 3 日付/現在時刻表示(→上記)
- 4 チャンネル表示:チャンネル切り換え時、録画開始時。
- 5 録画モード表示:録画開始時、テープ残量表示時など。
- 6 テープカウンター/テープ残量表示(→上記)

お知らせ

- 次のようなときは、オンスクリーン表示は出ません。
 - ・静止画、スロー再生中
 - ・VHSメニュー(→63)の「オンスクリーン」を「切」にしているとき
- テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。また、本機の動作が切り換わる時にも乱れることがあります。

音声を切り換える

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

- ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。(2カ国語オート再生)

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)

- [DVD/VHS操作切換]を押して、VHS側に切り換える。(→14)

音声Dを押す

押すごとに切り換わります。

◆テレビ放送受信中

ステレオ放送:

[ステレオ音声]→[左音声]→[右音声]

二重放送(2カ国語放送など):

[主音声+副音声]→[主音声]→[副音声]

モノラル放送(外部入力チャンネルも含む):

[左音声+右音声]→[左音声]→[右音声]

◆録画したテレビ番組の再生中

ステレオの番組:

[ステレオ音声]→[左音声]→[右音声]→[ノーマル音声(左+右)]

二重音声の放送(2カ国語など):

[主音声+副音声]→[主音声]→[副音声]→[ノーマル音声(主音声)]

モノラルの番組:

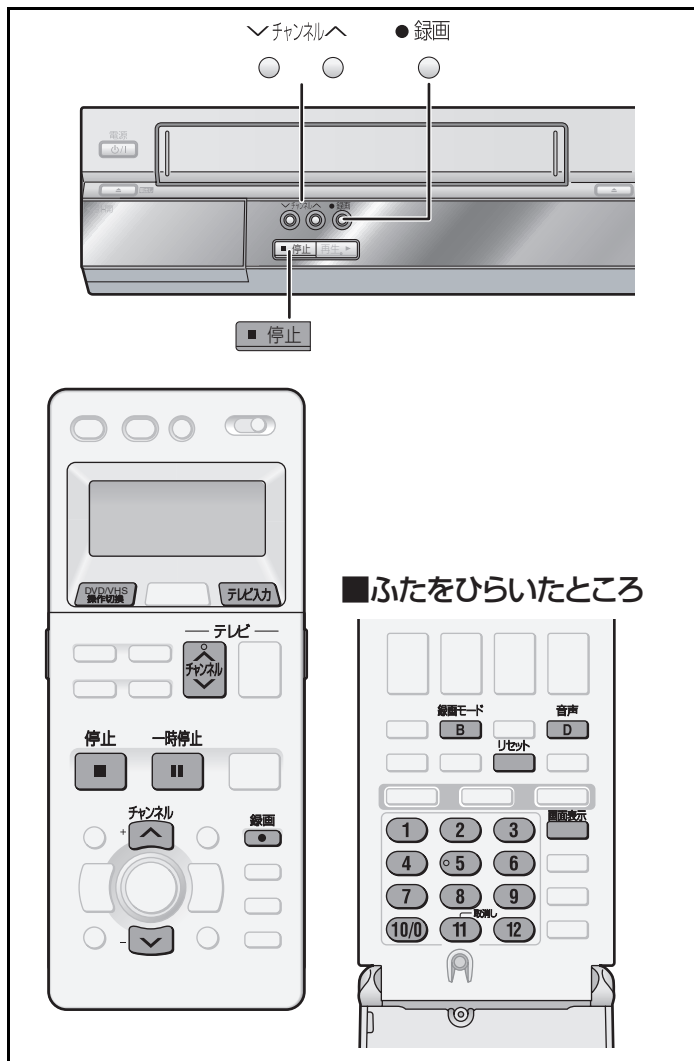
[左音声+右音声]→[左音声]→[右音声]→[ノーマル音声(モノラル)]

2カ国語オート再生機能について

- 次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。
 - ・本機または当社の同機能付きビデオで録画していない番組を再生中
 - ・外部入力録画または、本機で“DC”チャンネル(→71)で録画したカセットを再生中
 - ・[音声/D]を押して、音声を選んだあと(選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります)
 - ・番組の途中から再生を始めたとき
- この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。このときは[音声/D]で音声を選んでください。

お知らせ

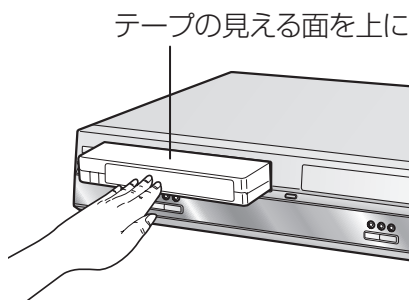
- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。
- 選んだ音声だけを録音することはできません。
- 録画中に音声を切り換えても、録音される音声には影響はありません。
- ノーマル音声しか記録されていないカセットの再生中は、音声を選ぶことができません。



■ふたをひらいたところ

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、VHS側に切り換える。(→14)
 - 本機の時刻が正しいことを確かめる。

1 「つめ」の折れていないカセットを入れる



●自動的に電源が入ります。

2 録画したいチャンネルを選ぶ

チャンネル
↑ ↓ または
① ~ ⑫ を押す



3 録画モードを選ぶ

録画モード
B を数回押す



標準：カセットに表示されている時間の録画ができます。
3倍：標準に対して3倍の録画ができます。
5倍：標準に対して5倍の録画ができます。

4 録画を始める

録画 を押す

- 一時停止する → [一時停止 II] を押す
 - もう一度押すと録画を続けます。[録画 ●] を押しても再開できません。
- 停止する → [停止 ■] を押す
- 録画中にDVDを再生・録画する
 - [DVD/VHS操作切換] を押してDVD側に切り換え、DVD側の各種操作を行う
- 録画中にテレビで別番組を見る
 - 1 [テレビ入力] を数回押して、テレビが受信しているチャンネルに切り換える
 - 2 テレビ [へチャンネル] を数回押して、見たいチャンネルを選ぶ
 - 録画に影響はありません。
 - 予約録画中もこの手順でテレビ番組を見ることができます。

お知らせ

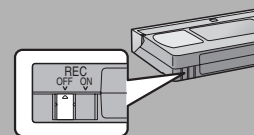
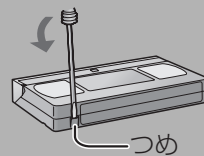
- 録画中にチャンネルを変えることはできません。(録画の一時停止中は変えることができます)
- 録画の一時停止を5分以上続けると、テープとヘッド保護のため停止します。
- テープ残量のめやすを示すバーは、テープ残量が少なくなると減っていきます。カセットを入れた直後は、各動作を始めてからバーが表示されるまでに多少時間がかかります。

録画可能なカセットについて

VHS、SVHS、DVHS マークの付いたカセットが使えます。

録画済みの番組を誤って消さないために

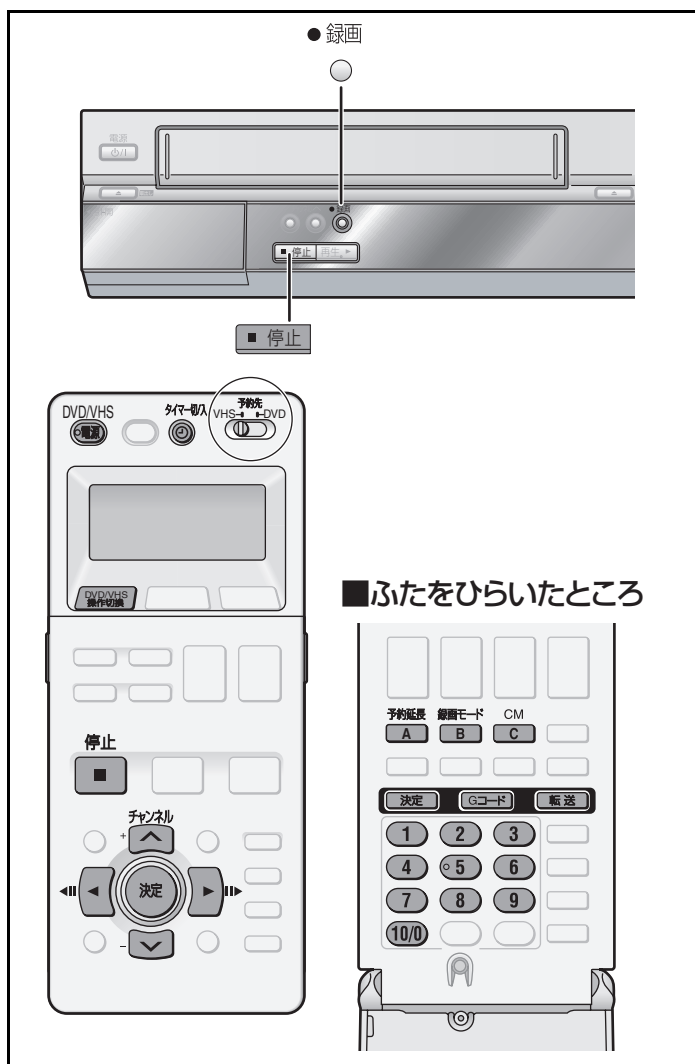
- 誤消去防止用の「つめ」を折ってください。
- 再び録画できるようにするには、折ったところにセロハンテープを二重にはってください。「つめ」の代わりになります)
- 誤消去防止つまみタイプのカセットは、つまみをスライドさせて「OFF」にしてください。「ON」に戻すと、再び録画できます。カセットの説明書もよくご覧ください。



5倍モードについて

- 録画を始めたあとの約8秒間、本体表示窓の「5倍」が点滅します。
- 本機で5倍モードで録画したカセットは、他のビデオでは再生できません。カセットのラベルに「5倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
- 他のビデオで再生したり、保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。

VHSに録画する(つづき)



録画の終了時刻を指定する(終了時刻予約録画)

指定した時刻になると、自動的に録画をやめます。

録画中に、本体VHS側の●録画を押す

押すごとに30分単位で録画終了時刻が変わります。
OFF → 30分後 → 60分後 → 90分後 → 120分後

●本体表示窓は下図のように変わります。



- リモコンの[録画●]では働きません。
- 予約録画中(→右ページ~60)は働きません。
- 録画終了時には、自動的に電源は切れません。

解除する

→ 本体の[●録画]を数回押し、録画終了時刻を"-- : --"にする

●終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。

■録画をやめる → [停止■]を押す

CMをとばして録画する(CMカット録画)

録画中に、CMを押して、本体表示窓に"×"を表示させる



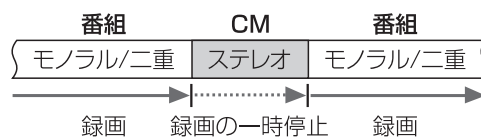
●CM中に押したときは、そのCMの間はとばすことができません。

■解除する → もう一度、[CM/C]を押す

●"×"が消えます。電源を切ったとき、録画の一時停止にしたときも解除されます。

お知らせ

●番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。(CMの前後が少し切れた状態で録画されます)



- 次のようなときは、正しく働きません。
 - ・番組がステレオ放送のとき
 - ・CMがモノラル放送または二重放送のとき
(このようなときは、次のCMからはCMカットは働きません)
 - ・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
 - ・外部入力チャンネルを録画するとき
- 予約録画中は働きません。

VHSに予約録画する



- 1カ月以内の番組を16番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)
DVD側の予約数には影響しません。
- 本機の予約録画には以下の2通りの方法があります。お好みの方法で予約設定をしてください。
 - ・Gコード®を使って予約録画(→下記)
 - ・Gコード®を使わずに予約録画(フリーセット予約)(→58)

Gコード®を使って予約録画する

予約したい番組のGコード®をリモコンに入力し、本機に転送するだけで予約できます。

Gコード®とは

テレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。

(最大8けた)

00	夜のワイドショー	
	▽私の結婚観 岩堀真希子	
	▽あの有名選手に迫る	
	吉村美紀 南野み	72364
55	天	20668

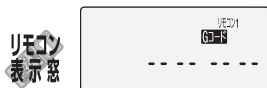
■予約を正しく行うために

- ガイドチャンネルを正しく設定してください。複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。(→23,24)

準備

- テレビに本機の画面を出す。(→21)
- [DVD/VHS操作切換]を押して、VHS側に切り換える。(→14)
- 予約先VHS/DVDスイッチを[VHS]にする。(→14)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。(→55)

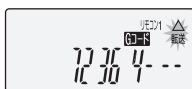
1 [Gコード]を押す



2 Gコード®を入力する

① ~ ⑩を押す

- 間違えて押したときは、[Gコード]を2回押し、入力し直してください。



◆録画モードを選ぶ

→ [録画モード/B]を数回押す

- “標準”、“3倍”、“5倍”、“標準3倍”から選びます。



●録画モードについて(→55,58)

●“標準3倍”について(詳しくは→58)

◆CMをとばして録画する(CMカット予約)

→ [CM/C]を押す

- “X”を表示させます。(詳しくは→左ページ)



◆野球放送などの延長に備えて、録画終了時刻を延長しておく(予約延長)

→ [予約延長/A]を数回押す

- 押すごとに延長される時間が変わります。(最大2時間先まで)
15分→30分→45分→60分→
90分→120分→延長しない



3 予約内容を転送する

[転送]を押す

			残量
テレビ画面	タイマー予約	テープ残量	6:00 3倍
			3/23 [水] 14:30
予約内容	録画日 CH	開始	終了 CM
	27 [日] 8	21:00	23:00 3倍

◆「CH」の項目が“G—”(点滅)になっているときガイドチャンネルが正しく設定されていません。

→ 1 “CH”が選ばれている状態で、[へ][✓]で予約したいチャンネルに合わせる

2 [決定]を押す

- 予約が完了し、ガイドチャンネルも設定されます。(→24)

予約録画の待機状態になります(本体表示窓のVHS側の“⊙”が点灯)が、自動的に電源は切れません。

- 予約録画待機中でも、DVDの再生・録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。
- 予約内容の表示中に、[決定]を押しても予約録画の待機状態になります。

4 DVDの再生・録画をしないときは、電源を切る

DVD/VHS [電源]を押す

- 電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。
- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできません)

■続けて予約を追加する

→手順1~3を繰り返す(予約待機状態でも予約できます)

■転送直後に予約内容を修正する

- テレビ画面に予約内容が表示されている間(約14秒間)は、予約内容を修正できます。
[◀][▶]で修正したい項目を選び、[へ][✓]で設定内容を修正してください。

■予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたとき

- Gコード予約は、番組開始・終了の予定時刻で予約するため、このようなときは番組の最初から最後までを録画することはできません。ただし、前もって終了時刻を延長しておくことができます。(→左記)

■予約録画を途中でやめる

→ [タイマー切/入]を押す

- 本体VHS側の[■停止]を約3秒以上押しでも止まります。
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[タイマー切/入]を押すと予約録画が再開されます。

■アナログBS放送の番組をGコード予約するとき

- BSチューナー内蔵テレビが必要です。(→61)

■予約内容を確認する、取り消す、修正する(→60)

(つづく→次ページ)

録
る

VHSに予約録画する(つづき)

■録画モードについて

選ばなくても予約できます。ただし、本体表示窓に現在、表示されている録画モードによって、以下のように自動的に設定されます。

- 「標準」点灯のとき→「標準3倍」(→下記)
- 「3倍」点灯のとき→「3倍」
- 「5倍」点灯のとき→「5倍」

お知らせ

- 転送後は、テープ残量も表示されます。転送後の本体の録画モード(標準、3倍または5倍)で計算されます。ただし、カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
- テレビ画面に「予約内容にミスがあります」と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
- Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- 本体表示窓に「PROG FULL」と表示されたときは、すでに16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。(→60)

標準3倍(ぴったり録画)について

「標3」(標準3倍)を選ぶと、標準モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に3倍モードに切り換えて番組の最後まで録画します。

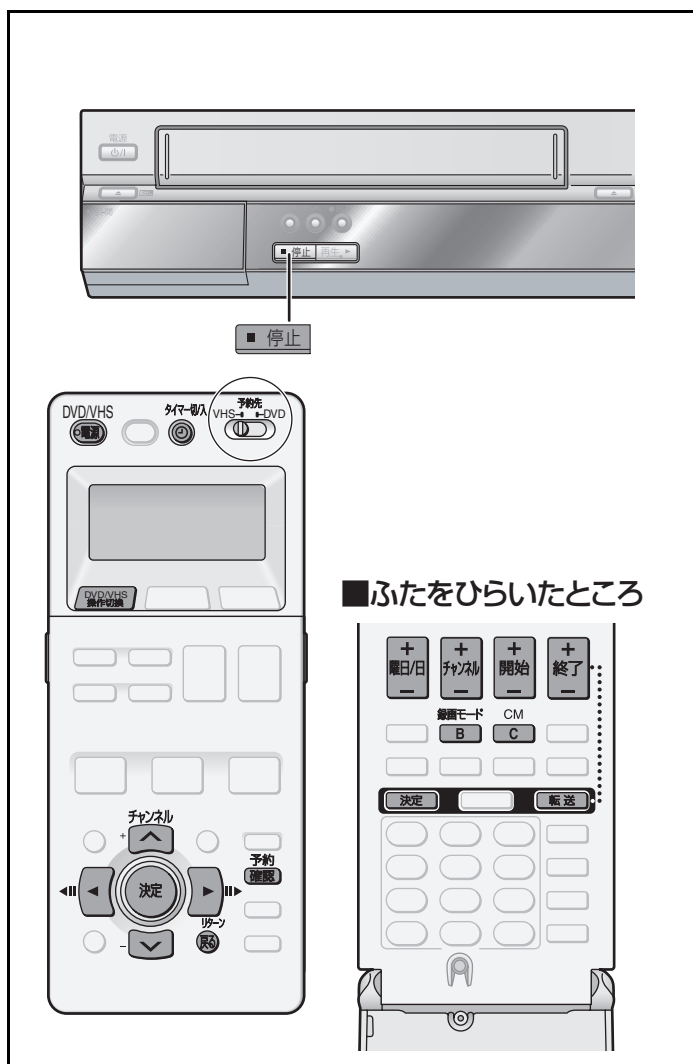
予約内容

1番組(30分)	2番組(60分)
----------	----------

実際の録画状態

「標準」で 30分録画	「標準」で 15分録画	「3倍」で 45分録画	60分カセットを 使ったとき
----------------	----------------	----------------	-------------------

- テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。
- 番組の最初から3倍モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後まで録画できません。
- 5倍モードでは働きません。
- 以下のときは正しく働かないことがあります。
 - ・VHSメニューの「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
 - ・品質の悪いカセットを使ったとき



Gコード®を使わずに予約録画する (フリーセット予約)

予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - 本機の時刻が正しいことを確かめる。
 - 「つめ」の折れていないカセットを入れる。(→55)

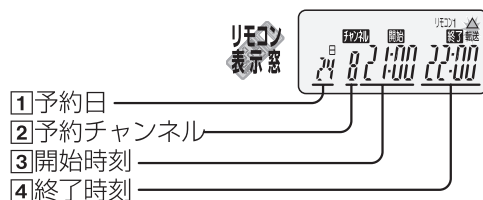
リモコン表示窓を使って予約する

リモコンに予約内容を入力し、本機に転送するだけで予約できます。

1 リモコンの予約先VHS/DVDスイッチを [VHS]にする(→14)

2 予約する

リモコン表示窓を押す(→右ページ)



◆録画モードを選ぶ

→ [録画モード/B] を数回押す

- “標準”、“3倍”、“5倍”、“標準3倍”から選びます。



●録画モードについて(→55, 左ページ)

●“標準3倍”について(詳しくは→左ページ)

◆CMをとばして録画する(CMカット予約)

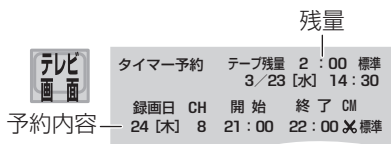
→ [CM/C] を押す

- “X” を表示させます。(詳しくは→56)



3 予約内容を転送する

[転送] を押す



予約録画の待機状態になります(本体表示窓のVHS側の“⊖”が点灯)が、自動的に電源は切れません。

- 予約録画待機中でも、DVDの再生・録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。
- 予約内容の表示中に、**[決定]** を押しても予約録画の待機状態になります。

4 DVDの再生・録画をしないときは、電源を切る

[DVD/VHS] を押す

- 電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。
- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできません)

■1 予約日(曜日/日)の変わりかた

[+]側を押すごとに、

→今日の予約

(今の時刻から、24時間以内に始まる番組を予約)

現在時刻が16時10分ならば、翌日の16時09分までが“今日”になります。



→1週間以内→1カ月以内→毎日→毎週と変わります。

([-]側を押すと逆方向)

- 毎日・毎週予約をしたときは、予約録画終了後も予約内容は消去されません。

■2 予約チャンネルの変わりかた

[+]側を押すごとに、

→VHF/UHF→BS→CATV(工場出荷時はとばされています)→外部入力

と変わります。([-]側を押すと逆方向)

- 押し続けると、10ずつ変わります。
- 必ず本体表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネルで合わせてください。それ以外のチャンネルは予約できません。

■3 開始時刻・4 終了時刻の変わりかた

- 押し続けると、30分単位で変わります。
- 時刻は24時間表示です。

■続けて予約を追加する

→手順2〜3を繰り返す(予約待機状態でも予約できます)

■すぐに予約録画を始めたいとき

→2 予約チャンネルと4 終了時刻だけ合わせて**[転送]**を押すと、終了時刻までの予約録画を始めます。

■転送直後に予約内容を修正する

●テレビ画面に予約内容が表示されている間(約14秒間)は、予約内容を修正できます。

[◀][▶]で修正したい項目を選び、[^][v]で設定内容を修正してください。

テレビ画面を見ながら予約する

予約一覧画面(→60)からも予約することができます。

1 **[DVD/VHS 操作切換]** を押して、VHS側に切り換える(→14)

2 **[予約 確認]** を押す

- 予約一覧画面が表示されます。

3 **[↑][↓]** で「新規予約」を選び、

[決定] を押す

録画日	CH	開始	終了	CM
27 [日]	8	21:00	22:00	標準
26 [土]	4	20:00	22:55	3倍

新規予約

4 予約内容を設定する

[◀][▶] で項目を選び、**[↑][↓]** で設定する

- 時刻は、[^][v]を押し続けると30分単位で変わります。

録画日	CH	開始	終了	CM
27 [日]	8	21:00	22:00	標準
26 [土]	4	20:00	22:55	3倍

新規予約

5 **[決定]** を押す

録画日	CH	開始	終了	CM
28 [月]	6	21:00	22:00	5倍
27 [日]	8	21:00	22:00	標準
26 [土]	4	20:00	22:55	3倍

新規予約

6 **[リターン]** を押す

- 予約録画の待機状態になり(本体表示窓のVHS側の“⊖”が点灯)、DVD側の映像に切り換わります。

予約録画の待機状態になります(本体表示窓のVHS側の“⊖”が点灯)が、自動的に電源は切れません。

- 予約録画待機中でも、DVDの再生・録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。

7 DVDの再生・録画をしないときは、電源を切る

[DVD/VHS] を押す

- 電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。
- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできません)

■予約録画を途中でやめる

→ **[タイマー切/入 ⊖]** を押す

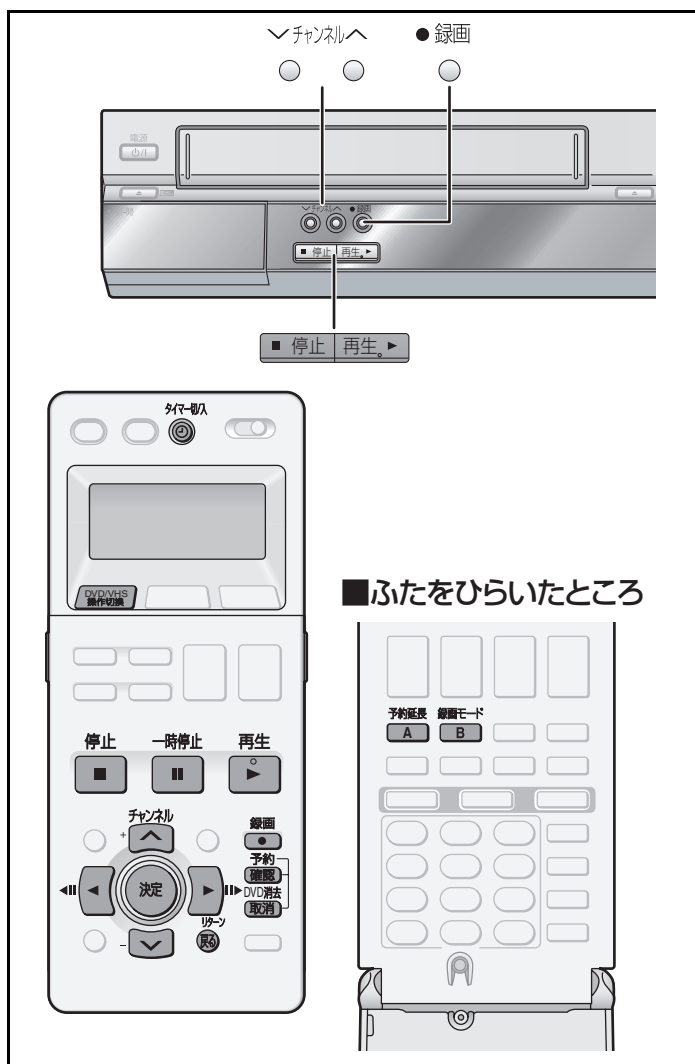
- 本体VHS側の**[■停止]**を約3秒以上押しでも止まります。
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度**[タイマー切/入 ⊖]**を押すと予約録画が再開されます。

■予約内容を確認する、取り消す、修正する(→60)

お知らせ

- 予約設定画面には、テープ残量も表示されます。設定時の本体の録画モード(標準、3倍または5倍)で計算されます。ただし、カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
- 本体表示窓に“PROG FULL”と表示されたときは、すでに16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。(→60)

VHSに予約録画する(つづき)



3 ◆取り消すとき

DVD消去
取消を押す

録画日	CH	開始	終了	CM
-- [一]	--	--:--	--:--	--
26 [土]	4	20:00	22:55	3倍
新規予約				

◆修正するとき

決定を押す

タイマー予約	テープ残量	2:00	標準	
3/23 [水]	14:30			
録画日	CH	開始	終了	CM
27 [日]	8	21:00	23:00	標準

1 [◀][▶]で修正したい項目を選び、[へ][✓]で予約内容を修正する

2 [決定]を押す

■予約一覧画面を消す → [リターン/戻る]を押す

(約1分そのままにしたときは、[リターン/戻る]を押さなくても消えます)

予約録画の終了時刻を延長する(予約延長)

準備 ◆[DVD/VHS操作切換]を押して、VHS側に切り換える。(→14)

予約録画中に、^{予約延長}を押す

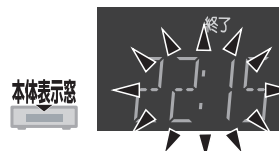
押すごとに延長される時間が変わります

+15分 → +30分 → +45分 →

+1時間 → +1時間30分 →

+2時間 → 延長しない

- 終了時刻を延長したために、別の番組予約が重なったときは、先に予約録画の始まった番組の予約が優先されます。
- 予約延長の操作中に現在時刻が終了時刻になっても、予約延長の操作をやめるまでは、そのまま録画を続けます。
- 予約録画の待機状態からは延長できません。



予約内容を確認する・取り消す・修正する

予約済みの内容をテレビ画面で確認・取り消し・修正することができます。

また、本体表示窓で予約内容を確認することができます。(電源が入っているとき、または予約録画の待機状態で操作してください)

準備 ◆テレビ画面で確認・取り消し・修正するときは、テレビに本機の画面を出す。(→21)

◆[DVD/VHS操作切換]を押して、VHS側に切り換える。(→14)

1 予約確認を押す

- 予約一覧画面が表示されます。

2 取り消し/修正したい予約内容を選ぶ

↑ ↓ で選ぶ

録画日	CH	開始	終了	CM
27 [日]	8	21:00	22:00	標準
26 [土]	4	20:00	22:55	3倍
新規予約				

- 本体表示窓にも予約一覧画面で選ばれている予約内容が表示されます。



予約を解除する

予約録画の待機中に、カセットの入れ替えや再生などをしたときは、予約録画を解除する必要があります。

準備 ◆[DVD/VHS操作切換]を押して、VHS側に切り換える。(→14)

予約待機中に、^{タイマー切込}を押す



- 本体表示窓の「⊕」が消え、電源が入ったときの状態になります。
- もう一度押すと予約録画の待機状態に戻ります。

お知らせ

- 予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
- 本体VHS側の[■停止]を約3秒以上押ししても、予約録画の待機状態を解除することができます。

BS放送などをVHSに録画する

BSチューナー内蔵テレビなどから録画する

- 準備**
- 本体の外部入力(L1またはL2)にBSチューナー内蔵機器などを接続する。(→16,17)
 - テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、VHS側に切り換える。(→14)
 - 本機の時刻が正しいことを確かめる。
 - 「つめ」の折れていないカセットを入れる。(→55)

1 BSチューナー内蔵機器などを接続した外部入力チャンネルを選ぶ

 または  を押す

L1: 外部入力1端子(後面)に接続したとき

L2: 外部入力2端子(前面)に接続したとき

2 録画開始点を探す


- 1 [再生▶]を押して、カセットを再生する
- 2 [一時停止⏸]を押して、録画の開始点で静止画にする
- 3 [録画●]を押して、録画の一時停止にする

3 録画モード(→55)を選ぶ

 を数回押す

4 テレビ側またはチューナー側で、録画したいチャンネルを選ぶ

5 録画を始める

 を押す

録画をやめる

→ [停止■]を押す

お知らせ

- テレビのモニター出力(→16)から録画する場合は、録画が終わるまでテレビの電源を切らないでください。
- デジタルハイビジョン画質での録画はできません。
- 地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル放送などには、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されているものがあります。コピー禁止処理されている信号を本機に入力しても、正しく録画できません。また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像が乱れたり、明るさが急に変わったり、色合いが悪くなったりします。

アナログBS放送の番組をGコード予約する

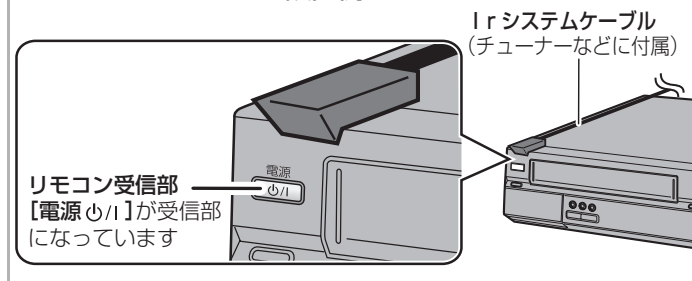
- 本機の外部入力(L1またはL2)端子とBSチューナー内蔵テレビのモニター出力端子を接続している場合は、アナログBS放送のみ、Gコード予約でBS番組を録画することができます。

BS番組をGコード予約すると、テレビ画面に表示された予約設定画面で、「CH」の項目は自動的に、外部入力チャンネル「L1」が選ばれています。BSチューナー内蔵テレビを外部入力2(L2)端子に接続している場合は、予約内容の修正が必要です。(→左ページ)

Irシステムを使って録画する

本機は、当社製チューナー、またはチューナー内蔵テレビのIrシステム(→79)に対応しています。チューナーなどから予約録画の信号を、本機のリモコン受信部に送ることで、連動録画ができます。

Irシステムケーブルの設置例

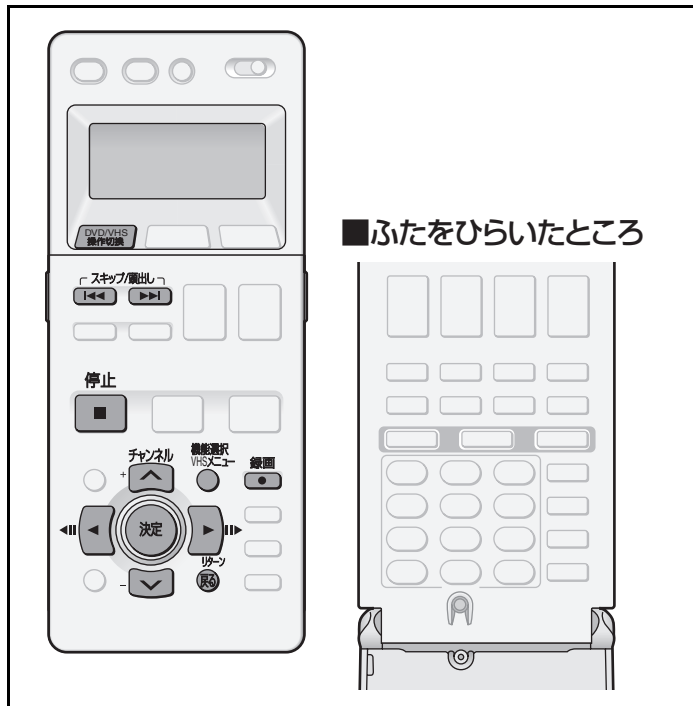


お知らせ

- チューナーなどのIrシステムがビデオに対応していることをご確認ください。
- Irシステムの設置・設定・操作はチューナーなどの説明書をご覧ください。
- 予約待機中は、Ir予約は受け付けません。
- テレビ側のIrシステムの設定が、「ビデオ1」、「ビデオ2」、「ビデオ3」のいずれかになっていることをご確認ください。詳しくは、テレビの説明書をご覧ください。

番組を探す

テープリフレッシュする



■ふたをひらいたところ

1 番組単位で頭出しする

本機で録画すると、録画の開始点で自動的に頭出し信号が記録されます。これを使って録画を始めたところを頭出しすることができます。

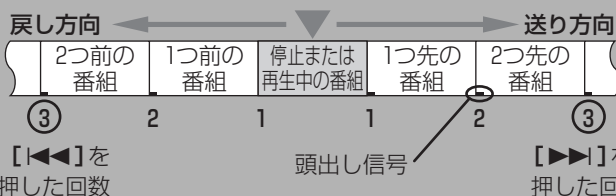
- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、VHS側に切り換える。(→14)

◀ または ▶ を押す

早送り(巻き戻し)を始め、押した回数だけ先の(前の)番組を再生します。
早送り方向…[▶▶▶]
巻き戻し方向…[◀◀◀]



頭出しする番組の指定のしかた



- 最大20番組先(前)までの番組が指定できます。
- ボタンを押すすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
- 以下のときに、頭出し信号が記録されます。
 - ・[録画●]を押して録画を始めたとき。(録画の一時停止を解除して録画を再開したときは記録されません)
 - ・予約録画が始まったとき。
 - ・録画中に、リモコンの[録画●]を押したとき。
- 次のときは、正しく探せないことがあります。
 - ・頭出し信号どうしの間隔が短いとき。録画は約15分(5倍モード時は約25分)以上行ってください。

カセットの録画内容をすべて消す

この操作をすると映像、音声はすべて消え、元に戻すことができません。

消してよいかよく確かめてから行ってください。

※テープが新しくなるわけではありません。

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、VHS側に切り換える。(→14)
 - テープリフレッシュしたいカセットを入れる。

1 機能選択 VHSメニュー **を** 押す

●VHSメニュー画面が表示されます。

2 ▲ ▼ で「テープリフレッシュ」を選び、決定 を押す

●テープリフレッシュが始められます。

3 “TR”点滅中に、もう一度 決定 を 約2秒以上押す

●テープリフレッシュが始まります。

- 途中でやめる → [停止■] を押す
- 止めたところまでは消去されています。

- お知らせ**
- VHSメニュー(→右ページ)の「テープ長さ」を正しく合わせておかないと、テープ残量が正しく表示されません。
 - テープリフレッシュしたあとに再生動作をしたとき、テープカウンターの数字が動くことがありますが、そのまま新しく番組などを録画しても影響ありません。
 - 誤消去防止用の「つめ」を折り取っているカセット、または誤消去防止つまみが「OFF」になっているカセットはテープリフレッシュできません。

テープリフレッシュの動作

- 1 テープを始端まで巻き戻す。
- 2 早送りしながら、録画された内容を消去していく。
- 3 終端まで消去すると、始端まで巻き戻して停止する。

●120分カセットで約21分かかります。(目安です)

いろいろな項目の設定を変える(モード設定)

使う条件に合わせて、いろいろな項目を変えることができます。

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、VHS側に切り換える。(→14)

1 を押す

- VHSメニュー画面が表示されます。

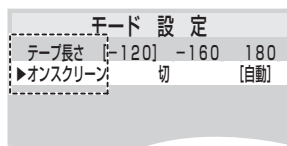
2 「モード設定」

が選ばれている状態で、



を押す

3 で設定項目を選ぶ



4 で設定内容を変える



- ひとつ前の画面に戻る → [リターン/戻る] を押す
- VHSメニューを消す → [リターン/戻る] を数回押す

モード設定メニュー(下線部はお買い上げ時の設定です)

テープ長さ

- ▶ -120: T120(120分)、TC20(**VHS**・20分)カセットや、それより短いものを使うとき。
- ▶ -160: T140(140分)、T160(160分)、TC30(**VHS**・30分)カセットを使うとき。
- ▶ 180 : T180(180分)カセットや、それより長いものを使うとき。

※ **DVHS**カセットのときは、どの位置に設定してもテープ残量が正しく表示されません。

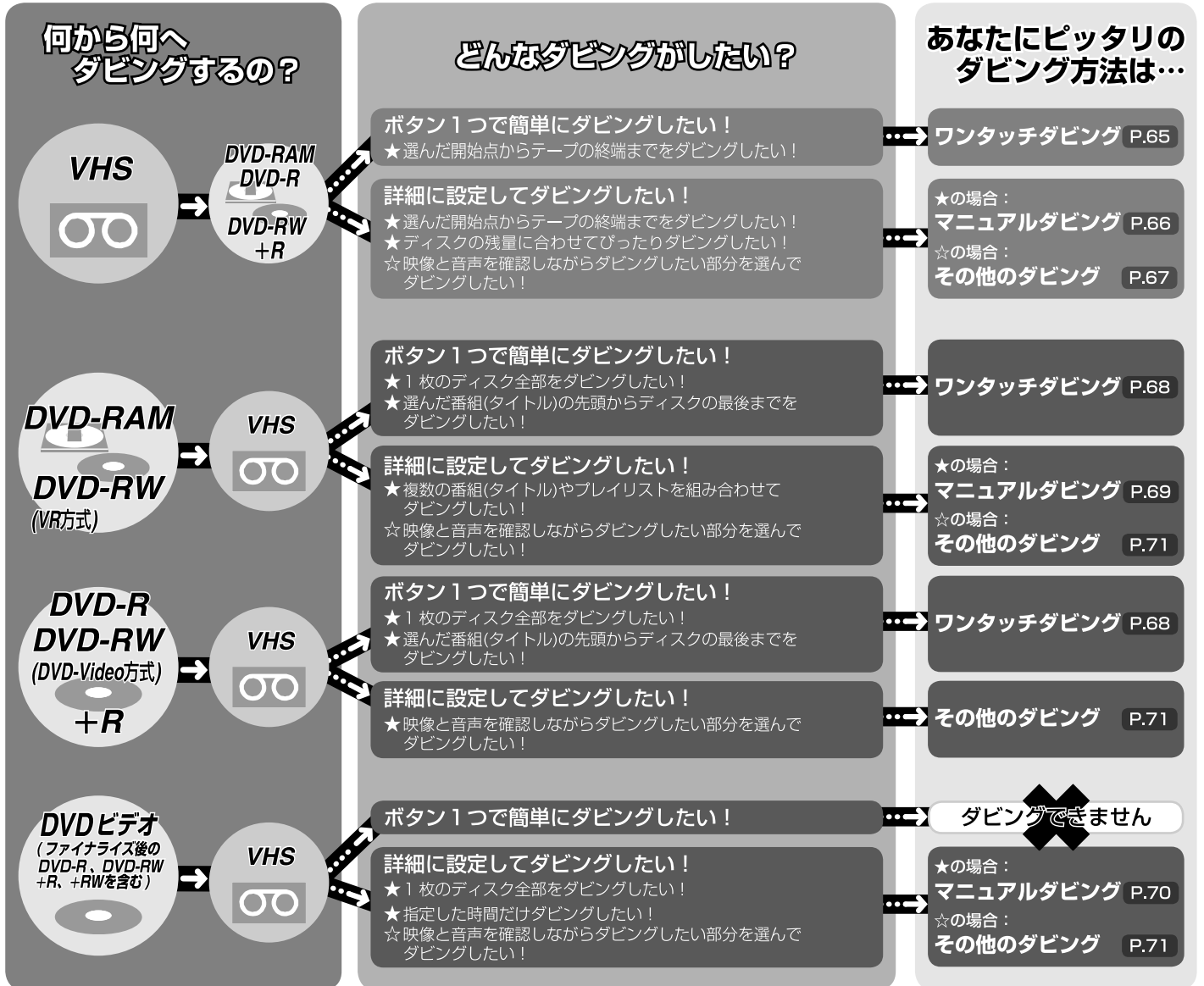
オンスクリーン(→54)

- ▶ 切 : テレビ画面に表示を出さないようにするとき。
- ▶ 自動 : 操作をしたときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出すとき。

ダビングについて

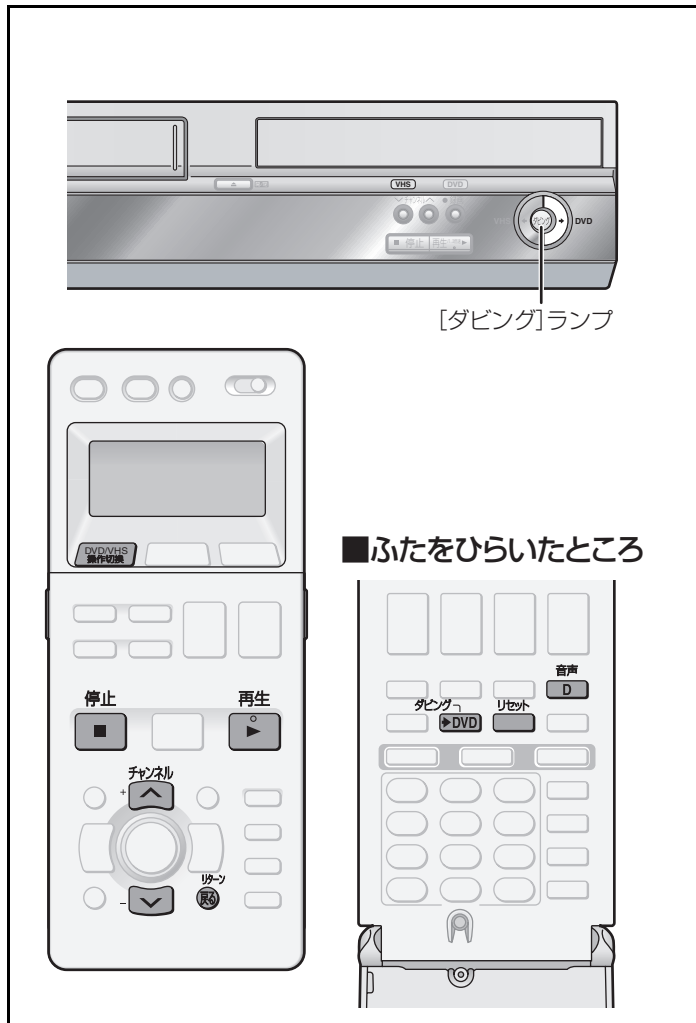


本機ではいろいろなダビングのしかたが選べます。



●コピー禁止処理がされている映像はダビングすることはできません。

VHS→DVDへダビングする



- コピー禁止処理がされているビデオソフトはダビングすることはできません。多くのビデオソフトは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、録画・録音できないようになっています。
- 一度デジタル放送の番組がダビングされているビデオカセットは、DVDにダビングすることはできません。(→7)
- ダビング中はDVDの再生はできません。

ダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます

- [リターン/戻る] 3秒以上押しによるダビングの中止 (ワンタッチ/マニュアルダビング時)
 - [停止■] によるダビングの中止 (ワンタッチダビング/その他のダビング時)
- VHS側操作モード時(→14):
- [音声/D] によるVHS音声の切り換え(切り換えた音声で記録されます)(その他のダビング時)
 - [リセット] によるVHS側のテープカウンターリセット(→54)
 - チャンネル[↑][↓] によるVHS側のトラッキング調整(→53)

番組(タイトル)(→42)の分割について

VHSからDVDへのダビング時は、テープの頭出し信号を検出するごとに、番組(タイトル)を分割して録画します。DVDへのダビング後は、再生ナビタイトル一覧(→27)を使って、番組(タイトル)を探すことができます。

- 約15分(5倍モード時は約25分)以内の録画番組の場合は、正しく分割されない場合があります。
 - 頭出し信号の数によっては、録画される時間が実際よりも多少長くなる場合があります。
- 番組(タイトル)分割しないでダビングしたいときは、以下の方法でダビングしてください。
- マニュアルダビングで、「時間設定」を「入」にする(→66)
 - その他のダビング(→67)

ワンタッチダビング

カセットに録画された番組をDVD*にワンタッチ操作でダビングすることができます。ワンタッチダビングでは、ダビング開始時のテープの再生位置からディスクに自動的にダビングします。

※録画可能な録画用ディスク: **RAM -R -RW(V) +R**

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(→21)

DVD側:

- 録画可能なディスク(→4)を入れる。
- ディスクに十分な残量があることを確認しておく。
- 録画モードを選んでおく。(→33)
- R -RW(V) +R** VHS側の再生が二重放送の番組のときは、音声の設定が必要です。(詳しくは→10,下記)


VHS側:

- ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れる。

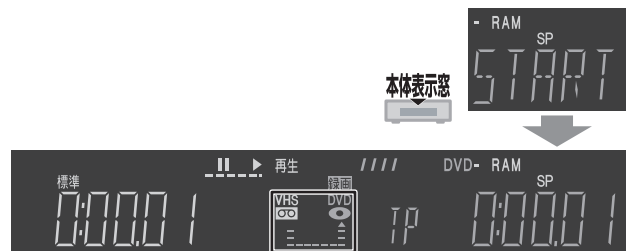
1  を押して、VHS側に切り換える(→14)

2 カセットのダビング開始点を探す

- 1 [再生▶] を押して、カセットの再生を始める
- 2 [停止■] を押して、ダビングの開始点で停止させる

3 DVD・VHSともに停止状態で、 を約3秒以上(本体表示窓の“START”が点滅し終わるまで)押し続ける

- 本体の[ダビング]ランプが点灯します。
- 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。



ダビング方向

- テープの終端になるか、またはディスクの残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

■ワンタッチダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます

- DVD・VHS側のオンスクリーン表示→「切」(→51,63)
- DVD側の録画チャンネル表示→“TP”(→67)

■ダビングを途中でやめる→[停止■] を押す

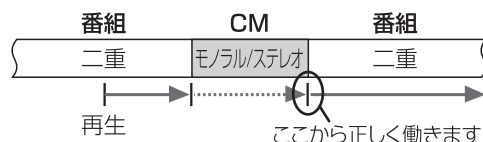
- [リターン/戻る] を3秒以上押ししても、ダビングをやめることができます。

二重放送番組のダビングについて **-R -RW(V) +R**

- VHS側の再生が二重放送の番組のときは、DVD側初期設定「二重放送音声記録」(→50)でディスクに記録する音声を選んでおく必要があります。

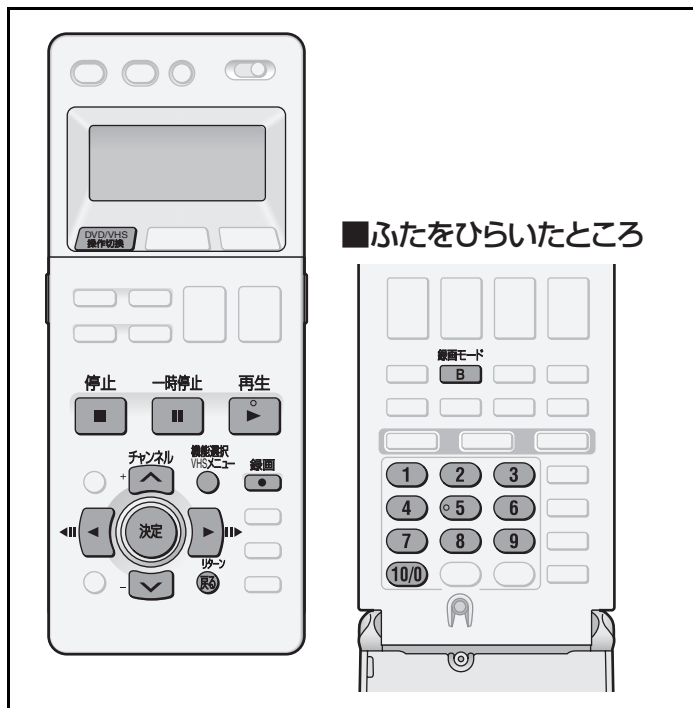
二重放送の番組の途中からダビングを始めた場合

- 二重放送の番組の途中からダビングを始めたときは、その二重放送の間は正しく動きません。CMがモノラル放送またはステレオ放送で、次に音声が入力されたときに正しく動きます。



- 次のようなときは二重放送のダビングはできません。そのままダビングすると、再生したときに、主/副音声の両方が混ざって聞こえます。「その他のダビング」方法でダビングしてください。(→67)
- 本機、または当社の自動CM早送り機能付きビデオで録画していないカセットを再生するとき
- 外部入力録画したカセットを再生するとき

VHS → DVDへダビングする(つづき)



■ふたをひらいたところ

マニュアルダビング

カセットに録画された番組をダビング開始時のテープの再生位置※1からDVD※2にダビングすることができます。

※1 録画モードを「FR」に設定し、時間設定を「切」にした場合は、テープの始端から終端まで全部をダビングできます。(詳しくは→右ページ)

※2 録画可能な録画用ディスク: **RAM -R -RW(V) +R**

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(→21)

DVD側:

- 録画可能なディスク(→4)を入れる。
- ディスクに十分な残量があることを確認しておく。
- R -RW(V) +R** VHS側の再生が二重放送の番組のときは、音声の設定が必要です。(詳しくは→65)

VHS側:

- ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。

1 **DVD/VHS 操作切換** を押して、DVD側に切り換える(→14)

2 DVD・VHSともに停止中に、**機能選択 VHS/DVD** を押す

- 機能選択画面が表示されます。

3 **△** **▽** で「ダビング」を選び、**決定** を押す

- ダビング設定画面が表示されます。

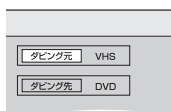
4 **ダビング方向を設定する**



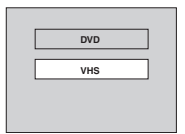
- ダビング元を「VHS」に設定します。
- 設定を変更しないときは、**▽** を押して、手順5に進んでください。

◆設定を変更する

- 1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、**▶** を押す
- 2 「ダビング元」が選ばれている状態で、**決定** を押す



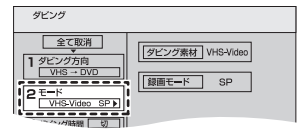
△ **▽** で「VHS」を選び、**決定** を押す
●ダビング元に「VHS」を設定すると、ダビング先には自動的に「DVD」が設定されます。



- 3 **◀** を押す
- 4 **▽** を押す

5 **録画モードを選ぶ**

- 設定を変更しないときは、**▽** を押して、手順6に進んでください。



◆設定を変更する

- 1 「モード」が選ばれている状態で、**▶** を押す
- 2 「録画モード」が選ばれている状態で、**決定** を押す
- 3 **△** **▽** で録画モードを選び、**決定** を押す
●「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」から選びます。
●FRモードについて(→右ページ)
- 4 **◀** を押す
- 5 **▽** を押す



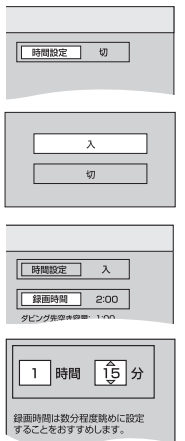
6 **ダビング時間を設定する**

- 設定を変更しないときは、**▽** を押して、手順7に進んでください。



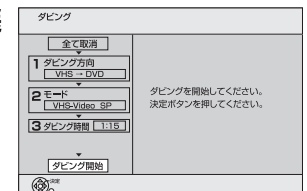
◆設定を変更する

- 1 「ダビング時間」が選ばれている状態で、**▶** を押す
- 2 「時間設定」が選ばれている状態で、**決定** を押す
△ **▽** で「入」または「切」を選び、**決定** を押す
●「切」に設定したときは、下記手順4に進んでください。
- 3 **▽** で「録画時間」を選び、**決定** を押す
◀ **▶** で「時間」または「分」を選んで**△** **▽** で設定し、**決定** を押す
●[1]～[10/0]も使えます。
●8時間を越えて設定することはできません。
- 4 **◀** を押す
- 5 **▽** を押す



7 「ダビング開始」が選ばれている状態で、**決定** を押す

- 確認画面が表示されます。



8 **◀** で「はい」を選び、**決定** を押す

- ダビングが開始されます。
- テープの終端になるか、またはディスクの残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

■ダビングを途中でやめる→ [リターン/戻る] を3秒以上押す

■FRモードについて

左ページ手順6で「時間設定」を「切」に設定した場合:

- ビデオカセットに録画されている部分だけすべてを(未記録部分は録画しません)、ディスクの空き容量を計算してディスクに収まるように、録画モードを自動的に設定します。
- ダビングを開始すると、ダビングが開始される前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。ダビングが開始されるまでに、時間がかかることがあります。ディスクの残量が足りなかった場合は、ダビングが中断されます。
- テープの頭出し信号を検出することにより、番組(タイトル)を分割して録画します。

左ページ手順6で「時間設定」を「入」に設定した場合:

- ビデオカセットのダビング開始点から設定した録画時間分だけを(未記録部分も録画します)、ディスクの空き容量を計算してディスクに収まるように、録画モードを自動的に設定します。
- 番組(タイトル)分割はしません。

■録画を一時停止する

- ➔ 1 [一時停止II]を押す
(DVDの録画が一時停止します)
- 2 [DVD/VHS操作切換]を押してVHS側に切り換えたあと、[一時停止II]を押す
(VHSの再生が一時停止します)

■録画をやめる

- ➔ 1 [停止■]を押す
(DVDの録画が停止します)
- 2 [DVD/VHS操作切換]を押してVHS側に切り換えたあと、[停止■]を押す
(VHSの再生が停止します)

“TP”チャンネルについて

(TP:ダビング入力チャンネル)

- DVD側の入力チャンネルが“TP”のときのみDVDへのダビングができます。
- “TP”チャンネルにしてカセットを再生すると、テレビ画面にはVHSの映像が映っています。
- VHS側が“DC”(→71)チャンネルのときは、DVD側で“TP”チャンネルを選ぶことはできません。

その他のダビング

カセットに録画された番組を見ながら、ダビングしたい部分を選んでDVD*にダビングすることができます。ダビングをやめるときは、[停止■]を押してください。

※録画可能な録画用ディスク: **RAM -R -RW(V) +R**

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - VHS側にダビングしたい番組が録画されたカセット、DVD側に録画可能なディスク(→4)を入れる。
 - VHS側を“DC”(→71)以外のチャンネルにする。(VHS側で“DC”チャンネルが選ばれていると、正しく操作できません)

1 [DVD/VHS操作切換]を押して、VHS側に切り換える(→14)

2 カセットのダビング開始点を探す

- 1 [再生▶]を押して、カセットの再生を始める
 - 二重放送などの番組のときは、再生時の音声(録音したい音声)を選んでおいてください。(→54)
- 2 [一時停止II]を押して、ダビングの開始点で静止画にする

3 [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える(→14)

4 “TP”チャンネルを選ぶ
チャンネル または を押す

- テレビにVHSの映像が表示されます。
- TPチャンネルについて(→右記)



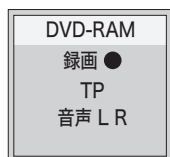
5 録画モード(→33)を選ぶ

録画モード を押す

6 録画を始める

録画 を押す

- DVDの録画とVHSの再生が同時に始まります。
- DVD側の録画とVHS側の再生を同時に一時停止したり、停止することはできません。



■S-VHS方式またはS-VHS ET方式で録画されたカセットを高画質でダビングする

ワンタッチ/マニュアル/その他のダビングを始める前に、DVD側の初期設定「S-VHSダビング設定」(→50)で「S-VHS再生」を選ぶ

「S-VHS再生」でダビング実行中



- S-VHSビデオと同じ方式で再生し、ダビングします。Y(輝度信号)の帯域が広いままダビングできるので、S-VHS本来の高画質を再現できます。
- 録画されたテープの状態によっては、十分な画質が得られない場合があります。このときは、「SQPB」を選んでください。ただしS-VHS本来の高画質にはなりません。
- 工場出荷時は、「S-VHS再生」にしていますので、通常はこのままお使いください。

お知らせ

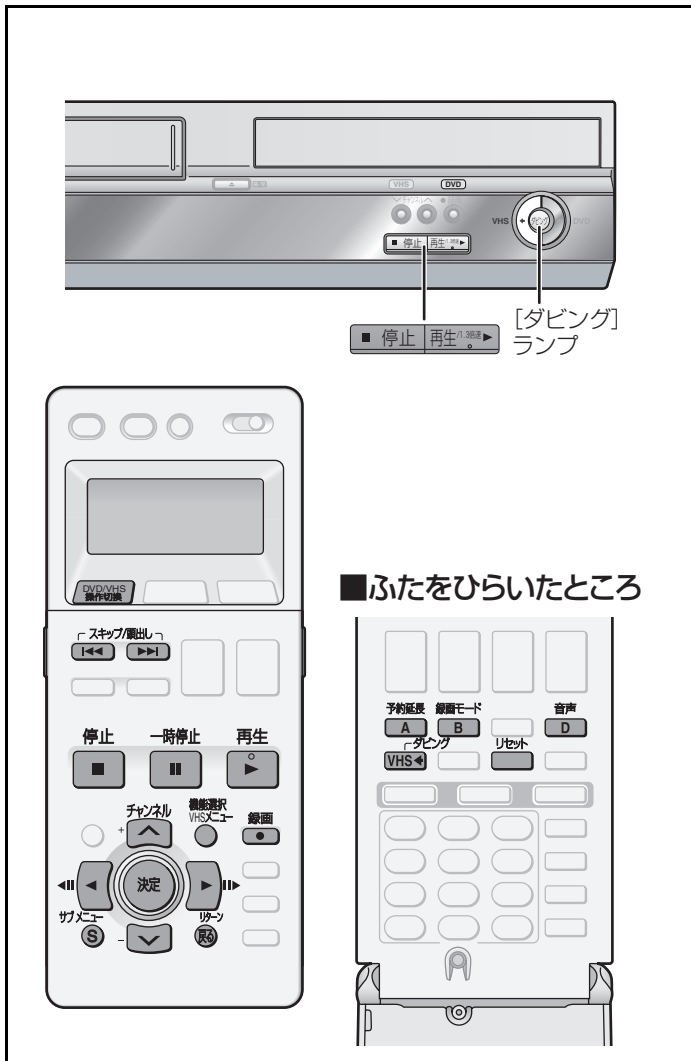
- DVD・VHSともに、予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(→40,60)
- コピー禁止処理がされているカセットを入れてダビングしようとする、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- カセットに5倍モード(→55)で録画された部分では、ディスクにダビングするとノイズが入る場合があります。
- ダビングが始まると、VHSメニュー「オンスクリーン」が「切」(→63)になります。

ワンタッチダビング時(→65):

- ダビングが開始・実行されない場合は、[ダビング]ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。

DVD-R、DVD-RW、+Rを他の機器で再生するには、ダビング後ファイナライズが必要です。(→47)

DVD → VHSへダビングする



■ふたをひらいたところ

- デジタル放送の番組をダビングすると、そのビデオカセットから再度、DVDにダビングすることはできません。(→7)
- コピー禁止処理がされているディスクはダビングすることはできません。多くのディスクは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、録画・録音できないようになっています。

ダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます

- [リターン/戻る] 3秒以上押しによるダビングの中止 (ワンタッチ/マニュアルダビング時)
- [停止■]によるダビングの中止 (ワンタッチダビング/その他のダビング時)

VHS側操作モード時(→14):

- [音声/D]によるVHS音声の切り換え(録画には影響ありません)
- [リセット]によるVHS側のテープカウンターリセット(→54)

頭出し信号の書き込みについて

DVDからVHSへのダビング時には、1つの番組(タイトル)ごとに頭出し信号が自動的に書き込まれます。

カセットへのダビング後は、[頭出し◀◀][頭出し▶▶]を使って番組を探すことができます。

- その他のダビング時は、頭出し信号は自動的に書き込まれません。頭出し信号を書き込みたい場合は、ダビング中、VHS側操作モード時(→14)に、書き込みたい位置でリモコンの[録画●]を押してください。

ワンタッチダビング

DVD※に録画された番組をビデオカセットにワンタッチ操作でダビングすることができます。

※ダビング可能な再生用ディスク:

RAM -R -RW(V) +R -RW(VR)

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(→21)

DVD側:

- ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。

VHS側:

- 録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- テープに十分な残量があることを確認しておく。(→54)
- 録画モードを選んでおく。(→55)

1 DVD/VHS 操作切換 を押して、DVD側に切り換える(→14)

2 ◆1枚のディスク全部をダビングするとき
DVDが停止状態であることを確認する

- 本体表示窓でDVD側の“再生”が点滅しているときは、続き再生メモリー機能が働いています。このときは、[停止■]を押して解除してください。(→28)

◆選んだ番組(タイトル)の先頭からディスクの最後までをダビングするとき

◆選んだプレイリストの先頭から最後のプレイリストまでをダビングするとき RAM -RW(VR)

再生 を押してダビングしたい番組(タイトル)を再生する、またはプレイリストを再生する(→45)

- [一時停止■]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。
- 8時間を超えるプレイリストはダビングできません。(複数のプレイリストをダビングする場合、8時間を超えたプレイリストとはばしてダビングされます)

3 VHS を約3秒以上(本体表示窓の“START”が点滅し終わるまで)押し続ける

- 本体の[ダビング]ランプが点灯します。
- 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。



- ディスクの再生が終わるか、またはテープの終端になったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

■ワンタッチダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます

- DVD側のオンスクリーン表示→[切](→51)
- VHS側の録画チャンネル表示→“DC”
- DVDの再生時の音声出力→ステレオ(L R)

■ダビングを途中でやめる⇒[停止■]を押す

- [リターン/戻る]を3秒以上押ししても、ダビングをやめることができます。

マニュアルダビング

DVD※に録画された複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせて、ビデオカセットにダビングすることができます。

※ダビング可能な再生用ディスク: **RAM -RW(VR)**

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - [DVD/VHS操作切換]を押して、DVD側に切り換える。(→14)

VHS側:

- 録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- テープに十分な残量があることを確認しておく。

1 停止中に、機能選択VHSメニューを押す

- 機能選択画面が表示されます。

2 機能選択画面で「ダビング」を選び、決定を押す

- ダビング設定画面が表示されます。

3 ダビング方向を設定する

- ダビング元を「DVD」に設定します。
- 設定を変更しないときは、[✓]を押して、手順4に進んでください。



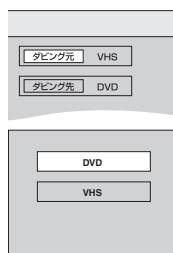
◆設定を変更する

1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す

[^][✓]で「DVD」を選び、[決定]を押す

- ダビング元に「DVD」を設定すると、ダビング先には自動的に「VHS」が設定されます。



3 [◀]を押す
4 [✓]を押す

4 録画モードを選ぶ

- 設定を変更しないときは、[✓]を押して、手順5に進んでください。

◆設定を変更する

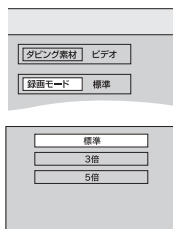
1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「録画モード」が選ばれている状態で、[決定]を押す

[^][✓]で録画モードを選び、[決定]を押す

- 「標準」、「3倍」、「5倍」から選びます。

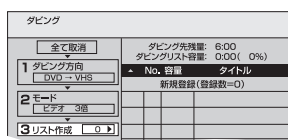
4 [◀]を押す
5 [✓]を押す



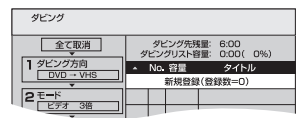
5 ダビングする番組(タイトル)やプレイリストを登録する(ダビングリスト作成)

- 登録済みのリストをそのままダビングするときは、[✓]を押して、手順6に進んでください。

1 「リスト作成」が選ばれている状態で、[▶]を押す



2 「新規登録(登録数=0)」が選ばれている状態で、[決定]を押す

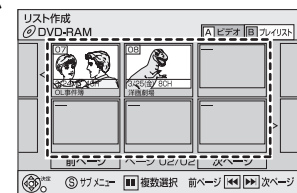


3 プレイリストを登録したい場合は、[サブメニュー]を押して、[決定]を押す

- 番組(タイトル)を登録するときは、[✓]を押して、下記手順4に進んでください。

- [予約延長/A]([A]ビデオ)または[録画モード/B]([B]プレイリスト)を押しても選べます。番組(タイトル)を登録するときは「[A]ビデオ」を選び、プレイリストを登録するときは「[B]プレイリスト」を選びます。

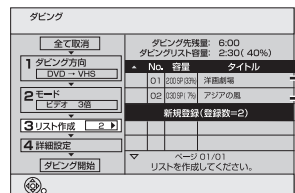
4 [^][✓][◀][▶]でダビングする番組(タイトル)やプレイリストを選び、[決定]を押す



- 上記手順2~4を繰り返すと、複数の番組(タイトル)やプレイリストをダビングリストに登録できます。(ダビングリストの画面表示と便利な機能:→70)

5 [◀]を押す

- [◀]を押す前に、“ダビングリスト容量”が“ダビング先残量”よりも小さいことを確認してください。



6 [✓]を押す

登録された番組

6 自動CM早送り(→32)の切/入を選ぶ

- 設定を変更しないときは、[✓]を押して、手順7に進んでください。

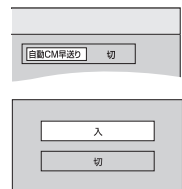
◆設定を変更する

1 「詳細設定」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「自動CM早送り」が選ばれている状態で、[決定]を押す

3 [^][✓]で「入」または「切」を選び、[決定]を押す

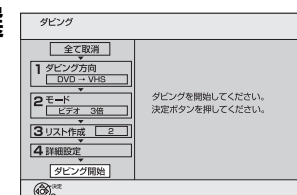
4 [◀]を押す
5 [✓]を押す



7 ダビングリストの作成が終わったら、

「ダビング開始」が選ばれている状態で、決定を押す

- 確認画面が表示されます。



8 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

- ダビングが開始されます。

■ダビングを途中でやめる

→[リターン/戻る]を3秒以上押す

DVD→VHSへダビングする(つづき)

ダビングリストの画面表示と便利な機能

リストの表示について

❗ : 静止画を含むもの(静止画部分はダビングされません)

☑ : 「1回だけ録画可能」の番組(→6)

ダビングリスト容量: ダビング先に記録される容量

●録画モードによって変化します。

■前後のページを表示する

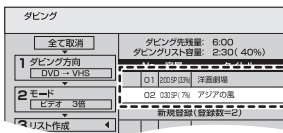
→ [◀][▶] (前ページ)または[▶▶] (次ページ)を押す
●[↶][↷][◀][▶]で“前ページ”または“次ページ”を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

■まとめて登録/消去する

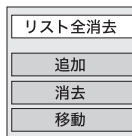
→ [↶][↷][◀][▶]で選び、[一時停止]を押す操作を繰り返す(複数選択)
●☑が表示されます。もう一度[一時停止]を押すと解除されます。
●ダビングリストには、タイトル番号の小さい順から登録されます。
●ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑が消えます。

■リストの項目を消去/追加/移動する

→ 1 [↶][↷]で編集したい項目を選び、
[サブメニュー]を押す
●サブメニュー画面が表示されます。



2 [↶][↷]で編集したい内容を選び、
[決定]を押す
リスト全消去:
リストに登録されている項目をすべて消去します。



追加:

選んだ項目の上に新しい項目を追加します。
「追加」を選んだときは、さらに[↶][↷][◀][▶]で追加する番組(タイトル)やプレイリストを選び、[決定]を押してください。

消去:

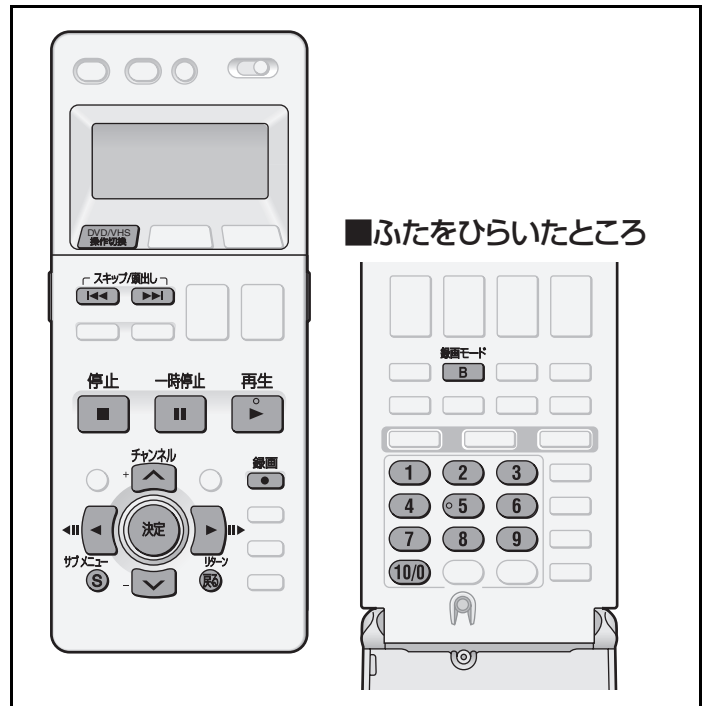
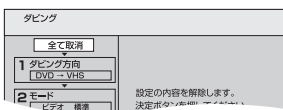
選んだ項目を消去します。
まとめて消去することもできます。(→上記)
「消去」を選んだときは、さらに[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。

移動:

選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。
「移動」を選んだときは、さらに[↶][↷]で移動先を選び、[決定]を押してください。

■以前に登録したモードなどの設定・登録されているリストを一度に取り消す

→ [↶]で「全て取消」を選び、
[決定]を押す
●確認画面が表示されます。
[◀]で「はい」を選び、
[決定]を押してください。
●リストは以下の場合にも消去されます。
・ダビング元で番組(タイトル)やプレイリストの消去をした場合
・ダビング元がDVD-RAMで、ディスクトレイを開けるか、電源を切った場合



■ふたをひらいたところ

DVDビデオ(ファイナライズ後のDVD-R、DVD-RW、+R、+RWを含む)をダビングする

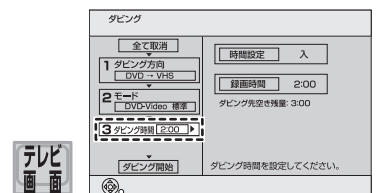
ディスクを再生しながら、再生している内容を設定した時間でビデオカセットに録画します。

- ダビング中に操作した動きや画面表示が、そのまま記録されます。
- 市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングすることはできません。
- DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CDなどはダビングできません。

●69ページ手順1～4のあとに操作します。

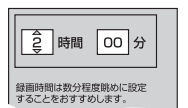
5 ダビング時間を設定する

●設定を変更しないときは、[↷]を押して、手順6に進んでください。



◆指定した時間だけダビングする

- 1 「ダビング時間」が選ばれている状態で、[▶]を押す
- 2 「時間設定」が選ばれている状態で、[決定]を押す
- 3 [↶][↷]で「入」を選び、[決定]を押す
- 4 [↶][↷]で「録画時間」を選び、
[決定]を押す
[◀][▶]で“時間”または“分”を選んで[↶][↷]で設定し、[決定]を押す
●再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたいタイトルより数分長めに設定してください。
●8時間を越えて設定することはできません。
●[1]～[10/0]も使えます。



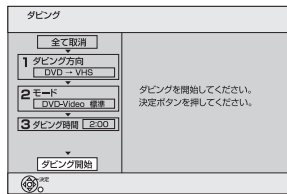
- 5 [◀]を押す
- 6 [↷]を押す

◆ディスク内の番組をすべてダビングする

- 1 「ダビング時間」が選ばれている状態で、[▶]を押す
- 2 「時間設定」が選ばれている状態で、[決定]を押す
- 3 [↶][↷]で「切」を選び、[決定]を押す
- 4 [◀]を押す
- 5 [↷]を押す

6 「ダビング開始」が選ばれている状態で、**決定**を押す

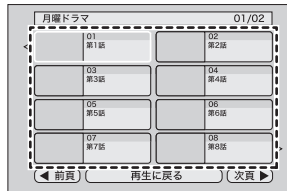
- 確認画面が表示されます。
[◀]で「はい」を選び、**決定**を押してください。
- ディスクのトップメニューが表示されます。「ファーストプレイ選択」(→47)で「タイトル1」に設定したディスクは、自動的に再生が始まります。



7 トップメニューが表示されたら、

⏪ ⏩ でダビングを始めたタイトルを選び、**決定**を押す

- 選んだタイトルから順に再生し、設定した時間まで録画します。
- ディスクの最後のタイトルの再生が終わったあとは、トップメニューを録画し続けます。ダビングをやめるときは、**停止**を押してください。



■ダビングを途中でやめる→**停止**を押す

- [リターン/戻る]を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

お知らせ

- 最初に右の画面が録画されます。
- ダビングの開始から終了までが1つの番組(タイトル)として記録されます。
- 自動的にトップメニューが表示されない場合や、再生が始まらないときは**再生▶**を押してください。
- 映像を見ながらダビングしたい部分を選んで、ダビングすることもできます。(→下記)



その他のダビング

DVDに録画された番組を見ながら、ダビングしたい部分を選んでビデオカセットにダビングすることができます。ダビングをやめるときは、**停止**を押してください。

- 準備**
- テレビに本機の画面を出す。(→21)
 - DVD側にダビングしたい番組が録画されたディスク、VHS側に録画可能なカセットを入れる。
 - DVD側を“TP”(→67)以外のチャンネルにする。(DVD側で“TP”チャンネルが選ばれていると、正しく操作できません)

- 1 **DVD/VHS 操作切換**を押して、DVD側に切り換える(→14)
- 2 ディスクのダビング開始点を探す
 - 1 [再生▶]を押して、DVDを再生する
 - 再生時の音声(録音したい音声)を選んでおいてください。(→31)
 - 2 [一時停止II]を押して、ダビングの開始点で静止画にする
- 3 **DVD/VHS 操作切換**を押して、VHS側に切り換える(→14)
- 4 “DC”チャンネルを選ぶ
チャンネル **DC** または **TV** を押す



- テレビにDVDの映像が表示されます。
- DCチャンネルについて(→右記)

5 カセットの録画開始点を探す

- 1 [再生▶]を押して、カセットを再生する
- 2 [一時停止II]を押して、録画の開始点で静止画にする
- 3 [録画●]を押して、録画の一時停止にする

6 録画モード(→55)を選ぶ

録画モード **B** を押す

7 録画を始める

一時停止 **II** を押す

- VHSの録画とDVDの再生が同時に始まります。
- 自動的にDVD側に切り換わります。
- VHS側の録画とDVD側の再生を同時に一時停止したり、停止することはできません。



■録画を一時停止する

- 1 [DVD/VHS操作切換]を押してVHS側に切り換えたあと、[一時停止II]を押す
(VHSの録画が一時停止します)
- 2 [DVD/VHS操作切換]を押してDVD側に切り換えたあと、[一時停止II]を押す
(DVDの再生が一時停止します)

■録画をやめる

- 1 [DVD/VHS操作切換]を押してVHS側に切り換えたあと、**停止**を押す
(VHSの録画が停止します)
- 2 [DVD/VHS操作切換]を押してDVD側に切り換えたあと、**停止**を押す
(DVDの再生が停止します)

“DC”チャンネルについて

(DC:ダビング入力チャンネル)

- VHS側の入力チャンネルが“DC”のときのみVHSへのダビングができます。
- “DC”チャンネルにしてディスクを再生すると、テレビ画面にはDVDの映像が映っています。
- DVD側が“TP”(→67)チャンネルのときは、VHS側で“DC”チャンネルを選ぶことはできません。

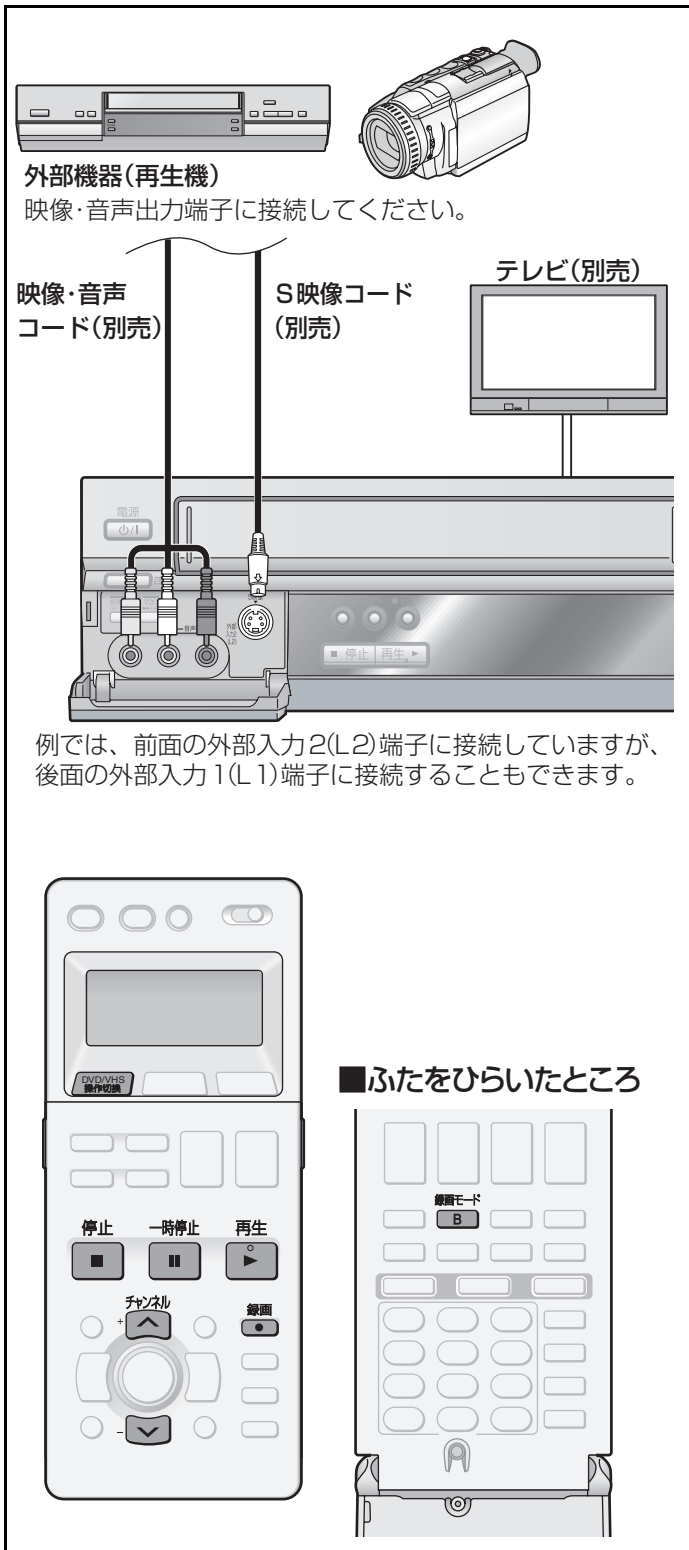
お知らせ

- DVD・VHSともに、予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(→40,60)
- コピー禁止処理がされているディスクを入れてダビングしようとする、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- ダビングが始まる、DVD側の初期設定「オンスクリーン表示[オート]」が「切」(→51)になります。

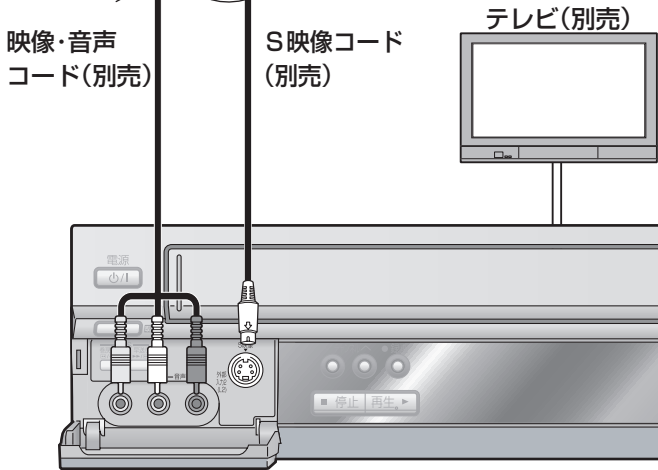
ワンタッチダビング時(→68):

- ダビングが開始・実行されない場合は、[ダビング]ランプが約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- 本体表示窓でDVD側の“再生”が点滅しているときは、続き再生メモリー機能(→28)によって、ディスクの再生開始位置が記憶されています。このときにダビングを開始すると、再生開始位置が含まれるタイトル(→42)の先頭からディスクの最後まででのダビングが実行されます。

他のビデオやビデオカメラからダビングする



外部機器(再生機)
映像・音声出力端子に接続してください。



例では、前面の外部入力2(L2)端子に接続していますが、後面の外部入力1(L1)端子に接続することもできます。

■ふたをひらいたところ

■外部機器の音声出力端子がモノラルのとき

- 本機前面の外部入力2(L2)端子に接続するときは、音声は[左/モノ]に接続してください。
- 本機後面の外部入力1(L1)端子に接続するときは、ステレオ ↔ モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

■S映像入力について

- S映像コードからの入力は、S1/S2規格(→80)に対応しています。
- VHS側は、S映像コードからの入力はできますが、S-VHS方式では録画できません。(VHS方式で録画されます)

■二重放送の番組を録画するときは、録画前に音声の設定が必要です

- **RAM** : 主音声と副音声を同時に記録します。本機で再生したとき音声を正しく切り換えられるように、接続する機器側で、主音声と副音声を同時に出力する設定にしてください。
 - **-R -RW(V) +R** : 主音声と副音声どちらか一方のみしか記録できません。(詳しくは →10) 接続する機器側で、主音声または副音声のどちらか一方のみを出力する設定にしてください。両方の音声を出力させても再生時に音声を選ぶことはできません。
- 接続した機器で音声の設定ができない場合
DVD-RAMを使用するか、接続の変更が必要です。(→41)

お知らせ

- 誤動作防止のため、録画後は接続した機器の設定を元に戻しておくことをおすすめします。

- 準備** ●[DVD/VHS操作切換]を押して、録画する側に切り換える。(→14)
●録画可能なディスク(→4)、またはカセットを入れる。

1 外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ

チャンネル
↑ または ↓ を押す

- L1 : 外部入力1端子(後面)に接続したとき
- L2 : 外部入力2端子(前面)に接続したとき

2 録画開始点を探す

(DVD側で録画する場合、この操作は不要です)

- 1 [再生▶]を押して、カセットを再生する
- 2 [一時停止⏸]を押して、録画の開始点で静止画にする
- 3 [録画●]を押して、録画の一時停止にする

3 録画モード(→33,55)を選ぶ

録画モード
B を数回押す

4 再生機で、再生を始める

5 録画を始める

- ◆DVD側で録画するとき
録画を始めた場面、録画 ● を押す
- ◆VHS側で録画するとき
録画を始めた場面、一時停止 ⏸ を押す

■本機を再生機として使うとき

- テレビ画面にオンスクリーン表示を出さない設定(→51,63)にすると、不要な文字や表示が出なくなります。

■テレビの近くで操作するとき

- 再生機をテレビに近付けると、黒い帯状のノイズが録画されてしまうことがあります。このときはできるだけ離してください。


■録画をやめる → [停止■]を押す

- 再生機も停止させてください。

お知らせ

- DVD側で録画する場合、[録画●]を押すかわりに“ぴったり録画”(→34)を使えば、ビデオテープ1本(約1時間～約8時間)の内容を、できるだけ高画質で4.7GBディスク1枚にぴったり収めることができます。
- 市販のビデオやDVDソフトのほとんどは、録画禁止処理がされており、録画できません。

こんな表示がでたら

テレビ画面	調べるところ・原因・対策	ページ
異常が発生しました。決定ボタンを押してください。	●[決定]を押すと、復旧動作を行います。復旧動作中(本体表示窓に“SLF CHECK”表示中)は操作できません。	—
ディスクが入っていません。	●ディスクが裏返しになっていませんか。	27
記録できないディスクが入っています。	●DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R以外のディスクが入っています。	4
このディスクは規定のフォーマットがされていません。	●ファイナライズ後のDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rが入っています。	4
	●DVD-RW(VR方式)が入っています。	4
	●フォーマットされていないDVD-RAM、DVD-RWが入っています。	47
ディスクがいっぱいで記録できません。	●不要な番組(タイトル)を消去してください。 RAM +RW(V) ●新しいディスクを使ってください。	43
番組数がいっぱいで記録できません。		—
ダビング先の容量が足りません。		—
録画を正常に終了できませんでした。	●録画禁止の番組のため、録画できません。 ●ディスクの残量がなくなっていないですか。	—
ディスクへの書き込みができません。	●ディスクに傷や汚れがありませんか。	8
ディスクを確認してください。		
フォーマットできません。		
ディスクを交換してください。	●ディスクに異常が発生した恐れがあります。 【▲開/閉】を押して、ディスクを取り出し(電源が切れます)、ディスクに傷や汚れがないか確認してください。	8
予約チャンネルを合わせてください。	●ガイドチャンネルが正しく設定されていないため、Gコード予約ができません。	24
	●ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。	—
再生できません。	●非対応のディスク(映像方式が異なるディスクなど)が入っています。	4
ダビングできませんでした。	●ディスク、または光ピックアップ*が汚れています。 *ディスクの信号を読みとるための本機に内蔵されているレンズ。	8,12
コピー禁止信号を検出したため、ダビングを中断しました。	●コピー禁止処理がされたカセットをワンタッチダビングしようとしています。 ●コピー禁止処理がされたカセットをマニュアルダビングしようとしています。	65
		66
コピーガードがかかっています 記録できません	●コピー禁止処理がされたディスクをマニュアルダビングしようとしています。	69
1回だけ録画可能な番組はダビングできません。	●「1回だけ録画可能」な番組をダビングできないディスクへダビングしようとしています。	7

本機の設置中や使用中に異常を検出すると、本体表示窓に下記のメッセージやサービス番号を表示します。

本体表示窓	調べるところ・原因・対策	ページ
NO READ	●ディスクに汚れや傷が付いているため、録画や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー(別売)(→80)での作業が終了したときにも、左記のメッセージが表示されることがあります。【▲開/閉】を押してクリーナーを取り出してください。	8 —
SLF CHECK	●停電または、動作中に電源コードが抜けたため、復旧動作中です。表示が消えると使えます。	—
UNS PPORT	●本機で再生や録画できないディスクが入っています。	4
HAR D ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
PROG FULL	●すでに16件の予約がされています。不要な予約を消してください。	39,60
U11	●ビデオヘッドが汚れています。クリーニングしてください。	53
U30	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。 リモコン側のモードを本体に合わせてください。	25
U59	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、後面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	85
U99	●本体が正常に動作しません。本体の[電源O/I]を押し、電源を切/入してください。	—
H□□またはF□□	●異常と思われます。(H、F以降の数字は、本機の状態によって変わります) 「故障かな!?’の項目に従って点検してください。それでもサービス番号が消えないときは、以下の操作をしてください。 1 電源プラグをコンセントから抜き、数秒後再び差し込む 2 [DVD/VHS電源]を押し、電源を入れる(直ることがあります) 上記の操作をしてもサービス番号が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、HO1」などとお知らせください。	86
UNFORMAT	●フォーマット(初期化)されていないDVD-RAM、DVD-RW、または他の機器で記録されたDVD-Video方式のDVD-RWが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	47
PLEASE WAIT	●終了処理中です。“BYE”が表示されたあと、電源が切れます。 ●初期設定の「クイックスタート」を「入」に設定している場合、停電または動作中に電源コードが抜けたための、復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	— —

Q&A(よくあるご質問)

本機の操作で疑問に思われることがあれば、以下の項目を参考にしてください。

	Q(質問)	A(回答)	ページ
設置 ／ 接続	転居先で使えるか？	●本機は日本国内専用です。東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使えません。	—
	モノラルテレビと接続したいが？	●ステレオ←→モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。	80
	ビデオ入力(映像・音声)端子がないテレビと接続したいが？	●本機とは接続できません。	—
	ハイビジョンテレビに接続できるか？	●できます。特にDVDの場合は、高画質で楽しむために、DVD対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。ハイビジョン方式(MUSE)専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。	18
	S映像入力端子、コンポーネントビデオ入力端子、D映像入力端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらよいか？	●DVD側の映像のみをお楽しみいただく場合は、コンポーネントビデオ入力端子またはD映像端子に接続することをおすすめします。 コンポーネントビデオ入力端子またはD映像端子に接続すると、DVDに記録されたままの状態では信号を出力するため、S映像入力端子に接続したときよりも、さらに忠実に色を再現します。	18
	プログレッシブ映像を楽しむには、どんなテレビが必要か？	●当社製のD2、D3、D4のいずれかの入力端子のあるテレビであれば、対応しています。テレビの説明書をご覧ください。他社製については、メーカーの問い合わせ窓口にご確認ください。	—
	ドルビーデジタルやDTSのマルチチャンネル音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か？	●本機だけではマルチチャンネル音声を楽しめません。光デジタルケーブルでドルビーデジタルやDTSのデコーダー搭載アンプへ接続してください。 ●本機ではDVDオーディオ再生が2チャンネルのため、DVDオーディオはマルチチャンネル音声中では楽しめません。	19 —
	ヘッドホンやスピーカーを直接つなげるか？	●本機には直接接続できません。アンプなどをとおして接続してください。	19
地上デジタル・BS・CS放送	地上デジタルやCS、BSの放送を見ることができると、また、それらの放送を録画できるか？	●本機だけでは地上デジタルやBS、CSの放送を見ることはできません。地上デジタル・BS/CSデジタルのチューナーなどを外部入力に接続し、チューナーを接続した外部入力チャンネルを選ぶと、放送を見たり録画することができます。 ●チューナーのIrシステムがDVDレコーダーに対応している場合は、Irシステムを使って録画することができます。接続した機器の説明書をご確認ください。 ●有料放送を見るには、放送会社との(複数のBS放送を見るには放送局ごとに)受信契約が必要な場合があります。 ●デジタル放送には、著作権保護のため、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられます。このような映像を録画するには、「CPRM」対応のDVD-RAMが必要です。ディスクのジャケットなどで確認してください。また、録画したこれらの映像は複製できません。 ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送は、DVD-RAM 以外には録画できません。(CPRM対応のDVD-RWやDVD-Rにも録画できません) ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送は、カセットにも録画できます。 ●デジタルハイビジョン画質での録画はできません。	1741, 61 1741, 61 1741, 61 6 6 —
	BSアナログのハイビジョン放送は録画できるか？	●M-Nコンバーター内蔵の機器を本機の外部入力(L1またはL2)に接続し、外部入力を接続したチャンネルを選ぶと録画できます。ただし、ハイビジョン画質では録画できません。	—
	両面のDVD-RAMは使えるか？	●使用できますが、両面にまたがった使いかたはできません。(自動で裏返すことはできません)	27, 34
ディスク	DVD-R、DVD-RW、+R、+RWは使えるか？	●使用できます。 ・DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rは録画・再生できます。 ・DVD-RW(VR方式)、+RWは再生のみとなります。 ・高速記録対応のDVD-R、DVD-RW、+Rも使用できます。	4
	CD-RやCD-RWは使えるか？	●CD-DA、ビデオCD、MP3や写真(JPEG/TIFF)のフォーマットで記録されたCD-RやCD-RWが再生できます。MP3や写真(JPEG/TIFF)は、1枚のディスクにルートを含む最大99フォルダー(グループ)まで表示され、最大999個のファイル(トラック)が再生できます。 ●本機はCD-RやCD-RWには記録できません。	29, 30 —
	海外で買ったDVDビデオやビデオCDは再生できるか？	●映像方式がNTSCであれば再生できます。ただし、DVDビデオは、リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	4
	リージョン番号がないDVDビデオは再生できるか？	●DVDビデオのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていないDVDビデオは再生できません。	—

	Q (質問)	A (回答)	ページ
カセット	S VHSまたは D VHSカセットを使って、録画・再生できるか？	<ul style="list-style-type: none"> ●できます。ただし、SVHS、DVHSカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。 ●S-VHS方式で録画されたカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。デジタル(D-VHS)方式で録画されたDVHSカセットは再生できません。 	55 52
	S VHS ^C または V HS ^C カセットを使って、録画・再生できるか？	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットアダプター(別売)を使えばできます。ただし、SVHS^Cカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。 ●S-VHS方式で録画されたSVHS^Cカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。 	— —
	海外で録画したカセットを再生できるか？	●同じNTSC方式のSP(標準)、またはEP(3倍)で録画されたものならできます。	—
	本機の5倍モードで録画したカセットを他のビデオで再生できるか？	●できません。	55
DVD録画・録音	市販のビデオやDVDから録画できるか？	●市販されているほとんどのDVDやビデオタイトルは、録画禁止処理がされています。その場合は録画できません。	65, 68
	本機で録画したDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)や+Rは他の機器で再生できるか？	●本機で録画したDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)や+Rを本機でファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できます(ただし、すべての機器で再生保証するものではありません)。また、記録状態によって再生できない場合があります。	47
	本機でデジタル信号のまま録音できるか？	●できません。本機のデジタル音声端子は出力のみです。	—
	本機からデジタル信号のままMDなどに録音できるか？	<ul style="list-style-type: none"> ●できます(PCM)。ただし、DVDの音声を録音する場合、初期設定の「デジタル出力」を以下のように設定してください。 「PCMダウンサンプリング変換」:[入] 「Dolby Digital」 : [PCM] 「DTS」 : [PCM] ただし、ディスクがデジタル録音を禁止していないことと、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ●MP3信号は録音できません。 	50 —
	録画中、二重放送の音声を切り換えて聞くことはできるか？	<ul style="list-style-type: none"> ●DVD-RAMに録画中は[音声/D]で切り換えられます。(録音される音声に影響はありません) ●DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rがディスクトレイにあるときは切り換えできません。DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rの音声は録画する前に初期設定「二重放送音声記録」で切り換えておいてください。 	31 50
VHS録画・録音	録画中に、ステレオ放送の左または右音声のみ(2カ国語放送の主または副音声のみ)に切り換えて聞くことはできるか？	●できます。[音声/D]で聞きたい音声を選んでください。	54
	ステレオ放送の左または右音声のみ(2カ国語放送の主または副音声のみ)を録音できるか？	●できません。	—
	VHF/UHF放送の録画中に、テレビでBS放送を見ることはできるか？	●BSチューナー内蔵テレビであれば、見ることができます。	—
予約録画	予約録画は予約した順番に行われるのか？	●予約内容の日付・時刻順に行われます。	—
	予約録画の待機中に、他のディスクやカセットを見ることができるか？ またはディスクやカセットを入れ替えることができるか？	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクやカセットを他のものに入れ替えて再生するときなど、予約録画の待機状態を解除しないとできない場合があります。 ●DVDの予約待機中でもDVD-RAMの再生、VHSの再生・録画ができます。 ●VHSの予約待機中でもDVDの再生・録画ができます。 	40, 60 36 57
	予約録画開始時、テレビの電源は入れていなくてもいいのか？	<ul style="list-style-type: none"> ●本機だけで予約録画する場合は、入れなくてもかまいません。 ●テレビのチューナーを使ってBS番組などを予約録画する場合、予約録画中は電源を入れておく必要があります。 	— 41, 61

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(→87)にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません
<ul style="list-style-type: none"> ●周期的なディスクの回転音がある。(ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります) ●早送り/早戻し(VHSでは巻き戻し再生)すると映像が乱れる。 ●気象条件が悪いため、受信映像が乱れる。 ●BS/CS放送の一時的な休止による受信障害。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントから外れている。 ●予約録画の待機中になっている。 ●“U59”点灯時は本体内部温度が高くなっています。“U59”が消えるまで待ってください。 	— 36,57 73
	自動的に電源が切れた	<ul style="list-style-type: none"> ●初期設定の「自動電源[切]」が「2H」または「6H」になっている。(不要な電力の消費をおさえます) ●各種安全装置が働いていることがあります。[DVD/VHS電源]を押し、電源を入れてください。 	49 —
テレビ画面や映像	本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった	●分配器で、テレビと本機に電波を分配したためです。プースター(市販品)などを使うと改善されることがあります。(効果がなければ、お買い上げの販売店にご相談ください)	—
	映像が出ない 映像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●プログレッシブ映像に対応していないテレビに接続し、プログレッシブ映像を出力する設定をしている。本体DVD側の[■停止]と[→DVD]を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。 ●テレビのハイビジョン方式(MUSE)の端子に接続すると、画面が乱れたり映らないことがあります。 	16,21 — —
	画面の横縦比が4:3に指定された	●テレビ側の画面モードを確認してください。	—
	映像が、左右方向に引き伸ばされる 画面サイズがおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ●テレビの画面モードなどを使って調節してください。 ●調節できないテレビの場合、再生設定の「プログレッシブ」を「切」にしてください。 ●初期設定の「接続するTV」、「DVD-Video」や「DVD-RAM」、「ワイドモード」の設定を確認してください。 	32 51,49
	再生時の映像に残像が多い	●再生設定の「MPEG-DNR」を「切」にしてください。	32
	プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時に、映像の一部が瞬間的に二重にぶれて見える	●映像ソフトそのものの編集方法や、素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。再生設定の「プログレッシブ」を「切」にしてください。	32
	画質を調整しても映像が変わらない	●映像によっては効果が得られない場合があります。	—
	テレビにVHS側の画面が出ない	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。	16,21
	画面メッセージが出ない	●初期設定の「オンスクリーン表示[オート]」を「切」にしている。	51
	ブルーバック(青い画面)にならない	●初期設定の「ブルーバック」を「入」にしていない。	51
	地上デジタルやBS、CS放送が映らない 有料番組やハイビジョン放送が見られない	<ul style="list-style-type: none"> ●接続を確認してください。WOWOWなどは、各放送局と契約が必要です。 ●本機ではハイビジョン放送は見られません。 	16,17 —
	ハウリング(ピー)音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—
ボタン操作	リモコンが働かない 本機が操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が消耗している。(リモコン表示窓は点灯していても、操作できないときがあります) ●本体のリモコン受信部に向けて操作していない。 ●リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがある。 ●受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たっていると、操作できない場合があります。 ●予約録画の待機中になっている。 ●本体とリモコンモードが合っていない。 ●リモコン側のモードを本体に合わせてください。 ●電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。 	13 13 13 13 36,57 25
	テレビが操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●メーカー番号が合っていない。 ●電池を交換すると、メーカー番号を合わせ直す必要がある場合があります。 	25
	操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●各種安全装置が働いていることがあります。 ●DVD部の操作ができない場合: 1 本体の[電源o/I]を押し、電源を切る ●電源が切れない場合は、約10秒間押し続けると強制的に切れます。(または、電源プラグをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む) 2 本体の[電源o/I]を押し、電源を入れる 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部操作ができない場合があります。 ●操作モードが操作したい側(DVD側またはVHS側)に切り換えられているか、確認してください。 	— 14
	ディスク・カセットが取り出せない	<ul style="list-style-type: none"> ●予約録画の待機中、または実行中になっている。 ●録画中になっている。 ●上記のいずれでもない場合、ディスクトレイは電源「切」状態で本体DVD側の[■停止]とチャンネル[へ]を同時に約5秒以上押し続けたままにすると開きます。ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。 	36,57 33,55 —
	起動が遅い	<ul style="list-style-type: none"> ●「クイックスタート」が「入」になっていない。 ●「クイックスタート」が「入」になっていても、以下のような場合は起動に時間がかかります。 ・時計が設定されていない場合 ・停電直後や電源コードを差した直後 ●午前4時から数分間は、本機のシステムメンテナンスのため、起動に時間がかかります。 	49 — —
表示	時刻表示が“0:00”で点滅している	●時刻が設定されていない。	26
	表示が暗い	●初期設定の「FLディマー」で明るさを変えてください。	51

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
表示	録画や再生時の経過時間が実際よりも少なく表示される	●録画や再生時の時間表示は、映像信号を基準に1秒を0.999秒(29.97フレーム)としており、実際の録画時間より若干短くなりますが、実際の録画には影響ありません。 (例:1時間番組の時間表示は約59分56秒となります)	—
	残量表示が使用した量に比べて少なくなったり多くなったりするMP3の再生時間が実際と違う	●残量表示は実際より増減することがあります。 ●DVD-R、+Rは番組(タイトル)を消去しても残量は増えません。 ●DVD-RW(DVD-Video方式)は、最後に録画した番組(タイトル)を消去したときのみ残量が増えます。 ●DVD-R、+Rへの録画や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。 ●早送り/早戻しすると、実際の時間どおり表示されないことがあります。	— — 43 — —
	VHSのテープカウンター表示の値が動かない	●テープの未記録部分では、値は動かずに秒表示の部分が下記のようになります。  汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、上図のような表示になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
本体	ディスク・カセットが入らない	●電源プラグがコンセントから外れている。 ●正しく入れていない。	— 27,52
DVD再生	再生が始まらない、またはすぐに停止する	●ディスクを正しく入れていない(裏表が逆になっているなど)。またはディスクが汚れている。 ●本機で使えないディスク、未記録のDVD-RAM、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、DVD-RW(VR方式)や+Rが入っている。 ●DVD-RAMにEP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーで再生できないことがあります。この場合は、EP(6H)モードで録画してください。	8,27 4,5 50
	映像や音声が一瞬止まる	●プレイリストのチャプターのつなぎ目を再生すると起きます。	—
	DVDビデオを再生できない	●DVDで視聴制限が設定されている。(初期設定の「視聴制限」を変更してください)	49
	音声言語や字幕言語が切り換えられない	●ディスクに複数の言語が収録されていない。 ●再生設定の「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	— 27
	字幕が出ない	●ディスクに字幕が収録されていない。 ●再生設定の「字幕情報」が「入」になっていない。	— 32
	アングルを切り換えられない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所以外では切り換わりません。	—
	視聴制限の暗証番号を忘れた視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。 [DVD/VHS操作切換]を押してDVD側に切り換え、[▲開/閉]を押してトレイが開いている状態で、本体DVD側の【●録画】と【再生▶】を同時に5秒以上押しと戻ります。(本体表示窓に“INIT”が表示)	—
	早見再生ができない	●音声ドルビーデジタル以外の場合は動きません。 ●録画モードが“XP”または“FR”での録画中は動きません。 ●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。	— — —
	自動CM早送り再生が働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。 ●早見再生中は動きません。 ●最大49個働きます。それを超えた場合は動きません。	— — —
	続き再生メモリー機能が働かない	●本体表示窓の“再生”が点滅していないときは動きません。 ●記憶した位置は、電源を切ったりディスクトレイを開けると解除されます。プレイリストの場合は、番組(タイトル)やプレイリストを編集したときも解除されます。	28 28
DVD録画	録画できない	●ディスクが入っていない。または録画できないディスクが入っている。 ●ディスクやカートリッジにプロテクトが設定されている。 ●録画制限のある番組を録画しようとした。 ●ディスク残量がない場合や、番組(タイトル)数が最大数になっている場合は録画できません。(不要な番組を消去するか、新しいディスクを使う) ●フォーマットされていないDVD-RAM、DVD-RWが入っている。 ●ファイナライズ後のDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+RまたはDVD-RW(VR方式)には録画できません。DVD-RWはフォーマットすると、繰り返し録画できます。 ●ディスクの出し入れや電源の切/入を約50回以上繰り返すと、録画や編集ができなくなることがあります。 ●本機で録画したDVD-Rは、他の当社製DVDレコーダーで追記できない場合があります。	4 46 6 43 47 47 — —
	録画した番組(タイトル)の一部、またはすべてが消えた	●録画や編集中に停電になったり電源コードを抜いたりした場合、番組が消失したり、ディスクが使えなくなる場合があります。消失した番組内容やディスクは補償できません。フォーマット([RAM] [RW(V)])するか、新しいディスクを使ってください。	47
	音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音がおかしい、小さい	●接続や初期設定「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切替なども確かめてください。 ●正しい音声を選んでいない。[音声/D]を押して、正しい音声を選んでください。 ●ディスクによってはサラウンドの効果が出にくいものや、出ないものがあります。以下の場合には再生設定「サラウンド」を切ってください。 ・カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクの場合 ・二重放送の番組(タイトル)を再生する場合 ●ディスク側で音声の出力方法が制限されている。 マルチチャンネルのディスクには、ダウンミックスが禁止されているため、本機では正常に再生できないものがあります。ディスクのジャケットなどを確認してください。DVD-A	16~ 19,50 31 32 —

故障かな!?(つづき)

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
DVD音声	音声切り換えられない	<ul style="list-style-type: none"> DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rは、音声の切り換えができません。音声は二重放送の番組を録画するときは、録画前に初期設定「二重放送音声記録」で選べます。 光デジタルケーブルでアンプと接続しているとき、初期設定「Dolby Digital」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。 ディスク制作者の意図により音声切り換えられないディスクもあります。 	50 50 —
	番組(タイトル)を消去しても残量が増えない	<ul style="list-style-type: none"> DVD-Rや+Rは、消去しても残量は増えません。 DVD-RW(DVD-Video)方式は、最後に録画した番組(タイトル)を消去したときのみ残量が増えます。途中の番組(タイトル)を消去しても残量は増えません。 	— —
DVD編集・整理	フォーマットできない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが汚れている場合は、専用クリーナーできれいにふいてからフォーマットしてください。 フォーマットできないディスクは、本機では使えない場合があります。 	8 —
	チャプターが作成できない 部分消去のイン点やアウト点が設定できない	<ul style="list-style-type: none"> 作成したチャプター情報は、電源を切るときまたはディスクを取り出すときなどにディスクに書き込まれるため、停電などが発生すると記録されません。 イン点とアウト点の間が短い場合や、イン点がアウト点の後ろにある場合は設定できません。 静止画部分では作成できません。 	— — —
	チャプターが消去できない	<ul style="list-style-type: none"> チャプターの範囲が小さくて消去できない場合は、「チャプター結合」でチャプター範囲を大きくすると消去できます。 	43
	プレイリストが作成できない	<ul style="list-style-type: none"> 番組(タイトル)が静止画を含む場合は、プレイリストの編集元としてすべてのチャプターを一度に選ぶことはできません。個々のチャプターは選べます。 	44
	再生画面がブルーバックになる	<ul style="list-style-type: none"> VHSメニューの「オンスクリーン」を「切」にしている。 	63
VHS表示	再生画面がブルーバックになる	<ul style="list-style-type: none"> テープの未記録部分、または記録状態の悪い部分を再生している。 汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 	— —
	再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 他のテレビ方式(PAL、SECAMなど)で録画されたカセットは再生できません。 	—
VHS再生	再生画面がチラチラする	<ul style="list-style-type: none"> ビデオヘッドが汚れている。 テープが古い、またはいたんでいる。 	53 11
	再生画面にノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> 本機以外の機器で3倍/5倍モードを使って録画されたテープを再生した場合は、テープによっては画面にノイズが出る場合があります。保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。 	—
	録画できない	<ul style="list-style-type: none"> カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている。 カセットの誤消去防止用つまみが「OFF」になっている。 	55 55
VHS録画	テレビ番組が録画できない	<ul style="list-style-type: none"> 録画したい番組のチャンネルを選んでいない。 	55
VHS音声	聞きたい音声がかた聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> 正しい音声を選んでいない。 	54
	音声がかたステレオではない	<ul style="list-style-type: none"> ステレオ音声を選んでいない。 	54
	ステレオ音声がブツブツと聞こえる	<ul style="list-style-type: none"> トラッキングがずれている。 再生中のテープに傷などが付いている。 	53 11
DVD・VHS予約録画	予約録画が正しくできない Gコード予約ができない	<ul style="list-style-type: none"> 予約内容(予約チャンネルや開始・終了時刻など)が間違っている。 DVD側初期設定「クイックスタート」が「入」に設定されているとき、電源を入れてすぐ録画を開始した場合は、数秒間は録画を停止できません。 予約録画の待機状態になっていない場合は、[タイマー切/入]を押して、「⊕」を点灯させてください。 予約録画の時間帯が重なっている。 ガイドチャンネルが正しく設定されていない。 同じガイドチャンネルが複数設定されている。不要なほうを削除してください。 時刻が合っていない。 	39.60 40.60 — 24 24 26
	[停止]を押しても、予約録画が終わらない	<ul style="list-style-type: none"> 予約録画実行中は[タイマー切/入]を押してください。 DVD側初期設定「クイックスタート」が「入」に設定されているとき、電源を入れてすぐ録画を開始した場合は、数秒間は録画を停止できません。 	— 49
	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	<ul style="list-style-type: none"> 毎日・毎週予約のときは消えません。 	—
	予約録画中の映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> 予約録画は電源の切/入にかかわらず実行されます。予約録画の内容を確認するには、電源を「入」にしてください。 	—
	ビデオカセットからディスクにダビングできない ディスクからビデオカセットにダビングできない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクやカートリッジにプロテクトが設定されている。 「つめ」の折れたカセットが入っている。 市販されているビデオソフトやDVDソフト(レンタルビデオ、レンタルDVDも含む)の多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。コピー禁止処理された映像は正しく録画・録音できません。 1回だけ録画可能な番組がダビングされたビデオカセットの場合は、再度、DVD-RAMにダビングできません。 機能選択画面、予約一覧画面、VHSメニュー画面などが表示されているときは、ダビングできません。 	46 55 — 7 — —
ダビング・外部入力	DVD-Rでディスクの回転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> DVD-Rへの録画時は、通常のディスク回転音より音が大きい場合があります。 	—
	編集後の音声レベルがDVD側とVHS側で合っていない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクによっては音声レベルが合わない場合があります。会話など、ある特定部分の音声レベルが小さく、または大きく設定されている場合は、ビデオカセットに録画したときには音が大きく、または小さく記録されるといった現象が起こることがあります。 	—
	黒い帯状のノイズが録画された	<ul style="list-style-type: none"> 再生機がテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。再生機をテレビから離してください。 	72
	外部機器から録画・録音できない	<ul style="list-style-type: none"> 正しく接続していない。 再生機を接続した外部入力チャンネル「L1」または「L2」を選んでいない。 	72 72

用語解説

サムネイル

複数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。

1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくなります。

ダウンミックス

ディスクに収録されたマルチチャンネル(サラウンド)の音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。

DVDオーディオには、ダウンミックスが禁止されたディスクがあります。ダウンミックスが禁止された曲は、本機では正常に再生できません。

デコーダー

DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

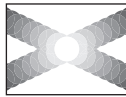
パン&スキャン/レターボックス

DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面(画面の横縦比が16:9)を前提に制作されているため、従来のサイズ(横縦比が4:3)のテレビに映し出そうとすると、16:9の映像が4:3に収まらなくなります。

4:3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

●パン&スキャン

映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。



●レターボックス

画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を映し出します。



ファイナライズ

録音・録画されたCD-R、CD-RWやDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理すること。本機ではDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rのファイナライズが可能です。

DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rをファイナライズすると、録画や編集ができなくなります。DVD-RWはフォーマットすると、繰り返し録画できます。

フィルム/ビデオ素材

一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

●フィルム素材

フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。(映画撮影で使われるフィルムには、24コマ/秒で映像が記録されています)

●ビデオ素材

映像情報が60フィールド/秒で記録されているもの。

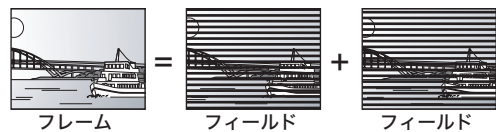
フォーマット

録画前のDVD-RAMなどを録画機器で録画できるように処理することです。初期化ともいいます。

本機ではDVD-RAM、DVD-RW(DVD-Video方式)のフォーマットができます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。



- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質はよくなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画質は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

プログレッシブ/インターレース

従来の映像信号(NTSC)は525i(i: インターレース=飛び越し走査)といわれるのに対し、その525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p(p: プログレッシブ=順次走査)といいます。プログレッシブでは、DVDソフト本来の高精細映像を再現できます。プログレッシブ映像を楽しむには、対応テレビが必要です。

プロテクト

記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

Bitstream(ビットストリーム)

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1チャンネルなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

CPRM

コンテンツ プロテクション フォー レコーダブル メディア
(Content Protection for Recordable Media)

デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術のことです。「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMに対応した機器とディスクにのみ録画できます。

D1/D2映像出力

S映像よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本機はプログレッシブ映像出力(525p)にも対応しているため、525i信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

Dolby Digital(ドルビーデジタル)

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2チャンネル)はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。本機で録画すると、通常はドルビーデジタル(2チャンネル)で記録されます。

DTS (Digital Theater Systems)

映画館で多く採用されているマルチチャンネルシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

ID3タグ

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる文字情報を保存する領域があります。ここにタイトルやアーティスト名など、曲についての情報を保存しておくことができます。この情報は、ID3タグ対応のプレーヤーで再生時に画面上に表示させることができますが、本機はID3タグに対応していないため、表示させることができません。

Ir システム

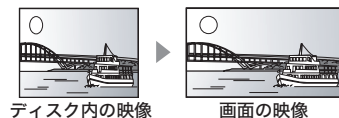
チューナーなどから予約録画などの信号を録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作をする機能です。当社製チューナーまたはチューナー内蔵テレビのIrシステムがDVDレコーダーに対応している場合、Irシステムを使って本機を操作できます。チューナーなどの説明書をご覧ください。

用語解説(つづき)

- J** ジェイベグ ジョイント フォトグラフィック エキスパート グループ
JPEG (Joint Photographic Experts Group)
カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。
- M** エムピースリー エムベグ オーディオ レイヤー
MP3 (MPEG Audio Layer3)
元の音質をあまり損なうことなく、情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどでCD-RやCD-RWに記録したMP3方式の音声を再生できます。
- P** ピーピーシー プレイバック コントロール
PBC (Playback control)
ビデオCDの再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。(本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています)
- P** ピーピーシーエム ビーシーエム
P.PCM (パケット PCM)
ひずみなく圧縮しデジタルに置き換えられた音声信号です。
- S** **S映像出力**
映像信号をC(色信号)とY(輝度信号)に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

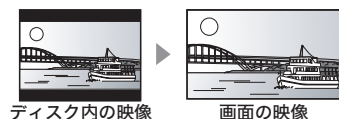
●S1映像信号

映像の横縦比が4:3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16:9のサイズに戻して映します。



●S2映像信号

S1の機能に加え、レターボックス(上下に黒帯が入っている映像)のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。



- S** エスキュービピー エスフイエッチエス クアジ プレイバック
SQPB (S-VHS Quasi Playback)
S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットを簡易的に再生する機能です。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。
- S** エスキュービピー エスフイエッチエス イーディー
S-VHS ET
スーパー フイエッチエス エクスパンション テクノロジー
(Super VHS Expansion Technology)
VHSカセットにS-VHS方式で録画する機能です。本機にはこの機能はありません。
- T** ティフ タグ イメージ ファイル フォーマット
TIFF (Tag Image File Format)
カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。デジタルカメラなどでは、高画質の画像を記録するために多く用いられています。

別売品のご紹介 (2005年1月現在)

●*印の付いているものは、サービスルート扱いなどをご用意しております。

■音声や映像を楽しむには

- 映像・音声コード(ステレオ↔ステレオ)
 - : RP-CVP3G05(0.5 m) : RP-CVP3G10(1.0 m)
 - : RP-CVP3G15(1.5 m) : RP-CVP3G20(2.0 m)
 - : RP-CVP3G30(3.0 m)
- 映像・音声コード(ステレオ↔モノラル)
 - : RP-CVP2G10(1.0 m) : RP-CVP2G20(2.0 m)
 - : RP-CVP2G30(3.0 m)
- 音声コード(ステレオ↔ステレオ)
 - : RP-CAP3G05(0.5 m) : RP-CAP3G10(1.0 m)
 - : RP-CAP3G15(1.5 m) : RP-CAP3G20(2.0 m)
 - : RP-CAP3G30(3.0 m)
- S映像コード
 - : RP-CVS0G10(1.0 m) : RP-CVS0G20(2.0 m)
 - : RP-CVS0G30(3.0 m)
- D端子ピンケーブル
 - : RP-CVCDG15(1.5 m) : RP-CVCDG30(3.0 m)
- D端子ケーブル
 - : RP-CVDG15A(1.5 m) : RP-CVDG30A(3.0 m)
- 光デジタルケーブル(光角形プラグ↔光角形プラグ)
 - : RP-CA2005A(0.5 m) : RP-CA2010A(1.0 m)
 - : RP-CA2020A(2.0 m) : RP-CA2030A(3.0 m)

■テレビ放送を楽しむには

- 75Ω同軸ケーブル:VJA1091(1.4 m)*
- 75Ωアンテナプラグ(VHF/UHF入力端子専用):VSQ1035*
- アンテナプラグ:VUA7050*

■カセットを楽しむには

- カセットアダプター:VW-TCA7
- ビデオヘッドクリーナー
 - : VFK0923FM(乾式、使用回数180回)*
 - : VFK0923FS(乾式、使用回数30回)*

■ディスクに録画するには

- TYPE4カートリッジDVD-RAMディスク(9.4 GB:両面)
 - : LM-AD240L(1枚、3×高速記録対応)
- TYPE2カートリッジDVD-RAMディスク(4.7 GB:片面)
 - : LM-AB120M(1枚、5×高速記録対応)
 - : LM-AB120LP5(5枚組、3×高速記録対応)
- DVD-RAMディスク(4.7 GB:片面、カートリッジなし)
 - : LM-AF120M(1枚、5×高速記録対応)
 - : LM-AF120L(1枚、3×高速記録対応)
- DVD-Rディスク(4.7 GB:片面、カートリッジなし)
 - : LM-RF120M(1枚、8×高速記録対応)
 - : LM-RF120LJ(1枚、4×高速記録対応)
 - : LM-RF120LH(1枚、4×高速記録対応、インクジェットプリンター対応)

■お手入れには

- クリーニングクロス:VUA7091(5枚入り)*
- レンズクリーナー
 - : RP-CL720(2005年5月発売)

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

パナセンスカスタマーセンター

Pana Sense

<http://www.sense.panasonic.co.jp/>

TEL 06-6907-9144

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	AC 100 V ± 10 %、50/60 Hz ± 0.5 %
消費電力	動作時: 約30 W
	待機時(クイックスタート「入」): 時刻表示点灯時・約9.0 W、時刻表示消灯時・約8.0 W
	待機時(クイックスタート「切」): 時刻表示点灯時・約4.0 W、時刻表示消灯時・約1.2 W

DVD部

■記録可能ディスク

DVD-RAM:
Ver.2.0
Ver.2.1/3X-SPEED DVD-RAM Revision 1.0
Ver.2.2/5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0

DVD-R:
for General Ver.2.0
for General Ver.2.0/4X-SPEED DVD-R Revision 1.0
for General Ver.2.x/8X-SPEED DVD-R Revision 3.0

DVD-RW:
Ver.1.1
Ver.1.1/2X-SPEED DVD-RW Revision 1.0
Ver.1.2/4X-SPEED DVD-RW Revision 2.0

+R:
Ver.1.0
Ver.1.1
Ver.1.2

■記録方式

DVD-RAM : DVDビデオレコーディング規格準拠
DVD-R : DVDビデオ規格準拠
DVD-RW : DVDビデオ規格準拠

■記録時間

最大8時間(4.7 GBディスク使用時)
XP: 約1時間 SP: 約2時間
LP: 約4時間 EP: 約8(6)時間

■再生可能ディスク

DVD-RAM、DVD-R、DVD-Video、DVD-Audio、DVD-RW、
+R、+RW、CD-DA、VCD、
CD-R/RW(MP3、CD-DA、VCD、JPEGフォーマット記録された内容の再生)

■映像方式

●記録圧縮方式 MPEG2(Hybrid VBR)

●入力(ピンジャック) 1.0 Vp-p 75 Ω

●S映像入力 Y入力: 1.0 Vp-p 75 Ω
C入力: 0.286 Vp-p 75 Ω

●出力(ピンジャック) 1.0 Vp-p 75 Ω

●S映像出力 Y出力: 1.0 Vp-p 75 Ω
(DVD専用) C出力: 0.286 Vp-p 75 Ω

●D1/D2映像出力(525p/525i)
(DVD専用) Y出力: 1.0 Vp-p 75 Ω
PB/CB出力: 0.7 Vp-p 75 Ω
PR/CR出力: 0.7 Vp-p 75 Ω

■音声方式

●記録圧縮方式 Dolby Digital: 2ch記録

●アナログ入力(ピンジャック)
基準入力レベル: 309 mVrms
入力レベル: FS 2 Vrms(1 kHz、0 dB)
入力インピーダンス: 22 kΩ

●アナログ出力(ピンジャック)
基準出力レベル: 309 mVrms
出力レベル: FS 2 Vrms(1 kHz、0 dB)
出力インピーダンス: 1 kΩ、負荷インピーダンス: 10 kΩ

●デジタル出力 光コネクター
(PCM、ドルビーデジタル、DTS対応)

VHS部

■録画方式 VHS規格

■テープ速度 標準: 33.35 mm/秒
3倍: 11.12 mm/秒

■使用カセット VHSビデオカセット

■録画時間 最大9時間(T-180使用、3倍の場合)

■早送り・巻き戻し時間
約54秒(T-120使用の場合)
高速リターン時: 約36秒(T-120使用の場合)

■映像方式

●入力(ピンジャック) 1.0 Vp-p 75 Ω

●S映像入力 Y入力: 1.0 Vp-p 75 Ω
C入力: 0.286 Vp-p 75 Ω

●出力(ピンジャック) 1.0 Vp-p 75 Ω

●S映像出力 Y出力: 1.0 Vp-p 75 Ω
C出力: 0.286 Vp-p 75 Ω

■音声方式

●入力(ピンジャック) 309 mVrms
入力インピーダンス 22 kΩ

●出力(ピンジャック) 309 mVrms
出力インピーダンス 1 kΩ
負荷インピーダンス 10 kΩ

●トラック数
3トラック(ハイファイ: 2トラック、ノーマル: 1トラック)

DVD/VHS部

■本体外形寸法

約幅430 mm×高さ89 mm×奥行352 mm

■本体質量

約5.8 kg

■映像方式

●テレビジョン方式 NTSC方式、525本、60フィールド

●アンテナ受信入力 VHF: 1~12チャンネル 75 Ω
UHF: 13~62チャンネル 75 Ω
CATV: C13~C63チャンネル 75 Ω

■許容動作温度

5~40 °C

■許容動作湿度

35~80 % (結露なきこと)

■時計部

クォーツ制御、24時間、デジタル表示

市外局番チャンネル設定一覧(VHF/UHF)

市外局番チャンネル設定(→22)を行うと、この表のように自動的に放送局が登録されます。
市外局番に変更があったときでも、この表の市外局番で設定してください。

地上デジタル放送の導入にともない、一部の地域では、地上アナログ放送局のチャンネルが変更になることがあります。
この場合、市外局番チャンネル設定を行ったあと、マニュアルチャンネル設定で修正が必要になります。

都道府県	都市名	市外局番	PO(チャンネルポジション)/CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)・ガイドCH(ガイドチャンネル)																			
			PO ①				PO ②				PO ③				PO ④				PO ⑤			
			放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH
北海道	札幌	011	HBCテレビ	1	1	1				NHK総合札幌	3	3	80	TV北海道	17	17	17	STVテレビ	5	5	5	
	旭川	0166				NHK教育札幌	2	2	90				TV北海道	33	33	17						
	北見	0157				NHK教育札幌	2	2	90													
	帯広	0155	HTBテレビ	34	34	35							NHK総合札幌	4	4	80						
	釧路	0154				NHK教育札幌	2	2	90				TV北海道	29	29	17						
	室蘭	0143				NHK教育札幌	2	2	90				TV北海道	29	29	17						
	函館	0138	TV北海道	21	21	17	UHBテレビ	27	27	27	HTBテレビ	35	35	35	NHK総合札幌	4	4	80				
青森	青森	017	青森放送	1	1	1				NHK総合青森	3	3	80					NHK教育青森	5	5	90	
	八戸	0178											青森朝日放送	31	31	34						
秋田	秋田	018				NHK教育秋田	2	2	90									秋田朝日放送	31	31	31	
	大館	0186	青森放送	1	1	1							NHK総合秋田	4	4	80	秋田朝日放送	59	59	31		
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	1	めんこいテレビ	33	33	33	テレビ岩手	35	35	35	NHK総合盛岡	4	4	80	IATテレビ	31	31	20
	仙台	022	東北放送	1	1	1				NHK総合仙台	3	3	80					NHK教育仙台	5	5	90	
山形	山形	023											NHK教育山形	4	4	90						
	鶴岡	0235	山形放送	1	1	10				NHK総合山形	3	3	80					さくらんぼ	30	30	30	
福島	福島	024	東北放送	1	1	1	NHK教育福島	2	2	90				テレビユー福島	31	31	31					
	会津若松	0242	NHK総合福島	1	1	80				NHK教育福島	3	3	90	テレビユー福島	47	47	31					
	いわき	0246				テレビユー福島	32	32	31				NHK総合福島	4	4	80						
茨城	水戸	029	NHK総合東京	44	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	46	3	90	日本テレビ	42	4	4	放送大学	16	16	16
	宇都宮	028	NHK総合東京	51	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	49	3	90	日本テレビ	53	4	4	とちぎテレビ	31	31	23
群馬	前橋	027	NHK総合東京	52	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	50	3	90	日本テレビ	54	4	4	群馬テレビ	48	48	48
	さいたま	048	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
千葉	千葉	043	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
	東京	043	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
神奈川	横浜	045	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
山梨	甲府	055	NHK総合甲府	1	1	80				NHK教育甲府	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	山梨放送	5	5	5	
	新潟	025								新潟テレビ21	21	21	21	テレビ新潟	29	29	29	新潟放送	5	5	5	
長野	長野	026				NHK総合長野	2	2	80				長野朝日放送	20	20	20						
	飯田	0265	長野朝日放送	44	44	20				NHK教育長野	3	3	90	NHK総合長野	4	4	80					
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	1	MROテレビ	6	6	6	NHK総合富山	3	3	80	石川テレビ	37	37	37				
	金沢	076	北日本放送	1	1	1				富山テレビ	34	34	34	NHK総合金沢	4	4	80					
石川	福井	0776								NHK教育福井	3	3	90									
静岡	静岡	054				NHK教育静岡	2	2	90				静岡第一テレビ	31	31	31						
	浜松	053	東海テレビ	1	1	1	静岡第一テレビ	30	30	31				NHK総合静岡	4	4	80	CBCテレビ	5	5	5	
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1	1				NHK総合名古屋	39	3	80					CBCテレビ	5	5	5	
	名古屋	052	東海テレビ	1	1	1				NHK総合名古屋	3	3	80					CBCテレビ	5	5	5	
三重	津	059	東海テレビ	1	1	1	テレビ愛知	25	25	25	NHK総合名古屋	31	3	80	毎日放送	4	4	4	CBCテレビ	5	5	5
滋賀	大津	077				NHK総合大阪	28	28	80				毎日放送	36	4	4						
	京都	075				NHK総合大阪	32	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4					
大阪	大阪	06				NHK総合大阪	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4					
	神戸	078				NHK総合大阪	28	2	80	サンテレビ	36	36	36	毎日放送	31	4	4	テレビ大阪	19	19	19	
奈良	奈良	0742				NHK総合大阪	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4	NHK総合大阪	51	51	—	
	和歌山	073				NHK総合大阪	32	2	80				毎日放送	42	4	4	テレビ和歌山	30	30	30		
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1	1				NHK総合鳥取	3	3	80	NHK教育鳥取	4	4	90					
	松江	0852	日本海テレビ	30	30	1																
島根	浜田	0855				NHK総合松江	2	2	80	日本海テレビ	54	54	1					山陰放送	5	5	10	
	岡山	086	OHKテレビ	35	35	35	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育岡山	3	3	90				NHK総合岡山	5	5	80	
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31	31				NHK総合広島	3	3	80	中国放送	4	4	4					
	福山	084	テレビ新広島	54	54	31				NHK教育広島	3	3	90					NHK総合広島	5	5	80	
山口	山口	083	NHK教育山口	1	1	90	KBCテレビ	2	2	1	TVQ九州放送	23	23	19	山口朝日放送	28	28	28	大分放送	5	5	5
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19	23				NHK教育高松	39	39	90	毎日放送	4	4	4	NHK総合高松	37	37	80	
	徳島	088	四国放送	1	1	1	テレビ大阪	19	19	19	NHK総合徳島	3	3	80	毎日放送	4	4	4	テレビ和歌山	55	55	30
愛媛	松山	089	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育松山	2	2	90	広島テレビ	12	12	12	広島ホーム	35	35	35	テレビ新広島	31	31	31
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	23	NHK総合松山	2	2	80	広島テレビ	12	12	12	NHK教育松山	4	4	90	テレビ新広島	31	31	31
高知	高知	0888								NHK総合高知	4	4	80									
福岡	福岡	092	KBCテレビ	1	1	1	サガテレビ	36	36	36	NHK総合福岡	3	3	80	RKB毎日放送	4	4	4	TVQ九州放送	19	19	19
	北九州	093				KBCテレビ	2	2	1	FBSテレビ	35	35	37	サガテレビ	36	36	36	TVQ九州放送	23	23	19	
佐賀	佐賀	0952	KBCテレビ	57	57	1	NHK教育佐賀	40	40	90	FBSテレビ	52	52	37	サガテレビ	36	36	36	TVQ九州放送	14	14	19
	長崎	095	NHK教育長崎	1	1	90	KBCテレビ	57	57	1	NHK総合長崎	3	3	80	RKB毎日放送	4	4	4	長崎放送	5	5	5
熊本	熊本	096	KBCテレビ	1	1	1	NHK教育熊本	2	2	90	熊本朝日放送	16	16	16	KKTテレビ	22	22	22	長崎放送	5	5	5
	大分	097	KBCテレビ	1	1	1				NHK総合大分	3	3	80	RKB毎日放送	4	4	4	大分放送	5	5	5	
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1	1				テレビ宮崎	35	35	35									
	延岡	0982								NHK教育宮崎	2	2	90					NHK総合宮崎	4	4	80	
鹿児島	鹿児島	099	南日本放送	1	1	1	テレビ熊本	34	34	34	NHK総合鹿児島	3	3	80	テレビ宮崎	35	35	35	NHK教育鹿児島	5	5	90
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	30	テレビ熊本	34	34	34				鹿児島放送	23	23	32					
沖縄	那覇	098	琉球朝日放送	28	28	28	NHK総合沖縄	2	2	80												

- 市外局番が表にない場合は、普段ご覧になる放送局が最も多く含まれる「市外局番」を入力してください。
- 一覧表の ①～⑫の放送局は、リモコンの [1]～[12] を押すだけで選ぶことができます。
- マニュアルチャンネル設定を行う方は、各放送局のガイドチャンネルを「ガイドCH」の項目のとおりに合わせてください。
(例：NHK総合テレビ→80、NHK教育テレビ→90)



PO(チャンネルポジション) / CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)・ガイドCH(ガイドチャンネル)																											
PO ⑥			PO ⑦			PO ⑧			PO ⑨			PO ⑩			PO ⑪			PO ⑫									
放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH				
				STVテレビ	7	7	5	UHBテレビ	27	27	27	HTBテレビ	35	35	35	NHK教育札幌	12	12	90								
				STVテレビ	7	7	5	UHBテレビ	37	37	27	NHK総合札幌	9	9	80	HTBテレビ	39	39	35	HBCテレビ	11	11	1				
HBCテレビ	6	6	1	STVテレビ	7	7	5	UHBテレビ	59	59	27	NHK総合札幌	9	9	80	HTBテレビ	61	61	35	HBCテレビ	53	53	1				
				STVテレビ	7	7	5	UHBテレビ	32	32	27				STVテレビ	10	10	5									
				STVテレビ	7	7	5	UHBテレビ	41	41	27	NHK総合札幌	9	9	80	HTBテレビ	39	39	35	HBCテレビ	11	11	1				
HBCテレビ	6	6	1	STVテレビ	7	7	5	UHBテレビ	37	37	27	NHK総合札幌	9	9	80	HTBテレビ	39	39	35	HBCテレビ	11	11	1				
												NHK教育札幌	10	10	90					STVテレビ	12	12	5				
				NHK教育青森	7	7	90	UHBテレビ	27	27	27			青森朝日放送	34	34	34	HTBテレビ	35	35	35	青森テレビ	38	38	38		
												NHK総合青森	9	9	80				青森放送	11	11	1	青森テレビ	33	33	38	
												NHK総合秋田	9	9	80				秋田放送	11	11	11	秋田テレビ	37	37	37	
秋田放送	6	6	11					NHK教育秋田	8	8	90																
IBCテレビ	6	6	6	ミヤギテレビ	34	34	34	NHK教育盛岡	8	8	90				東日本放送	32	32	32					秋田テレビ	57	57	37	
				東日本放送	32	32	32																				
テレビユー山形	36	36	36					NHK総合山形	8	8	80				山形放送	10	10	10					山形テレビ	38	38	38	
NHK教育山形	6	6	90					テレビユー山形	22	22	36												山形テレビ	39	39	38	
福島中央テレビ	33	33	33	東日本放送	32	32	32	ミヤギテレビ	34	34	34	NHK総合福島	9	9	80	福島放送	35	35	35	福島テレビ	11	11	11	仙台放送	12	12	12
福島テレビ	6	6	11	東日本放送	32	32	32	福島中央テレビ	37	37	33	ミヤギテレビ	34	34	34	福島放送	41	41	35					仙台放送	12	12	12
福島中央テレビ	34	34	34					福島テレビ	8	8	11				NHK教育福島	10	10	90					仙台放送	12	12	12	
TBSテレビ	40	6	6					フジテレビ	38	8	8	千葉テレビ	39	46	46	テレビ朝日	36	10	10					テレビ東京	32	12	12
TBSテレビ	55	6	6					フジテレビ	57	8	8				テレビ朝日	41	10	10					テレビ東京	44	12	12	
TBSテレビ	56	6	6	放送大学	40	16	16	フジテレビ	58	8	8	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ朝日	60	10	10					テレビ東京	62	12	12
TBSテレビ	6	6	6	テレビ埼玉	38	38	38	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	群馬テレビ	48	48	48	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	t v k	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	t v k	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	t v k	42	42	42	フジテレビ	8	8	8				テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12	
テレビ山梨	37	37	37	TBSテレビ	6	6	6	フジテレビ	8	8	8				テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12	
								NHK総合新潟	8	8	80				新潟総合テレビ	35	35	35					NHK教育新潟	12	12	90	
テレビ信州	30	30	30									NHK教育長野	9	9	90	長野放送	38	38	38	信越放送	11	11	11				
信越放送	6	6	11					テレビ信州	42	42	30				長野放送	40	40	38									
チューリップ	32	32	32																								
MROテレビ	6	6	6	北陸朝日放送	25	25	25	NHK教育金沢	8	8	90				NHK教育富山	10	10	90					富山テレビ	34	34	34	
MROテレビ	6	6	6																				石川テレビ	37	37	37	
																							福井テレビ	39	39	39	
静岡朝日テレビ	33	33	33									NHK総合福井	9	9	80				福井放送	11	11	11					
SBSテレビ	6	6	11	テレビ愛知	25	25	25	NHK教育静岡	8	8	90				NHK総合静岡	9	9	80	SBSテレビ	11	11	11	テレビ静岡	35	35	35	
テレビ愛知	25	25	25	岐阜テレビ	37	37	37	三重テレビ	33	33	33	NHK教育名古屋	9	9	90								テレビ静岡	34	34	35	
岐阜テレビ	37	37	37	中京テレビ	35	35	35	三重テレビ	33	33	33	NHK教育名古屋	9	9	90				メ〜テレ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35	
ABCテレビ	6	6	6	三重テレビ	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	NHK教育名古屋	9	9	90				メ〜テレ	11	11	11	テレビ愛知	25	25	25	
ABCテレビ	38	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	40	8	8	びわ湖放送	30	30	30	読売テレビ	10	10	10	メ〜テレ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
ABCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	42	10	10					NHK教育大阪	46	46	90
ABCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育大阪	12	12	90
ABCテレビ	41	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育大阪	12	12	90
ABCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	43	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	47	10	10					NHK教育大阪	45	12	90
ABCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10	奈良テレビ	55	55	55	NHK教育大阪	12	12	90
ABCテレビ	44	6	6					関西テレビ	46	8	8				読売テレビ	48	10	10					NHK教育大阪	25	12	90	
NHK総合松江	6	6	80					山陰中央テレビ	34	34	34				山陰放送	22	22	10					山陰中央テレビ	24	24	34	
								山陰中央テレビ	58	58	34	NHK教育松江	9	9	90	山陰放送	10	10	10					NHK教育松江	12	12	90
				瀬戸内海放送	25	25	33					西日本放送	9	9	9												
				NHK教育広島	7	7	90					広島ホーム	35	35	35				山陽放送	11	11	11					
				中国放送	7	7	4					広島ホーム	57	57	35									広島テレビ	12	12	12
				テレビ山口	38	38	38	RKB毎日放送	8	8	4	NHK総合山口	9	9	80	テレビ西日本	10	10	9					山口放送	11	11	11
ABCテレビ	6	6	6	瀬戸内海放送	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	西日本放送	9	9	9	読売テレビ	10	10	10					山陽放送	29	29	11
ABCテレビ	6	6	6	サンテレビ	36	36	36	関西テレビ	8	8	8				読売テレビ	10	10	10					山陽放送	29	29	11	
NHK総合松山	6	6	80	愛媛朝日テレビ	25	25	25	あいテレビ	29	29	29	西日本放送	9	9	9	南海放送	10	10	10					山陽放送	11	11	11
南海放送	6	6	10	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	27	27	29	西日本放送	9	9	9	愛媛朝日テレビ	14	14	25					山陽放送	11	11	11
NHK教育高知	6	6	90					高知放送	8	8	8				テレビ高知	38	38	38					高知さんさん	40	40	40	
NHK教育福岡	6	6	90									テレビ西日本	9	9	9								RKKテレビ	11	11	11	
NHK総合福岡	6	6	80					RKB毎日放送	8	8	4				テレビ西日本	10	10	9					RKKテレビ	11	11	11	
テレビ熊本	34	34	34	長崎放送	5	5	5	RKB毎日放送	48	48	4																




安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

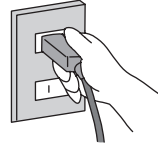
電源コード・プラグを破損するようにはしない
(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



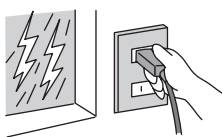
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

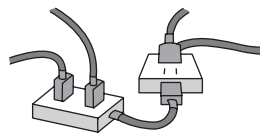


接触禁止



感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

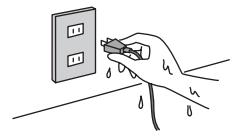


たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止



感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



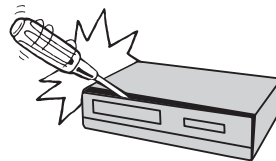
ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない



分解禁止



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

- ・内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- ・落下などで外装ケースが破損したとき
- ・煙や異臭、異音が出たとき

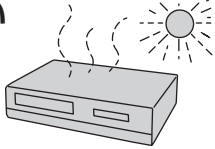
そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますが御了承ください。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

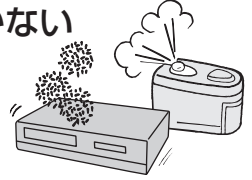
放熱を妨げない



内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



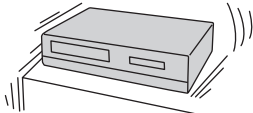
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

- たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない



- ・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない



強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

電池は誤った使いかたをしない



- ・⊕と⊖は逆に入れない
- ・新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- ・乾電池は充電しない
- ・加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れてたりしない
- ・ネックレスなどの金属物といっしょにしない
- ・被覆のはがれた電池は使わない
- ・乾電池の代用として充電式電池を使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 長期間使わないときは、取り出しておいてください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

ディスクトレイ・カセット挿入口に指をはさまれないように注意する



指に注意



けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

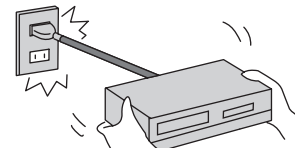


電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやカセットは、保護のため取り出しておいてください。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ

お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

修理を依頼される時

「故障かな!？」(→76～78)に従ってご確認のあと、直らないときは、本体表示窓に「サービス番号」(→73)が表示されているときはその番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	DVDレコーダー
品番	DMR-ES30V
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVDレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社(以下「当社」)は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報(以下「個人情報」)を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル パナソニック 製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。

なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。

3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

<http://panasonic.jp/support/>

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル (全国共通番号)  **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口へ直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック お客様ご相談センター

365日/受付9時～20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-365**

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル (全国共通番号)  **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口へ直接おかけください。

北海道地区	
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	帯広 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477
旭川 旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151	函館 函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内) ☎(0138)48-6631

近畿地区	
滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021	奈良 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636	和歌山 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

東北地区	
青森 青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712	宮城 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
秋田 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	山形 山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	福島 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

中国地区	
鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	岡山 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	広島 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
松江 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	山口 山口市鑄銭司字鑄銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050
出雲 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	
浜田 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629	

首都圏地区	
栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555	東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
群馬 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109	山梨 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
茨城 つくば市花畑2丁目8-1 ☎(029)864-8756	神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171
千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034	

四国地区	
香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	高知 南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142
徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125	愛媛 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

中部地区	
石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209	高山 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
静岡 静岡市西島765 ☎(054)287-9000	三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

九州地区	
福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	天草 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	大島 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101
宮崎 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213	

沖縄地区	
沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207	

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0105


さくいん

<p>あ 頭出し 62 お手入れ 12 音声 切り換え 31,32,54 効果 32</p> <p>か ガイドチャンネル 24 外部入力NR 32 画質選択 32 クイックスタート 49 高速リターン 52 5倍モード 55 コマ送り・コマ戻し 28</p> <p>さ 再生する チャプター 42 番組(タイトル) 27 プレイリスト 45 VHS 52 再生ナビ 27,42 30秒スキップ 29 残量に合わせて録画する (ぴったり録画) 34 市外局番チャンネル設定一覧 82 時刻合わせ 26 視聴制限 49 自動CM早送り 32,53 写真を再生する 30 終了時刻を指定して 録画する 34,56 仕様 81 消去 全番組 47 チャプター 43 番組(タイトル) 29,43 プレイリスト 45 プレイリストのチャプター 46 初期設定 49 スキップ 28 スロー再生 28,53 設定の初期化 49</p>	<p>操作状態の確認(情報表示) 31</p> <p>た タイムワープ 28,35 ダビング 他のビデオやビデオカメラ からダビング 72 地上デジタル 放送 6,16,17,41,61 チャプター 29,42,43 チャンネル設定 22,23 チャンネルの微調整 24 ディスクの再生方法 (再生設定) 32 テープリフレッシュ 62 テレビを本機のリモコンで 操作する 25 トラッキング調整 53</p> <p>は 早送り・早戻し(サーチ) 28 早見再生(1.3倍速) 28 標準3倍(ぴったり録画) 58 ファイナライズ 47,79 フォーマット 47,79 プレイリスト 44 プレイリストの チャプター 45,46 プログレッシブ 79 設定 25,32,52 接続 18 プロテクト(書き込み禁止) 79 カートリッジ 47 ディスク 46 番組(タイトル) 43 別売品 80 編集 チャプター 42,43 番組(タイトル) 42,43 プレイリスト 45 プレイリストのチャプター 45,46</p> <p>ま マニュアルダビング 66,69 モード設定 63</p>	<p>文字入力 48 タイトル名 36,37,38,39,42 ディスク名 46 プレイリスト名 45</p> <p>や 用語解説 79 予約延長 36,57,60 予約の確認 39,60</p> <p>ら リージョン番号 4 リピート再生 32 リモコンモード 25 録画する 33,55 録画中に再生する 35 追っかけ再生/同時録画再生/ タイムワープ 録画の予約 36,57 録画モード 33,55 ワンタッチダビング 65,68</p> <p>わ BS放送 6,16,17,41,61</p> <p>B CATV (ケーブルテレビ) 20,41,61 CMカット予約 57,59 CMカット録画 56 CPRM 6,79 CSデジタル 放送 6,16,17,41,61</p> <p>D DVD-RAM/DVD-R/DVD-RW 4</p> <p>E EP時の記録時間 [EP(6H)/EP(8H)] 50</p> <p>F FR(フレキシブルコーディング) 33,67</p> <p>G Gコード予約 36,57</p> <p>I Irシステム 17,41,61,79</p> <p>J JPEG 30,80</p> <p>M MP3 29,30,80</p> <p>P PBC付ビデオCD 32,80</p> <p>S SQPB 52,80</p> <p>T TIFF 30,80</p>
--	---	---

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。

This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 長年ご使用のDVDレコーダーの点検を！

	<p>こんな症状は ありませんか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 煙が出たり、異常なおいや音がある ● 映像や音声が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● テープやディスクをいためた ● その他の異常や故障がある 	▶	<p>このような症状のときは 使用を中止し、故障や事故 防止のために、必ず販売店 に点検をご相談ください。</p>
---	--------------------------	--	---	---

<p>便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です</p>	お買い上げ日	年 月 日	品 番	DMR-ES30V	
	販売店名		お客様ご相談窓口		
	☎ () -	☎ () -			

松下電器産業株式会社 ネットワーク事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号